

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	生涯にわたり楽しく学べる環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	市民一人ひとりが楽しく学び、その成果が活用されることにより、更に学習意欲が高まり、生涯にわたり学習しています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 生涯学習人財バンク登録者数	43人	—	—	—	—	55人	—	—	—	—	65人
	—	50人	54人	60人							
② 市民活動支援コーナー利用者数	7,444人	—	—	—	—	8,000人	—	—	—	—	8,500人
	—	9,326人	9,345人	9,406人							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 生涯学習機会の充実	43,518	1	0	1	0	市民協働推進課
2						
3 学習成果の活用	177	1	0	1	0	市民協働推進課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	43,695	2	0	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	生涯にわたり楽しく学べる環境づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	(1)生涯学習機会の充実：多様化する市民の学習ニーズに対応し、市民一人ひとりが生涯にわたり楽しく学べるよう学習機会の提供を充実する。 (2)情報提供・相談体制の充実：市民の主体的な学習活動を支援するため、生涯学習に関する情報提供や相談機能を充実する。 (3)学習成果の活用：生涯学習に取り組む事によって得た知識や技術を活かすため、「生涯学習人財バンク」の充実を図るとともに、指導者としての活用を進め、学習成果の発表の機会を拡充する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	(1)平成30年度のやしお生涯学習館の利用者数は、67,629人で多くの市民に利用されている。また、安全で安心して学習機会を提供できるよう修繕を実施。 (2)情報提供や相談体制の充実を図ることで、平成30年度の市民活動支援コーナーの利用者数は9,406人であった。 (3)「生涯学習人財バンク」を活用して、様々な講座を実施した。また、その成果発表の場として、やしおコラボフェスタを計画し、開催に向けて協働で準備を進めたが、荒天のため中止となった。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	・やしお生涯学習館は、開館から23年が経過し、施設の老朽化が顕著となっているため、計画的な改修等が必要である。 ・やしおコラボフェスタは、参加団体が固定化しつつあるため新たな参加者の発掘が課題となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	人財バンクの登録者や市民活動支援コーナーの利用者数も目標値を達成している。 開館から23年が経過しているため、定期的な施設改修も実施しているが、施設の老朽化により不具合箇所が増えてきている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) やしお生涯学習館は、生涯学習や市民活動の拠点施設として、市民ニーズを的確に捉え、人財バンクを利用した各種講座やイベントを開催していく。 安全に安心して利用していただけるように計画的な施設改修を進める。																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>生涯学習機会の充実</td> <td>やしお生涯学習館運営事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	01	01	01	生涯学習機会の充実	やしお生涯学習館運営事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	01	01	01	生涯学習機会の充実	やしお生涯学習館運営事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部	教育総務部
	節	2	次代を担う人づくり		学校教育部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化されるとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。また、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな学力」「生きる力」を身に付けています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	—	—	—	—	小学校 ±0P 中学校 ±0P	—	—	—	—	小学校 +5P 中学校 +2P
	—	小△4.6中△6.6	小△1.4中△6.1	小△3.1中△5.1							
② 不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	—	—	—	—	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下	—	—	—	—	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	—	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97							
③ 学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	—	—	—	—	小学校2.0% 中学校8.0%	—	—	—	—	小学校1.5% 中学校7.0%
	—	3.8%	2.0%	9.7							
④ 特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	—	—	—	—	市内全小中学校に15人配置	—	—	—	—	市内全小中学校に20人配置
	—		15人	13人							
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 教育内容の充実	23,377	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2 教育環境の充実	908,606	13	3	10	0	教育総務課
3 指導体制の充実	72,629	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4 食育、健康・安全教育の充実	717,201	6	6	0	0	学務課、指導課
5 特別支援教育の充実	13,580	1	0	1	0	指導課
6 教育相談の充実	28,338	2	0	2	0	指導課
7 家庭や地域と一体となった教育体制の充実	6,354	2	2	0	0	学務課、指導課
8 幼児教育の推進	157,543	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9 高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
計	1,927,628	38	23	14	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	高等教育機関との連携・誘致 ・生涯学習の推進やグローバルな人材の育成、教育環境の充実のため、大学等の高等教育機関の誘致活動を推進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	平成26年7月4日に、聖徳大学・聖徳大学短期大学部と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年3月28日に、国土館大学と包括的連携に関する協定を締結した。 平成29年6月21日に、淑徳大学と包括的連携に関する協定を締結した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある
	高等教育機関の誘致については、誘致場所や設置するために必要な面積など、誘致するための条件に加え、市や市民にとってのメリット、デメリットの分析が必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 遅れ	具体的に誘致するための場所、面積などの条件が精査できておらず、高等教育機関へのアプローチに至っていない。 まずは、市民ニーズを把握するとともに、メリット、デメリットを分析する必要がある。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																
	(説明) 大学等の誘致に向けて、サテライトキャンパスなどの実施を含め、様々な誘致・連携手法について検討を行う。																																
重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1					2					3					4					5				
	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	章	節																															
1																																	
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源		
	章	節	施策											事業費	労働量	
	01	02	01	教育指導推進事業		■	■	学校教育部	指導課	14,898	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5,821	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	01	02	01	小中一貫教育推進事業	■	■	■	学校教育部	小中一貫教育推進室	2,658	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
	01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	4,978	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加	
	01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	137,941	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	88,430	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	小学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	49,252	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	中学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	460,365	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	82,067	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	52,075	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	11,892	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
	01	02	02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	21,132	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
	01	02	02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	458	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1,406	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3,096	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	03	教職員人事管理事業			■	学校教育部	学務課	2,566	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	03	教職員資質向上事業	■		■	学校教育部	指導課	3,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	03	少人数指導充実事業			■	学校教育部	指導課	32,156	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	03	地域人材活用推進事業		■	■	学校教育部	指導課	3,216	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
	01	02	03	語学指導充実事業			■	学校教育部	指導課	26,196	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加	
	01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34,268	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
	01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	32,679	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	51	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加	
	01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	650,113	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	8	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	04	健康教育推進事業			■	学校教育部	指導課	83	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	05	特別支援教育推進事業	■		■	学校教育部	指導課	13,580	○	☆☆	見直して継続	増加	増加	
	01	02	06	教育相談体制整備事業	■			学校教育部	指導課	15,663	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持	
	01	02	06	教育相談所運営事業	■			学校教育部	指導課	12,676	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持	
										0部の事業費計						

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 教育総務部	企画財政部
	節	2	次代を担う人づくり		学校教育部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化されるとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。また、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな学力」「生きる力」を身に付けています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	—	—	—	—	小学校 ±0P 中学校 ±0P	—	—	—	—	小学校 +5P 中学校 +2P
	—	小△4.6中△6.6	小△1.4中△6.1	小△3.1中△5.1							
② 不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	—	—	—	—	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下	—	—	—	—	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	—	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97							
③ 学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	—	—	—	—	小学校2.0% 中学校8.0%	—	—	—	—	小学校1.5% 中学校7.0%
	—	3.8%	2.0%	9.7							
④ 特別支援教育介助員	市内小学校に9人 配置	—	—	—	—	市内全小中学校 に15人配置	—	—	—	—	市内全小中学校 に20人配置
	—		15人	13人							
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 教育内容の充実	23,377	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2 教育環境の充実	908,606	13	3	10	0	教育総務課
3 指導体制の充実	72,629	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4 食育、健康・安全教育の充実	717,201	6	6	0	0	学務課、指導課
5 特別支援教育の充実	13,580	1	0	1	0	指導課
6 教育相談の充実	28,338	2	0	2	0	指導課
7 家庭や地域と一体となった教育体制の充実	6,354	2	2	0	0	学務課、指導課
8 幼児教育の推進	157,543	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9 高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
計	1,927,628	38	23	14	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>教育環境の充実では、児童生徒が一日の大半を過ごす学校施設の安全確保と機能整備に努め、教育環境の充実を図る。 また、経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者及び特別支援教育を受けている児童生徒の保護者に学用品費等を援助し、義務教育の円滑な遂行を図る。 幼児教育の推進においては、幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担を軽減するため、幼稚園を通じて保護者の保育料の一部を助成する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>教育環境の充実では、小中学校15校の校舎空調設備導入調査を実施し、小中学校空調設備基本方針を策定した。また、老朽化した小・中学校校舎等の修繕を実施するとともに、駅周辺の生徒数の増加に対応するため、潮止中学校の普通教室増築工事を実施した。 経済的な理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対し、就学費用の一部を援助している。 幼児教育の推進においては、幼稚園を通して保護者に保育料等の一部を、幼稚園には幼児教育の充実を図るための経費の一部を助成している。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>教育環境の充実では、小・中学校校舎等の学校施設の改善に膨大な費用がかかるため、その財源の確保が課題である。 また、就学援助費における新小学1年生の保護者を対象とする新入学用品費の支給時期の課題について調査、研究している。 幼児教育の推進においては、障がいのある幼児に対する特別支援の充実が求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>教育環境の充実では、小・中学校校舎等の学校施設の改善について、老朽化している施設の把握を実施した。 幼児教育の推進では、幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担の軽減及び幼稚園教職員の資質向上等に係る経費の一部助成を継続的に実施している。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>教育環境の充実では、小中学校15校に速やかに空調設備を設置し、早期に稼働する。また、老朽化した学校施設の整備を図るとともに、駅周辺の児童生徒数の増加に伴う対応を行っていく。 経済的な理由で就学が困難な児童生徒には、その保護者に対し就学費用の一部を援助し、義務教育の円滑な遂行に努める。 幼児教育の推進においては、今後も幼稚園児を持つ保護者の経済的な負担の軽減に努める。</p>																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>教育環境の充実</td> <td>中学校施設整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>教育環境の充実</td> <td>小学校施設整備事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>教育環境の充実</td> <td>中学校就学援助事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>教育環境の充実</td> <td>小学校就学援助事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>08</td> <td>幼児教育の推進</td> <td>幼稚園就園補助事業</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	01	02	02	教育環境の充実	中学校施設整備事業	2	01	02	02	教育環境の充実	小学校施設整備事業	3	01	02	02	教育環境の充実	中学校就学援助事業	4	01	02	02	教育環境の充実	小学校就学援助事業	5	01	02	08	幼児教育の推進	幼稚園就園補助事業
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	01	02	02	教育環境の充実	中学校施設整備事業																																			
2	01	02	02	教育環境の充実	小学校施設整備事業																																			
3	01	02	02	教育環境の充実	中学校就学援助事業																																			
4	01	02	02	教育環境の充実	小学校就学援助事業																																			
5	01	02	08	幼児教育の推進	幼稚園就園補助事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	01	02	01	教育指導推進事業		■	■	学校教育部	指導課	14,898	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5,821	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	01	小中一貫教育推進事業	■	■	■	学校教育部	小中一貫教育推進室	2,658	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	4,978	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■	01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	137,941	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	88,430	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	49,252	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	460,365	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	82,067	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	52,075	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	11,892	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	21,132	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	458	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1,406	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3,096	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	教職員人事管理事業			■	学校教育部	学務課	2,566	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	教職員資質向上事業	■		■	学校教育部	指導課	3,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	少人数指導充実事業			■	学校教育部	指導課	32,156	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	地域人材活用推進事業		■	■	学校教育部	指導課	3,216	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	03	語学指導充実事業			■	学校教育部	指導課	26,196	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34,268	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	32,679	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	51	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	650,113	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	8	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	04	健康教育推進事業			■	学校教育部	指導課	83	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	05	特別支援教育推進事業	■		■	学校教育部	指導課	13,580	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	06	教育相談体制整備事業	■			学校教育部	指導課	15,663	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	06	教育相談所運営事業	■			学校教育部	指導課	12,676	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										1,070,620	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 学校教育部	企画財政部
	節	2	次代を担う人づくり		教育総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校の連携が強化されるとともに、小中一貫教育が一層推進される中で、きめ細やかな教育が行われ、家庭・学校・地域が一体となって、子どもたちが健全に成長できる環境を整えています。また、子どもたちは等しく教育を受ける機会を得ており、安全で安心な教育環境のもと豊かな学校生活の中で「確かな学力」「生きる力」を身に付けています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 全国学力学習状況調査の平均正答率の全国との差	小学校 △4.6P 中学校 △7.0P	—	—	—	—	小学校 ±0P 中学校 ±0P	—	—	—	—	小学校 +5P 中学校 +2P
	—	小△4.6中△6.6	小△1.4中△6.1	小△3.1中△5.1							
② 不登校児童生徒発生率	小学校 0.31% 中学校 2.70%	—	—	—	—	小学校0.2%以下 中学校2.1%以下	—	—	—	—	小学校0.1%以下 中学校2.0%以下
	—	小0.37 中2.55	小0.58 中3.93	小0.49中3.97							
③ 学校給食における残食率	小学校3.8% 中学校13.4%	—	—	—	—	小学校2.0% 中学校8.0%	—	—	—	—	小学校1.5% 中学校7.0%
	—	3.8%	2.0%	9.7							
④ 特別支援教育介助員	市内小学校に9人配置	—	—	—	—	市内全小中学校に15人配置	—	—	—	—	市内全小中学校に20人配置
	—		15人	13人							
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 教育内容の充実	23,377	3	2	1	0	指導課、小中一貫教育推進室
2 教育環境の充実	908,606	13	3	10	0	教育総務課
3 指導体制の充実	72,629	7	7	0	0	教育総務課、学務課、指導課
4 食育、健康・安全教育の充実	717,201	6	6	0	0	学務課、指導課
5 特別支援教育の充実	13,580	1	0	1	0	指導課
6 教育相談の充実	28,338	2	0	2	0	指導課
7 家庭や地域と一体となった教育体制の充実	6,354	2	2	0	0	学務課、指導課
8 幼児教育の推進	157,543	3	3	0	0	教育総務課、指導課
9 高等教育機関との連携・誘致	0	1	0	0	1	企画経営課
計	1,927,628	38	23	14	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	学校教育部
	節	2	次代を担う人づくり	評価者名	井上正人
評価主体が推進する施策の概要	学校教育においては、幼稚園から中学校に至るまでの各時期に子どもたちの状況に対応しつつ、一貫した施策の展開を目指している。そのため、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校等の連携強化に努めるとともに、各学校において小中一貫教育の導入による連続性と系統性を生かした教育内容の充実に取り組み、地域に開かれた、特色と魅力のある学校づくりに努めている。さらに、きめ細かな学習指導や生徒指導の充実に取り組んでいる。このほか、特別支援教育の充実を目指し、発達障がいを含めた多様な教育的ニーズに応えていくことに努めるとともに、児童生徒が健康で安全な生活を送るために、家庭・学校・地域が相互に連携を図り、保健指導や安全教育、学校給食を核とした食育等の健康教育の充実に取り組んでいる。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ①幼児教育の推進では、幼保認定こども園との連携を図った。②教育内容の充実では、土曜日実施の八潮こども夢大学、ジョイスタ、さらに学習塾との連携事業をスタートした。また、全小中学校で小中一貫教育の研究を行うとともに授業公開を実施した。③特別支援教育の充実では、発達障がいを含めた多様なニーズに対応するため就学支援、就学相談を行った。④健康・安全教育の充実では、学校給食を核とした食育等の健康教育を行った。⑤指導体制の充実では、少人数指導補助教員を配置し、きめ細かな指導に取り組んだ。⑥教育相談の充実では、教育相談所での適応指導教室の実施や不登校児童・生徒を生まない指導体制の充実を図った。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
課題	①教育内容の充実では、基礎学力の定着と応用力・活用力の育成を図ることが求められており、家庭・保護者への協力を啓発して家庭学習の定着や学習意欲の向上を図る必要がある。 ②教育相談の充実では、不登校児童・生徒の減少を目指すとともに、不登校児童・生徒を生まないための総合的な自立支援対策学校訪問と不登校特別対策協議会の充実を目指す必要がある。 ③人口動態を踏まえた適正な学校配置の具体的検討、計画策定 ④教職員の負担軽減対策の検討 ⑤道徳、外国語教科への対応		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	成果目標に向けて様々な取組を始めており、順調に成果が上がっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) ①幼児教育の推進では、幼・保・小連携連絡協議会の開催等により連携を図っていく。 ②教育内容の充実では、小中一貫教育において中学校ブロック毎の研究を充実させるとともに、保護者への周知を図る。 ③特別支援教育の充実では、学習障がい児等に対応するため、教職員の育成や介助員の活用を図っていく。 ④健康・安全教育の充実では、学校給食の充実を図るとともに、保護者や地域との連携のもと、児童・生徒の食に関する指導を一層推進していく。 ⑤指導体制の充実では、少人数指導補助教員を計画に基づき配置するなど、学力向上への指導体制の充実ときめ細やかな指導を一層進めていく。 ⑥教育相談の充実では、教育相談所と小中学校との連携を一層密にした相談体制を築いていくとともに、適応指導教室（フレンドスクール）の充実を図っていく。 ⑦教職員負担軽減検討会議の提言の実施																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>教育内容の充実</td> <td>体験学習推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>教育内容の充実</td> <td>小中一貫教育推進事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>食育、健康・安全教育の充実</td> <td>学校給食・食育推進事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>特別支援教育の充実</td> <td>特別支援教育推進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>教育相談の充実</td> <td>教育相談体制整備事業</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	01	02	01	教育内容の充実	体験学習推進事業	2	01	02	01	教育内容の充実	小中一貫教育推進事業	3	01	02	04	食育、健康・安全教育の充実	学校給食・食育推進事業	4	01	02	05	特別支援教育の充実	特別支援教育推進事業	5	01	02	06	教育相談の充実	教育相談体制整備事業
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	01	02	01	教育内容の充実	体験学習推進事業																																			
2	01	02	01	教育内容の充実	小中一貫教育推進事業																																			
3	01	02	04	食育、健康・安全教育の充実	学校給食・食育推進事業																																			
4	01	02	05	特別支援教育の充実	特別支援教育推進事業																																			
5	01	02	06	教育相談の充実	教育相談体制整備事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	01	02	01	教育指導推進事業		■	■	学校教育部	指導課	14,898	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	01	体験学習推進事業				学校教育部	指導課	5,821	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	01	02	01	小中一貫教育推進事業	■	■	■	学校教育部	小中一貫教育推進室	2,658	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	02	入学準備金・教育資金貸付事業				教育総務部	教育総務課	4,978	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	01	02	02	小学校管理事業				教育総務部	教育総務課	137,941	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校管理事業				教育総務部	教育総務課	88,430	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	49,252	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校施設整備事業	■			教育総務部	教育総務課	460,365	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	82,067	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校教育振興事業				教育総務部	教育総務課	52,075	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	11,892	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	02	中学校就学援助事業				教育総務部	教育総務課	21,132	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
	01	02	02	高等教育振興事業				教育総務部	教育総務課	16	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	学校建設基金事業				教育総務部	教育総務課	458	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	小学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	02	中学校大規模改修事業				教育総務部	教育総務課	0	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	小学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	1,406	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	01	02	03	中学校活動助成事業				教育総務部	教育総務課	3,096	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	教職員人事管理事業			■	学校教育部	学務課	2,566	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	教職員資質向上事業	■		■	学校教育部	指導課	3,993	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	少人数指導充実事業			■	学校教育部	指導課	32,156	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	03	地域人材活用推進事業		■	■	学校教育部	指導課	3,216	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	03	語学指導充実事業			■	学校教育部	指導課	26,196	○	☆☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	04	学校保健事業				学校教育部	学務課	34,268	○	☆☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	学校給食費援助事業				学校教育部	学務課	32,679	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	医療費援助事業				学校教育部	学務課	51	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	01	02	04	学校給食・食育推進事業				学校教育部	学務課	650,113	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	学校安全教育推進事業				学校教育部	指導課	8	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	04	健康教育推進事業			■	学校教育部	指導課	83	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	05	特別支援教育推進事業	■		■	学校教育部	指導課	13,580	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	01	02	06	教育相談体制整備事業	■			学校教育部	指導課	15,663	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	01	02	06	教育相談所運営事業	■			学校教育部	指導課	12,676	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
										857,009	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	●教育総務部		
	節	3	心豊かな青少年を育む環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	家庭・学校・地域や青少年関係団体等が連携して、地域全体で心豊かな青少年を育てる環境をつくっています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① やしお子ども週末活動実施回数と参加者数	41回 5,424人	—	—	—	—	50回 6,500人	—	—	—	—	60回 7,800人
	—	36回 5,015人	38回 5,076人	33回 3,903人	—	—	—	—	—	—	—
② ジュニアリーダー養成研修会修了者数（申込定数30名（毎日））	30人	—	—	—	—	30人	—	—	—	—	30人
	—	16人	22人	37人	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 青少年育成体制の充実	2,872	2	2	0	0	社会教育課
2 青少年の社会参加の促進	947	1	1	0	0	社会教育課
3 青少年活動の推進	581	1	1	0	0	社会教育課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,400	4	4	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	3	心豊かな青少年を育む環境づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>青少年育成体制の充実を図るため、研修会等を通して、青少年活動の指導者及びリーダーを養成するとともに、関係団体の支援活動、団体間の連携強化を図り、青少年の健全な育成体制を整備する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>小学校高学年を対象に八潮市子ども会育成者連絡協議会等と連携し、ジュニアリーダー養成研修会やレクリエーション講習会を実施した。 また、地域の教育力を活用した子どもたちの週末体験活動として、やしお子ども週末活動推進事業「やしお子ども土曜広場」を実施した。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>青少年が気軽に集い、そして世代間の交流ができる安全で安心な居場所のさらなる確保が課題である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>青少年育成八潮市民会議をはじめとする青少年育成関係団体等の各事業に多くの市民の参加があり、市民ぐるみで青少年の健全育成を推進することができた。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>本市の青少年教育は、八潮市青少年健全育成条例のもと、青少年育成関係者や団体との協働により進めており、今後も多くの市民の参画により青少年健全育成運動を広げていく。</p>																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>青少年育成体制の充実</td> <td>青少年育成体制づくり事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>青少年活動の推進</td> <td>青少年の居場所づくり事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	01	03	01	青少年育成体制の充実	青少年育成体制づくり事業	2	01	03	03	青少年活動の推進	青少年の居場所づくり事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	01	03	01	青少年育成体制の充実	青少年育成体制づくり事業																																			
2	01	03	03	青少年活動の推進	青少年の居場所づくり事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 教育総務部		
	節	4	社会の要請に応えた教育の環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	社会の要請に応えた教育の環境づくりが進み、市民の様々な社会教育に対するニーズが満たされています。家庭教育に関する学習機会が充実し、家庭の教育力が向上しています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 社会教育に関する講座数と参加人数	61講座 3,221人	—	—	—	—	65講座 3,250人	—	—	—	—	70講座 3,500人
	—	69講座 3,483人	65講座 3,613人	68講座 3,268人	—	—	—	—	—	—	—
② 家庭教育に関する講座数と参加者数	111講座 3,205人	—	—	—	—	120講座 3,250人	—	—	—	—	125講座 3,300人
	—	111講座 3,222人	111講座 3,193人	108講座 3,234人	—	—	—	—	—	—	—
③ 市民大学・市民大学院延べ卒業生数	326人	—	—	—	—	480人	—	—	—	—	600人
	—	372人	394人	417人	—	—	—	—	—	—	—
④ 図書館利用者数と貸出数	207,302人 427,317点	—	—	—	—	229,000人 454,000点	—	—	—	—	241,000人 477,000点
	—	217,624人 423,733点	216,459人 413,551点	204,678人 394,120冊	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 社会教育活動の充実	46,917	2	2	0	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
2 社会教育活動の推進	11,195	3	2	1	0	社会教育課、社会教育課 公民館・図書館
3 家庭における教育の充実	1,513	1	1	0	0	社会教育課
4 社会教育環境の整備	90,715	3	0	3	0	社会教育課 公民館・図書館
5						
6						
7						
8						
9						
計	150,340	9	5	4	0	

総合計画の体系	章(施策の柱)	1	教育文化・コミュニティ	評価主体(部名)	教育総務部
	節	4	社会の要請に応えた教育の環境づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>市民の学習意識を高め、学習活動を促進するために魅力ある市民大学・大学院事業を進めるとともに、生涯学習学校開放講座を通して、地域力の向上を図る。また、公民館の各種講座の充実を図り、社会教育活動の充実に努める。</p> <p>図書館では、資料の収集、整理及び保存により、市民への情報提供等に供し、市民の様々な学習要求に応えるとともに、生涯にわたり学べる環境づくりに努める。</p>				

3. 節の分析 (部が展開する節の分析)

施策の実施状況	(説明)		
	<p>市民の学習活動を促進する上で、身近な学校を利用した生涯学習学校開放講座を開講した。また、公民館で開催する講座についても、多くの市民が参加して好評を得ている。市民大学、大学院では、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組む人づくりが進み、審議会等に参画する学生・卒業生が増えた。図書館では、資料を収集、整理、保存して市民の様々な学習要求に応えるとともに、生涯にわたり学べる環境づくりに取り組んでいる。八條公民館・図書館では、指定管理者制度により、新規事業など、事業展開を図ることができた。</p>		
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>公民館・図書館では、多くの市民から利用しやすい環境整備が求められており、施設設備の老朽化に対応する改修等が必要となっている。</p> <p>指定管理者制度を導入している八條公民館・図書館においては、管理業務の実施状況や利用状況などについて、随時確認する必要がある。</p> <p>市民大学・大学院については、さらに市民への理解と周知を図るなど、参加者を増やす方法を検討する必要がある。</p>		

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>市民大学・大学院事業をNPO法人と協働で実施するとともに、生涯学習学校開放講座及び公民館の各種講座等を開講して、社会教育活動の充実に努めた。</p> <p>八條公民館・図書館においては、新規事業が増えるとともに、民間事業者ならではの特色ある取り組みを図ることができた。</p>

☆☆☆：順調 (最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

☆：遅れ (このままでは、最終目標の達成が難しい)

☆☆：概ね順調 (最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

5. 今後の方針 (部が展開する節の方針)

方向性	<p>● 現状のまま推進 ■ 見直して推進 ■ 大幅に見直して推進</p> <p>→ ■ 重点化(拡充) ■ 縮小 ■ その他</p>																																
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>市民の学習要望は多岐にわたるため、今後もアンケート等で学習ニーズの把握に努めながら柔軟に対応していく。</p> <p>図書館においては、情報等の提供だけではなく、子どもの読書活動推進法に基づく学校への出前講座や障がいのある人への録音資料等の提供を行っていく。</p> <p>指定管理者制度を導入した八條図書館・公民館においては、業務の実施状況などについて確認を行っていく。</p> <p>市民大学・大学院においては、生涯学習による人づくりを担い、市と協働したまちづくりに貢献できる市民の育成を目指す。</p>																																
■ 重点事業 (部で5事業まで)																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>04</td> <td>01 社会教育活動の充実</td> <td>地域学習活動推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01</td> <td>04</td> <td>02 社会教育活動の推進</td> <td>市民大学・大学院運営事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>01</td> <td>04</td> <td>01 社会教育活動の充実</td> <td>図書館情報提供事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>01</td> <td>04</td> <td>02 社会教育活動の推進</td> <td>公民館運営事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>01</td> <td>04</td> <td>03 家庭における教育の充実</td> <td>家庭教育推進事業</td> </tr> </tbody> </table>	1	施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1	01	04	01 社会教育活動の充実	地域学習活動推進事業	2	01	04	02 社会教育活動の推進	市民大学・大学院運営事業	3	01	04	01 社会教育活動の充実	図書館情報提供事業	4	01	04	02 社会教育活動の推進	公民館運営事業	5	01	04	03 家庭における教育の充実	家庭教育推進事業
1	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	章	節																															
1	01	04	01 社会教育活動の充実	地域学習活動推進事業																													
2	01	04	02 社会教育活動の推進	市民大学・大学院運営事業																													
3	01	04	01 社会教育活動の充実	図書館情報提供事業																													
4	01	04	02 社会教育活動の推進	公民館運営事業																													
5	01	04	03 家庭における教育の充実	家庭教育推進事業																													

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部	教育総務部
	節	5	人権を尊重する社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見のない明るいまちとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	-	-	-	-	35回 3,500人	-	-	-	-	40回 4,000人
②	-	29回 3,249人	30回 1,268人	32回 3,304人	-	-	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 人権教育の推進	1,420	1	1	0	0	社会教育課
2 人権啓発の推進	3,005	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,425	3	3	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が推進する施策の概要	人権は全ての人間の尊厳に基づく固有の権利であることに鑑み、様々な人権問題に対し、啓発活動を通じて基本的人権の尊重、擁護と平等な社会の実現に努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	「八潮市人権施策実施計画」に基づき、市民、市職員、教職員等を対象にした様々な研修を実施するとともに、広報紙、市ホームページ等のほか、人権に関するイベントを実施して人権意識の高揚を図るための啓発活動を実施している。		
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	インターネットの普及により、誤った情報の拡散やSNSなどを通じた誹謗中傷などの人権侵害が行なわれるようになった。このため、正しい知識の普及がより重要となった。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	人権を尊重する社会を実現するため、啓発活動や学校教育、社会教育、研修事業等を実施し、多くの市民が受講し、順調に成果があがっている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	● 現状のまま推進	■ 見直して推進	■ 大幅に見直して推進	
施策の展開方針	(説明)			
	「部落差別解消法」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」などの新たな法律を踏まえた「八潮市人権施策実施計画」に基づき、様々な啓発活動や研修を実施し、人権意識の高揚を図り、差別のない社会を実現する。			
■ 重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節		
1				
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 教育総務部	企画財政部
	節	5	人権を尊重する社会づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	家庭・学校・地域や職場等のあらゆる場において、人権教育についての学習機会や啓発活動が充実しており、市民一人ひとりの人権に対する意識の高揚が進み、差別や偏見のない明るいまちとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 人権に関する研修、催事回数と参加者数	28回 3,051人	—	—	—	—	35回 3,500人	—	—	—	—	40回 4,000人
	—	29回 3,249人	30回 1,268人	32回 3,304人	—	—	—	—	—	—	—
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 人権教育の推進	1,420	1	1	0	0	社会教育課
2 人権啓発の推進	3,005	2	2	0	0	人権・男女共同参画課、社会教育課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,425	3	3	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	5	人権を尊重する社会づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	<p>学校、企業及び関係機関と連携を図り、様々な機会を捉えて人権教育を積極的に展開し、人権意識の高揚に努める。また、人権問題について市民一人ひとりが正しく理解し、認識を深めるよう講演会等を開催したり、広報活動を充実して人権啓発を積極的に進める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律や部落差別の解消の推進に関する法律など、人権に関わる法整備が進む中、八潮市人権教育推進協議会と連携して人権教育に取り組むとともに、人権教育や同和教育指導者養成の講座を実施した。また、人権標語や作文を児童生徒から募集し、公共機関や金融機関に掲示して広く人権啓発に努めた。</p>		
課題	● 課題はほとんどない	■ ある程度課題がある	■ 大きな課題がある
	<p>一人ひとりが個人として尊重される社会を継続的に実現するため、あらゆる機会を捉え、人権教育及び人権啓発を実施する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	<p>人権教育及び人権啓発を継続して実施することができ、市民の意識の高揚が図れた。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>● 現状のまま推進 ■ 見直して推進 ■ 大幅に見直して推進</p> <p>→ ■ 重点化(拡充) ■ 縮小 ■ その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律や部落差別の解消の推進に関する法律などの人権に関する法律を踏まえ、家庭、学校、地域、職場など、あらゆる場を通して、人権教育の学習機会の拡大を図るとともに、多様な広報媒体を活用した啓発活動の充実に努める。</p>																																							
■ 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>人権教育の推進</td> <td>人権教育推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>01</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>人権啓発の推進</td> <td>人権啓発事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	01	05	01	人権教育の推進	人権教育推進事業	2	01	05	02	人権啓発の推進	人権啓発事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	01	05	01	人権教育の推進	人権教育推進事業																																			
2	01	05	02	人権啓発の推進	人権啓発事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部		
	節	6	平和な社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	市民が平和で穏やかな生活を営み、子どもたちが夢や希望を抱き、次の世代に平和の尊さが語り継がれているやすらぎに満ちたまちになっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 平和施設見学会実施回数（毎年）	1回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
	-	1回	1回	1回							
②		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										
③		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										
④		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										
⑤		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 平和教育の推進	32	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
2 平和意識の高揚	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	32	2	1	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	6	平和な社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が推進する施策の概要	平和の尊さを未来を担う次の世代に引き継いでいくため、平和推進に関する啓発活動を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生を対象に平和施設見学会を開催し、その体験を通じて平和への意識向上を図る。 平和パネル展、原爆パネルを開催して、次世代に平和の尊さの継承を図る。 		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>平和施設見学会は参加者の満足度は高いものの、近年参加申込みが減少傾向にある。参加者を増加するための手法についての検討が必要となってきている。</p> <p>平和事業は平和施設見学会及びパネル展を実施しているが、新たな事業について検討が必要な時期にきている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	平成30年度は台風により、平和施設見学会は実施できなかった。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>施設見学会やパネル展のほかに、より啓発効果の高い事業を検討しながら、事業を継続する。</p>																																							
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1						2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1																																								
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部	教育総務部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が育まれ、新しい文化活動が創造されています。また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に地域の伝統文化を伝えているまちになっています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	—	—	—	—	20講座 2,000人	—	—	—	—	25講座 2,500人
	—	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人	—	—	—	—	—	—	—
② 郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	—	—	—	—	55講座 9,000人	—	—	—	—	60講座 10,000人
	—	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5,397人	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 文化活動の推進	4,306	3	0	3	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2 文化施設の充実	119,364	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
3 文化財保護事業の推進	3,727	2	2	0	0	文化財保護課
4 郷土の歴史・文化普及事業の推進	13,668	2	1	1	0	文化財保護課
5						
6						
7						
8						
9						
計	141,065	10	3	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	<p>(1) 文化活動の推進：文化イベントや文化施設での講座を充実するとともに、アウトリーチ活動による施設外でのイベントを開催し、文化芸術にふれる機会を充実する。</p> <p>(2) 文化施設の充実：施設の充実や有効利用、相互の連携を強化する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>(1) 文化芸術にふれる機会として、講座やコンサート等の自主事業を実施し、メセナ本館では100,331人、アネックスでは33,482人の施設利用があった。</p> <p>(2) メセナ本館施設の充実のため、3箇所の工事を行い、12箇所の改修を行った。</p>		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	<p>・八潮市民文化会館については、開館以来29年が経過し、建物・設備の老朽化が顕著である。保全計画に基づき計画的な修繕が必要である。</p> <p>・八潮市民文化会館駅前分館については、再任用短時間職員及び臨時職員により対応しており、正規職員の配置がない状態が続いている。</p> <p>・八潮市民文化会館駅前分館の利用者数は前年より275人減少したものの、例年並みの利用者数であった。今後は、自主事業の開催や展示等の施設使用の用途を検討する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	八潮市民文化会館、八潮市民文化会館駅前分館は、安全で安心して利用できるよう保全計画に基づく改修がなされている。また、文化芸術に触れる機会の充実を図るため、今後もアウトリーチの開催地を増やすとともに、安定的に事業を実施していく。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>● 現状のまま推進 ■ 見直して推進 ■ 大幅に見直して推進</p> <p>→ ■ 重点化(拡充) ■ 縮小 ■ その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八潮市民文化会館では地域に根ざした文化活動の一環として、カジュアルなクラシックコンサートを実施している。市民が音楽を身近に感じられるよう、市内の様々な場所で演奏を楽しめる機会を提供していく。 ・八潮市民文化会館は、引き続き安全で安心な施設運営を目指し、保全計画に基づいた改修工事を実施する。また、八潮市民文化会館駅前分館については、施設の有効活用を引き続き検討する。 																																							
■ 重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>01</td> <td>07</td> <td>02</td> <td>文化施設の充実</td> <td>八潮市民文化会館施設管理事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	01	07	02	文化施設の充実	八潮市民文化会館施設管理事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	01	07	02	文化施設の充実	八潮市民文化会館施設管理事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 教育総務部	市民活力推進部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心を持ち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	個性あふれる豊かな市民文化と豊かな人間性が生まれ、新しい文化活動が創造されています。また、市民が地域やまちの歴史に愛着をもち、次の世代に地域の伝統文化を伝えているまちになっています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 市民文化推進に関する講座数と参加者数	14講座 1,806人	—	—	—	—	20講座 2,000人	—	—	—	—	25講座 2,500人
	—	12講座 849人	11講座 873人	13講座 1,017人	—	—	—	—	—	—	—
② 郷土の歴史・文化に関する講座数と参加者数	51講座 8,340人	—	—	—	—	55講座 9,000人	—	—	—	—	60講座 10,000人
	—	61講座 7,029人	72講座 7,346人	68講座 5,397人	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 文化活動の推進	4,306	3	0	3	0	市民協働推進課、社会教育課 公民館・図書館、文化財保護課
2 文化施設の充実	119,364	3	0	3	0	市民協働推進課、文化財保護課
3 文化財保護事業の推進	3,727	2	2	0	0	文化財保護課
4 郷土の歴史・文化普及事業の推進	13,668	2	1	1	0	文化財保護課
5						
6						
7						
8						
9						
計	141,065	10	3	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	教育総務部
	節	7	個性あふれる豊かな市民文化づくり	評価者名	荒浪淳
評価主体が推進する施策の概要	文化に関わるイベントや講座を充実させるとともに、地域や市民生活に根ざした文化活動を支援し、文化団体の育成を図る。文化財調査を進め、新たな文化財の指定・登録に努めるとともに、既存文化財の普及啓発事業及び整備支援を行う。また、収蔵資料や市の歴史、文化を紹介する企画展等を開催し、市民の地域の歴史や文化遺産への関心を高める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	八潮市文化協会との連携により、書道展、美術展、音楽祭、文化祭等、各種文化活動を行った。 文化財保護関係では、市内に伝わる歴史資料や文化遺産を後世に継承するため、調査及び保存に努めるとともに、市内の文化財に対する理解を深めてもらうために『八潮市の文化財ガイド』の刊行や文化財解説板の更新などを行った。また、企画展及び季節展示を計4回行い、延べ3,985人の参観者を得られた。		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	八潮市文化協会が中心となった文化活動において、市民意識の醸成が必要となっている。 文化財保護関係では、文化財所有者・保持団体等で、文化財保存のために抱える課題は様々であるため、実情に合わせたきめ細やかな対応を行い、支援制度の活用に繋げてもらう必要がある。また、歴史や文化遺産への理解を深めてもらうため、文化財愛護団体等と連携し、文化財の普及啓発と活用事業に努めていく必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	八潮市文化協会の加入団体の連携により、各種文化活動が実施できた。 文化財保護関係では、『八潮市の文化財ガイド』の刊行や文化財解説板の更新などを行ない、市内の文化財に対する理解を深めてもらうことができた。また、企画展及び季節展示、資料活用事業、歴史講座などもほぼ順調な観覧者・参加者を得られた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	●現状のまま推進	■見直して推進	■大幅に見直して推進		
施策の展開方針	(説明)				
	八潮市文化協会の加入団体間の更なる連携を図り、市民の文化活動を促進する。 文化財保護関係では、さらに文化財の調査を進め、保護に努めるとともに、企画展等を開催して市民への周知を図る。また、民俗行事や伝統芸能の継承・発展につなげるため、伝統芸能等への振興事業、活動支援を行っていく。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			
1	01	07	02	文化施設の充実	資料館運営事業
2	01	07	04	郷土の歴史・文化普及事業の推進	郷土の歴史・文化普及事業
3	01	07	03	文化財保護事業の推進	文化財保護充実事業
4	01	07	04	郷土の歴史・文化普及事業の推進	収集資料保存・活用事業
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 市民活力推進部		
	節	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	町会・自治会をはじめ、ボランティア団体やNPO※等が、地域コミュニティ活動を主体的に展開しながら、まちづくりに取り組んでいます。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 町会・自治会等の地域活動への参加率	32.60%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	48%
	—	20.4%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
② ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	—	—	—	—	260団体	—	—	—	—	310団体
	—	222団体	235団体	229団体	—	—	—	—	—	—	—
③ NPO法人登録数	16団体	—	—	—	—	20団体	—	—	—	—	25団体
	—	22件	22件	22件	—	—	—	—	—	—	—
④ 日本語ボランティアの登録者数	26人	—	—	—	—	45人	—	—	—	—	56人
	—	36人	34人	34人	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 コミュニティ活動の推進	25,438	3	1	2	0	市民協働推進課
2 コミュニティ環境の整備	13,248	2	0	2	0	市民協働推進課
3 外国籍住民との交流の推進	171	1	0	1	0	市民協働推進課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	38,857	6	1	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	8	ふれあいと連帯感にみちた地域社会づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	(1) コミュニティ活動の推進：町会自治会、ボランティア団体、NPO等の地域コミュニティと様々な情報交換を行い、協働で事業を展開し、活動への参加を促すことで各地域コミュニティの活性化を促進する。 (2) コミュニティ環境の整備：コミュニティ施設の整備及び修繕等への支援をする。 (3) 多国籍住民との交流の促進：ボランティア団体等と連携し、研修会やイベント等を開催し多国籍住民との交流を促進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	町会自治会連合会や各町会自治会、コミュニティ協議会に各種補助金を交付し、コミュニティ活動への参加と活性化を促進する事業を実施した。また、3月から4月の加入促進月間や市民まつりで町会活動のPRや、大型集合住宅に対して自治会設立、加入の案内チラシを作成・配布し、さらに外国人住民に対し地域活動への理解を促すため、中国語版加入チラシを作成した。 市民活動支援コーナーでは、市民活動支援のため講習会やイベントを実施した。 多文化交流活動推進のため、日本語ボランティア養成講座や市民団体と協働で国際交流フェスティバルを開催した。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 町会自治会と連携して加入率の向上に努める必要がある。 市民活動支援コーナーの運営にあたっては、様々な相談等に適切に対応する、コーディネーターの養成に向けた取組みを行う必要がある。 外国人住民の増加に伴い、生活習慣の違いにより地域におけるトラブルもあることから、相談窓口等の対策が必要である。また、日本語が全く分からない住民も居住しているため、行政が作成する文書の多言語化についても検討する必要がある。 コミュニティセンターについては、計画的な改修が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	町会自治会等の地域活動への参加率については、市民意識調査結果では20.4%と低い数値だが、ボランティア等の活動団体数やNPO法人登録数は一定の数値を保っており、国際交流フェスティバルの開催や多言語版の加入チラシの作成やPR、市民活動支援コーナーにおける事業も充実してきている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
施策の展開方針	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充)			<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> その他
	(説明)				
町会自治会の加入率向上を図るため、引き続き町会自治会への支援を行うとともに、集合住宅等へ町会自治会設立や加入を働きかけていく。 市民活動支援コーナー機能の充実を図る。 多文化共生を推進するため、講座や外国人住民との交流事業を開催していく。					
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	01	08	01	コミュニティ活動の推進	コミュニティ意識の高揚事業
2	01	08	01	コミュニティ活動の推進	市民活動支援事業
3	01	08	03	外国人住民との交流の推進	多文化交流活動支援事業
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	担当部	● 企画財政部		
	節	9	男女がともに育む社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	生涯にわたり楽しく学べる環境が整い、次代を担う子ども一人ひとりが自ら学び、考え、行動する力を身に付け、それぞれの個性や可能性を伸ばしています。市民は気軽に学習活動や文化活動を行うことができ、生きがいをもって暮らしています。多くの市民が町会や自治会等のコミュニティ活動にも積極的に参加しています。また、誰もが互いを思いやる心もち、人と人、人と地域とのつながりやふれあいを大切にするまちとなっています。	基本目標	男女が互いに尊重し合い、性別に捉われることなくあらゆる分野で活躍できるまちとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 審議会への女性の登用率	31.20%	—	—	—	—	35%	—	—	—	—	40%
	—	30.5%	31.3	33.8							
② 相談体制の充実	週3日	—	—	—	—	週4日	—	—	—	—	週5日
	—	週4日	週5日	週5日							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 男女共同参画の促進	302	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
2 相談体制等の充実	3,839	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
3 男女平等意識の高揚	141	1	0	1	0	人権・男女共同参画課
4 仕事と家庭・地域生活の両立	0	1	1	0	0	人権・男女共同参画課
5						
6						
7						
8						
9						
計	4,282	4	2	2	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	1	教育文化・コミュニティ	評価主体（部名）	企画財政部
	節	9	男女がともに育む社会づくり	評価者名	前田秀明
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次八潮市男女共同参画プランの基本理念である「誰もが自分らしく、輝いて暮らせるまち」を目指す。 ・政策、方針などの決定の場への女性の登用率の向上を図る。 ・女性に対する暴力の防止を啓発し、被害者支援体制の充実を図る。 ・仕事と家庭・地域生活の両立を目指すため、ワーク・ライフ・バランスの推進を啓発する。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次八潮市男女共同参画プランに基づき、男女共同参画社会の実現に向け、各種啓発事業を実施した。 ・DV被害者の早期発見、支援のため、「女性相談」や「DV相談」を実施し、さまざまな悩みを持つ女性の支援に努めた。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会等委員における女性の登用については、増加しつつあるが、目標値には達していない。女性委員ゼロの審議会等もあり、各選出団体等に対し、女性委員の推薦についての理解を得る必要がある。 ・DV相談の充実のため、相談員の確保や男性相談の必要性についての検討が必要となってきた。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	課題はあるものの、第4次八潮市男女共同参画プランで掲げた数値目標について一定の成果は出ているため概ね順調とする。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																	
施策の展開方針	(説明) 第4次八潮市男女共同参画プランに基づき、計画的に各施策を実施するとともに、目標値を達成するために課題についての対応を検討する。																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																		
重点事業（部で5事業まで）																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	施策	1					2					3					4					5				
	施策コード		施策の内容	事務事業																														
	章	節			施策																													
1																																		
2																																		
3																																		
4																																		
5																																		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、自分自身の健康について関心をもち、自らの健康づくりに主体的に取り組むとともに、地域の中でともに支え合いながら、心豊かに健康でいきいきと暮らしています。また、それぞれの年代に応じた健康に関する情報等をいつでも手軽に入手しながら、身近なところで健康づくりを実践しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 健康づくり懇話会の設置数	14か所	—	—	—	—	19か所	—	—	—	—	22か所
	—	16か所	16か所	17か所							
② ヘルシーチェック受診者数(20歳～39歳の市民を対象に市で行っている健康診査)	241人	—	—	—	—	350人	—	—	—	—	400人
	—	317人	290人	343人							
③ 大腸がん検診受診率(40歳以上の市民を対象に市で行っている検診)	35.60%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	50%
	—	33.4%	31.1%	30.4%							
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 心豊かな健康づくりの推進	34,983	2	0	2	0	健康増進課
2 保健サービスの充実	413,524	3	0	3	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	448,507	5	0	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1	ともに支えあう、心豊かな健康づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>【心豊かな健康づくりの推進】市民自らが主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、健康意識の啓発や地域の実情に合った情報等を提供するとともに、地域住民や町会・自治会、ボランティア等と協働し、健康づくり事業を行う。</p> <p>【保健サービスの充実】子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた健康づくりを支援するため、妊娠、出産、育児まで切れ目のない母子保健事業を展開するとともに、健康増進事業、予防接種事業を充実させる。また、医療や福祉の関係機関と連携し、市民の健康づくりを支援する体制を強化する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) 心豊かな健康づくりの推進では、第2次八潮市健康づくり行動計画に基づき、「健康づくり懇話会」、「健康スポーツまつり」、「ラジオ体操普及事業」、「健康長寿サポーター養成講習会」等を実施するとともに、新規に「健康マイレージ事業」及び「体力づくり講座」を実施した。また、「八潮市のち支える自殺対策計画」を策定した。 保健サービスの充実では、妊婦健診、乳幼児健診などの母子保健事業を実施するとともに、子育て世代包括支援センター（利用者支援事業母子保健型）を開設した。また、ヘルシーチェック、がん検診、こころの健康相談などの健康増進事業、各種定期予防接種を行う予防接種事業を実施した。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
課題	<p>心豊かな健康づくりの推進では、様々な世代に健康づくりに対する意識啓発を図るため、様々な手段による健康情報の発信や、身近なところで気軽に健康づくりに取り組める環境整備が必要である。また、「健康マイレージ事業」においては、参加者の拡充を図りながら、市民が主体となった健康づくりを推進していく必要がある。</p> <p>保健サービスの充実では、母子保健事業においては、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図り、健康増進事業においては、ヘルシーチェックやがん検診の受診率向上に向けた積極的な取組が必要である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	健康づくり推進事業においては、新規事業の「健康マイレージ事業」に687人と多くの市民が参加した。母子保健事業においては、子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制の整備を図った。健康増進事業においては、受診率向上を図るため積極的に受診勧奨を行った。以上のことから概ね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>心豊かな健康づくりの推進では、第2次八潮市健康づくり行動計画に基づき、市民が主体的に健康づくりに取り組めるよう、積極的な情報発信と各種健康づくり事業を随時見直ししながら着実に実施する。また、市と協働で健康づくり事業を推進する自主グループ等の担い手を育成する仕組みを検討する。</p> <p>保健サービスの充実では、母子保健事業においては、市関係部署や関係機関との連携強化を図りながら「子育て世代包括支援センター」を運営し、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援体制の充実を図る。健康増進事業においては、あらゆる機会を通じ、健康の保持増進や健(検)診の必要性について普及啓発し、各種健(検)診の受診率向上と講座等の事業参加者の増加を図る。予防接種事業においては、委託医療機関と連携し、安全かつ円滑な予防接種事業を行う。</p>																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>心豊かな健康づくりの推進</td> <td>健康づくり推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>心豊かな健康づくりの推進</td> <td>保健センター管理運営事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>保健サービスの充実</td> <td>母子保健事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>保健サービスの充実</td> <td>健康増進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>保健サービスの充実</td> <td>予防接種事業</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	健康づくり推進事業	2	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	保健センター管理運営事業	3	02	01	02	保健サービスの充実	母子保健事業	4	02	01	02	保健サービスの充実	健康増進事業	5	02	01	02	保健サービスの充実	予防接種事業
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	健康づくり推進事業																																			
2	02	01	01	心豊かな健康づくりの推進	保健センター管理運営事業																																			
3	02	01	02	保健サービスの充実	母子保健事業																																			
4	02	01	02	保健サービスの充実	健康増進事業																																			
5	02	01	02	保健サービスの充実	予防接種事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	2	いのちを守る医療体制づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民は、かかりつけ医を持ち、日頃から健康について医療機関に相談し、自分自身の健康管理に努めています。また、救急医療体制が整備され、市民は救急時に適切に医療機関を受診でき、安心して暮らしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① かかりつけ医（歯科医を含む）を持つ市民の割合	-	-	-	-	-	50%	-	-	-	-	60%
②	-	-	-	44.3%	-	-	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域医療提供体制の充実	11,216	1	0	1	0	健康増進課
2 地域救急医療体制の整備	19,120	2	0	2	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	30,336	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2	いのちを守る医療体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>【地域医療提供体制の充実】市民が自ら健康管理を行うため、地域の医療機関との協力体制の充実を図りながら、かかりつけ医（歯科医も含む）の定着を推進する。また、専門的な医療機関（産科等）の誘致活動を推進する。</p> <p>【地域救急医療体制の整備】初期救急医療体制を確立するため、休日診療所の円滑な運営に努める。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し、運営や設備整備のための支援を行うとともに、相談窓口を周知するなど、救急医療体制の充実に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	<p>(説明) 地域医療提供体制の充実では、各種の健康づくり事業を通じて、かかりつけ医（歯科医を含む）の必要性について啓発するとともに、地域の医療機関との協力体制を円滑にし、保健衛生、地域医療を促進するため、地域医療団体並びに在宅歯科診療整備事業に対し補助金を交付した。また、「産科誘致に係る支援方針」に基づき、周知を行うとともに、産科開設希望者への相談等の対応を行った。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、市民の救急時医療に対応するため、初期救急医療機関である「八潮市立休日診療所」を通年開設した。また、埼玉県東部南地区の第二次救急医療に協力する医療機関に対し運営支援を行った。</p>		
	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	<p>地域医療提供体制の充実では、日ごとの健康管理や病気の早期発見、早期治療のため、かかりつけ医の必要性について、これまで以上に市民の意識を高める必要がある。また、専門的な医療機関として産婦人科の確保が求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	いのちを守る医療体制づくりでは、地元医師会・歯科医師会などとの連携・協力により、地域医療並びに救急医療に係る事業等が概ね順調に展開された。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>地域医療提供体制の充実では、かかりつけ医を持つ市民の割合を高めるため、かかりつけ医の必要性について、様々な機会を捉えて積極的に周知するとともに、地域医療団体並びに在宅歯科診療整備事業に対する補助金交付などにより、地域医療提供体制の充実を図る。また、「産科誘致に係る支援方針」に基づき、支援内容の情報発信や産科開設に係る相談等を行う。</p> <p>地域救急医療体制の整備では、埼玉県東部南地区第二次救急医療対策協議会などを通じて、救急医療提供体制の充実に努めるとともに、市民に対し、救急医療に関する相談窓口等の情報を提供し、適切な医療サービスが効率的に受けられる環境整備に努める。また、初期救急を担う公的医療機関として、休日診療所の安定的な運営の確保に努める。</p>																																							
<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>地域医療提供体制の充実</td> <td>地域医療促進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>地域救急医療体制の整備</td> <td>休日診療所運営事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>地域救急医療体制の整備</td> <td>救急医療対策事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	02	02	01	地域医療提供体制の充実	地域医療促進事業	2	02	02	02	地域救急医療体制の整備	休日診療所運営事業	3	02	02	02	地域救急医療体制の整備	救急医療対策事業	4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	02	02	01	地域医療提供体制の充実	地域医療促進事業																																			
2	02	02	02	地域救急医療体制の整備	休日診療所運営事業																																			
3	02	02	02	地域救急医療体制の整備	救急医療対策事業																																			
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	国民健康保険制度や後期高齢者医療制度が安定的に運用され、市民は必要な医療保険サービスを受けることができます。また、国民年金制度に対する理解が進み、市民が制度に基づき年金を受給することができます。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 特定健康診査受診率 （国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%）	0.372	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	37	38.3								
② 特定保健指導実施率 （国の現行基準における市町村国民健康保険の目標値60%）	8.60%	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	60%
	—	7.9	18.1								
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 国民健康保険制度の適切な運用	9,500,500	4	1	3	0	国保年金課
2 後期高齢者医療制度の適切な運用	1,692,578	2	1	1	0	国保年金課
3 国民年金制度の理解促進	9,869	1	1	0	0	国保年金課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	11,202,947	7	3	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	3	誰もが安心して生活できる社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	<p>【国民健康保険制度の適切な運用】国民健康保険制度の都道府県単位での運営への移行を踏まえつつ、県と市町村との適切な役割分担に基づき、医療費適正化に向けた取組や保険給付の実施、必要な財源の確保等、国民健康保険制度の適切な運用に努める。</p> <p>【後期高齢者医療制度の適切な運用】埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保健事業の実施や保険料の徴収等、後期高齢者医療制度の適切な運用に努める。</p> <p>【国民年金制度の理解促進】日本年金機構との連携を図り、広報紙やホームページの活用、年金相談等を通じて、国民年金制度の理解促進に努める。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>国民健康保険制度の適切な運用では、医療費の適正化に努めるとともに税金を含めた自主財源の確保を図った。</p> <p>後期高齢者医療制度の適切な運用では、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、保険料の確保等の適切な運用に努めた。</p> <p>国民年金制度の理解促進では、年金制度の周知に努めるとともに、市民から提出された書類の進達などを行った。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>国民健康保険事業では、特定健診の受診率の向上や特定保健指導の実施等による医療費の適正化を進めるほか、国保の都道府県化に対応するための取組が求められている。</p> <p>後期高齢者医療制度では、高齢化の進行等により、医療費が増加傾向にある中、その財源となる保険料の収納強化に努める必要がある。</p> <p>国民年金制度では、保険料免除制度の拡充など、様々な制度改正に対し日本年金機構と連携しながら、適切に対応することが求められている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<p>国民健康保険事業では、特定健診・特定保健指導の受診率・実施率において目標値との乖離があったものの、国保税の収納率の向上や保険給付費の減が見られた。</p> <p>また、後期高齢者医療制度と国民年金制度では、関係機関との連携により、適切な運用が図られた。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>国民健康保険事業では、第2期八潮市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、より一層医療費の適正化に努めるとともに、被保険者の健康の保持・増進に努める。また、第3期八潮市特定健康診査等実施計画に基づき、特定健康診査・特定保健指導の受診率（実施率）の向上に努める。</p> <p>平成30年度からスタートした国保の都道府県化については、今後も国、県の動向に十分注視し、適宜必要な措置を講ずる。</p> <p>後期高齢者医療制度では、制度改正の動向を注視しつつ、埼玉県後期高齢者医療広域連合との連携を図り、制度の適切な運用に努める。</p> <p>国民年金制度では、日本年金機構と連携しながら、様々な制度改正に係る周知や、国民年金制度に対する理解の促進を図り、市民の年金受給権の確保に努める。</p>																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険医療費給付事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険支援事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>国民健康保険制度の適切な運用</td> <td>国民健康保険保健事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>後期高齢者医療制度の適切な運用</td> <td>後期高齢者医療費等法定負担事務</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>02</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>後期高齢者医療制度の適切な運用</td> <td>後期高齢者医療保険事務</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険医療費給付事業	2	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険支援事業	3	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険保健事業	4	02	03	02	後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療費等法定負担事務	5	02	03	02	後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療保険事務
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険医療費給付事業																																			
2	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険支援事業																																			
3	02	03	01	国民健康保険制度の適切な運用	国民健康保険保健事業																																			
4	02	03	02	後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療費等法定負担事務																																			
5	02	03	02	後期高齢者医療制度の適切な運用	後期高齢者医療保険事務																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 市民活力推進部		
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民の誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しみ、体を動かすことの楽しさを実感し、体力の維持向上、ストレスからの開放等、心身ともに健康で楽しく毎日を過ごしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① スポーツ教室の開催数と参加者数	5教室 98人	—	—	—	—	7教室 140人	—	—	—	—	10教室 200人
	—	6教室 99人	38教室 717人	41教室 843人	—	—	—	—	—	—	—
② スポーツ・レクリエーション指導者数	10人	—	—	—	—	15人	—	—	—	—	20人
	—	11人	11人	2人	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 スポーツ・レクリエーション活動の推進	13,672	2	1	1	0	スポーツ振興課
2 スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	1,707	1	0	1	0	スポーツ振興課
3 スポーツ・レクリエーション団体の育成	5,259	1	0	1	0	スポーツ振興課
4 スポーツ・レクリエーション施設の充実	91,016	1	0	1	0	スポーツ振興課
5						
6						
7						
8						
9						
計	111,654	5	1	4	0	

総合計画の体系	章(施策の柱)	2	健康福祉・子育て	評価主体(部名)	市民活力推進部
	節	4	スポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくり	評価者名	鈴木圭介
評価主体が推進する施策の概要	【スポーツ・レクリエーション活動の推進】市民の誰もが、気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむことができるよう、年齢、体力、運動能力等に応じたスポーツ教室等を充実する。【スポーツ・レクリエーション活動体制の充実】地域でのスポーツ・レクリエーション活動やスポーツ行事等を支える指導者、ボランティア等の人材育成を進める。【スポーツレクリエーション団体の育成】市民が継続的にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむためにパートナーとなるスポーツ・レクリエーション団体の活動を支援する。【スポーツ・レクリエーション施設の充実】市民が安全で安心してスポーツ施設を利用できるよう、市民のニーズに合わせたスポーツ施設の適切な維持管理と計画的な施設の充実に努める。				

3. 節の分析 (部が展開する節の分析)

施策の実施状況	(説明)		
	<p>●誰もが気軽にスポーツレクリエーション活動に親しむことができるよう、企業等と連携を図りトップアスリートの発掘・育成に向けた教室の実施を含めスポーツアカデミー設立に向けた事業を実施した。●八潮市出身の大学教授による指導者講習会を実施した。●体育協会との協働により、体育祭や駅伝大会を実施し、市民のスポーツによる参加と交流の機会の提供を図った。●体育協会、スポーツ少年団本部、レクリエーション協会、スポーツ推進協議会へ補助金交付など、各団体の活動を支援することで市民のスポーツ活動の推進を図った。●利用者の安全安心のため、設備等の修繕を実施し維持管理に努めた。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<p>●トップアスリート育成・発掘に向けた、教室のプログラムや支援体制等スポーツアカデミーとしての事業実施が必要である。 ●Is値不足の文化スポーツセンターの代替えである新スポーツ施設整備がまったく進捗していない状況がある。 ●市民体育祭については、体育の日の変更状況や参加状況から、体育協会と開催日時や場所、内容等について見直しを図る必要がある。 ●水銀灯の製造停止に伴い、夜間照明設備の計画的なLED化が必要である。</p>		

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<p>●スポーツ推進計画を策定した。●スポーツ教室では、企業と連携し、スポーツアカデミー設立に向けた新たな教室を実施した。●市民体育祭では、来年度の体育の日が変更となることから、体育協会体育祭企画委員会に日程や内容の見直しを提案した。●スポーツ施設について必要な工事修繕を行い、利用者の安全性確保と利便性を向上することができた。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針 (部が展開する節の方針)

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>●八潮市スポーツ推進計画の施策を実施する。 ●子供から高齢者まで、市民の誰もが気軽にスポーツレクリエーション活動に親しむことができるよう、企業等とも連携を図りスポーツ教室等の充実やトップアスリートの発掘・育成に向けた継続的な教室等、スポーツアカデミー設立に向けた事業を実施する。 ●市民のスポーツ・レクリエーション活動を推進するため、引続き各種団体の活動を支援するとともに、講習会等を実施し指導者の育成に努める。 ●市民体育祭については、体育協会と連携しながら開催内容等を見直し、より多くの市民が参加できるよう検討する。 ●市民が安全に安心して利用できるよう、エイトアリーナの空調機器の更新を含めたスポーツ施設の必要な修繕等を行い、安全性を確保しながら適切な運営に努める。</p>																																							
■重点事業 (部で5事業まで)																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>スポーツ・レクリエーション活動の推進</td> <td>スポーツ振興事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>スポーツ・レクリエーション活動体制の充実</td> <td>スポーツ指導者支援事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>04</td> <td>04</td> <td>スポーツ・レクリエーション施設の充実</td> <td>体育施設管理運営事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興事業	2	02	04	02	スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	スポーツ指導者支援事業	3	02	04	04	スポーツ・レクリエーション施設の充実	体育施設管理運営事業	4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	02	04	01	スポーツ・レクリエーション活動の推進	スポーツ振興事業																																			
2	02	04	02	スポーツ・レクリエーション活動体制の充実	スポーツ指導者支援事業																																			
3	02	04	04	スポーツ・レクリエーション施設の充実	体育施設管理運営事業																																			
4																																								
5																																								

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	●健康福祉部		
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	地域の一人ひとりが、人と地域の絆を大切にし、互いに支え合うことにより、誰もが安心して笑顔でいきいきと生活を送っています。また、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができない市民やそのおそれのある市民が、包括的な相談や支援を受けながら、自立し安定した生活を送っています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① ボランティア活動団体登録数	89団体	—	—	—	—	108団体	—	—	—	—	118団体
	—	96団体	108団体	111団体							
② 就労支援プログラムに基づく就労率	46.60%	—	—	—	—	47.60%	—	—	—	—	48.60%
	—	58.9%	56.2%	53.2%							
③		—	—	—	—						
	—										
④		—	—	—	—						
	—										
⑤		—	—	—	—						
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 相互扶助意識の高揚	15,479	2	2	0	0	社会福祉課、長寿介護課
2 地域福祉環境の整備	0	1	1	0	0	社会福祉課
3 地域福祉活動の充実	76,548	2	2	0	0	社会福祉課
4 生活の安定のための支援	2,680,691	3	3	0	0	社会福祉課
5						
6						
7						
8						
9						
計	2,772,718	8	8	0	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	5	互いに支え合い誰もが安心して暮らせる社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	①相互扶助意識の高揚:八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」といった交流事業を開催し、市民の地域福祉活動の増進及び相互扶助意識の高揚を図る。②地域福祉環境の整備:八潮市地域福祉計画に基づき地域福祉の推進に関する各種事業を実施し、人と地域の絆の再生を図り、互いに支え合う地域づくりを推進する。③地域福祉活動の充実:地域福祉の推進に欠かせない八潮市社会福祉協議会や民生委員・児童委員に対する支援を行い地域福祉活動の推進を図る。④生活の安定のための支援:生活保護制度・生活困窮者自立支援事業の適切な運営を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ①相互扶助意識の高揚では、市内の福祉ボランティア団体・ボランティア推進校の協力を得ながら、八潮市社会福祉協議会との共催による「高齢者と障がい者のスポーツの祭典」を実施した。②地域福祉環境の整備では、第2期八潮市地域福祉計画に基づき、地域福祉の推進に向け啓発等を行った。③地域福祉活動の充実では、八潮市社会福祉協議会と連携しながら、地域福祉に関する各種ボランティア活動への支援を行うとともに、民生委員・児童委員活動が円滑に行えるよう支援を行った。④生活の安定のための支援では、生活困窮者自立支援相談件数が258件、そのうち9人に住居確保金を支給した。また、生活保護事業の就労支援により25人が就労した。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
課題	地域福祉の推進においては、自助・互助・共助・公助という役割分担のもと、地域における多様な主体がそれぞれの役割を担いながら協働し、福祉の力を高める地域づくりが求められている。今後においても、八潮市地域福祉計画に位置付けられた「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者行動計画・障がい福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」や、生活困窮者自立支援事業、生活保護制度に係る各事業展開などの取組が必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会等への支援を行うとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市民生委員・児童委員協議会との連携・協働のもと八潮市地域福祉計画に基づく各種事業に取り組むことで地域福祉の推進が図られており、施策内の各事業も順調に進んでいる。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 重点化(拡充) 縮小 その他																																						
施策の展開方針	(説明) ① 相互扶助意識の高揚及び地域福祉活動の充実では、地域福祉の担い手の中心的な存在である八潮市社会福祉協議会、八潮市民生委員・児童委員協議会や各種福祉ボランティア団体との連携・支援などを通じ、さらなる充実に努める。 ② 地域福祉環境の整備では、八潮市地域福祉計画に位置付けられた、「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」、「障がい者行動計画・障がい福祉計画」、「子ども・子育て支援事業計画」の進行管理に努めるとともに、生活困窮者自立支援事業の充実及び生活保護制度の適切な運用に努める。 ③ 生活の安定のための支援では、生活保護制度、生活困窮者自立支援事業の適切な運営に努める。																																						
■重点事業（部で5事業まで）																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>生活の安定のための支援</td> <td>生活保護事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>生活の安定のための支援</td> <td>生活困窮者自立支援事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>生活の安定のための支援</td> <td>セーフティネット支援対策事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策	施策の内容	事務事業	節	施策	1	02	05	04	生活の安定のための支援	生活保護事業	2	02	05	04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業	3	02	05	04	生活の安定のための支援	セーフティネット支援対策事業	4						5					
章	施策コード		施策	施策の内容				事務事業																															
	節	施策																																					
1	02	05	04	生活の安定のための支援	生活保護事業																																		
2	02	05	04	生活の安定のための支援	生活困窮者自立支援事業																																		
3	02	05	04	生活の安定のための支援	セーフティネット支援対策事業																																		
4																																							
5																																							

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 健康福祉部		
	節	6	安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	高齢者が安心して暮らせ、健康で生きがいをもって、住み慣れた地域で自立した生活を送っています。また、介護が必要な高齢者を市民ぐるみで支え合えるまちとなっています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 一次（一般介護）予防事業参加者率	40.40%	—	—	—	—	41.00%	—	—	—	—	42.00%
	—	42.2%	43.3%	23.6%							
② 要介護等認定者出現率（後期高齢者）	24.50%	—	—	—	—	24.50%	—	—	—	—	24.50%
	—	24.0%	23.8%	23.3%							
③ 老人クラブ会員数	1,929人	—	—	—	—	2,040人	—	—	—	—	2,140人
	—	1,847人	1,795人	1,749人							
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 社会参加の促進と生きがいづくり	56,676	2	0	2	0	長寿介護課
2 高齢者が安心して暮らすことのできる環境の整備	55,651	4	1	3	0	長寿介護課
3 地域支援事業の推進	227,318	1	0	1	0	長寿介護課
4 介護保険サービスの充実	5,424,723	4	1	3	0	長寿介護課
5						
6						
7						
8						
9						
計	5,764,368	11	2	9	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	6	安心して暮らせ活躍できる長寿社会づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	①社会参加の促進と生きがいづくり：高齢者が個々のニーズに即した活動を選択できるような情報提供に努めるとともに、八潮市社会福祉協議会や八潮市シルバー人材センター、老人クラブ連合会等の団体との連携を推進します。②高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備：高齢者が安心して生活を送ることができるよう在宅支援サービスや住まいの支援を充実します。③地域支援事業の推進：介護予防や日常生活支援サービスを充実するとともに、地域課題の把握や解決に向けた支援を行う地域ケア体制を充実します。また、地域での支えあい体制づくりを推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。④介護保険サービスの充実：介護保険制度に基づく居宅サービス、地域密着型サービス及び施設サービスの充実を図るため、介護基盤整備を促進します。また、サービスの質の維持・向上、介護保険制度の安定的な運営に努めます。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明) ①社会参加の推進と生きがいづくり：高齢者の孤立化対策の一環として地域との交流や世代間交流を図ることを目的に、学校給食を利用した「ふれあい共食」を小中学校3校で実施し、高齢者25名、児童生徒67名参加。②高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備：安否確認と栄養バランスの取れた食事を提供する「配食・安否確認サービス」を312名、18,939食実施。③地域支援事業の推進：認知症の方やその家族、地域住民、専門職、ボランティア等が参加し集う場である「オレンジカフェ」を計4か所で48回開催、延べ778人参加。④介護保険サービスの充実：小規模多機能型居宅介護の事業者を選定し令和元年度開所に向けた準備を実施。		
	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	超高齢社会を迎え、ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中で、要介護状態になっても安心して生活できる介護保険サービスの基盤整備や、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう「地域包括ケアシステム」を構築することが求められている。また、認知症施策や徘徊高齢者家族支援の充実が課題となっている。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づいて事業を実施するとともに、第7期事業計画で定めた新規事業や拡充事業を中心に取組を実施した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の 展開方針	(説明) 超高齢社会を迎え、本市における65歳以上の高齢者人口は20,666人（平成30年10月1日）で、高齢化率は22.8%。さらに、要介護認定率の高まる75歳以上の高齢者数は9,497人、割合は10.5%となっており、団塊の世代が75歳になる2025年には、その割合がさらに増えることが予想される。施策の展開に当たっては、こうした状況を踏まえ、①社会参加の促進と生きがいづくり（老人クラブ活動、八潮市シルバー人材センターによる就業機会など）を推進し、②地域支援事業の推進では、地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成30年度からモデル地区の取組を実施するなど、第7期八潮市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、各種事業を着実に実施する方針である。																																
重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>03 地域支援事業の推進</td> <td>地域支援事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>04 介護保険サービスの充実</td> <td>介護保険運営事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>02 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備</td> <td>高齢者在宅福祉サービス事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>01 社会参加の促進と生きがいづくり</td> <td>老人福祉センター運営事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>02</td> <td>06</td> <td>02 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備</td> <td>老人援護措置・権利擁護事業</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1	02	06	03 地域支援事業の推進	地域支援事業	2	02	06	04 介護保険サービスの充実	介護保険運営事業	3	02	06	02 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	高齢者在宅福祉サービス事業	4	02	06	01 社会参加の促進と生きがいづくり	老人福祉センター運営事業	5	02	06	02 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	老人援護措置・権利擁護事業
	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	章	節																															
1	02	06	03 地域支援事業の推進	地域支援事業																													
2	02	06	04 介護保険サービスの充実	介護保険運営事業																													
3	02	06	02 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	高齢者在宅福祉サービス事業																													
4	02	06	01 社会参加の促進と生きがいづくり	老人福祉センター運営事業																													
5	02	06	02 高齢者が安心して暮らすことができる環境の整備	老人援護措置・権利擁護事業																													

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 子育て福祉部		
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	障がいのある人が、自分に適したサービスを自ら選び、地域の中で自立して生活しています。また、障がいのある人が、障がいのない人とともに社会の様々な分野に積極的に参加し、かけがえのない個人として尊重される地域の中で生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 特定相談支援事業所及び障がい児相談支援事業所数	2か所	—	—	—	—	6か所	—	—	—	—	10か所
	—	3か所	3か所	4か所							
② 障がい者（児）に対する障がい福祉サービス及び障がい児通所給付の利用割合	8.50%	—	—	—	—	9.80%	—	—	—	—	10.30%
	—	13.5	15.5	16.9							
③ 就労支援センター登録者の就労率	33.70%	—	—	—	—	41%	—	—	—	—	46%
	—	40.7%	43.6	45.6							
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 在宅福祉サービスの充実	1,298,101	6	3	3	0	障がい福祉課
2 障がい者（児）施設・住環境の整備	80,594	3	3	0	0	障がい福祉課
3 障がい児等の早期療育の充実	343,343	2	0	2	0	保育課、障がい福祉課
4 社会参加の促進	137	2	0	2	0	障がい福祉課
5 安全、安心のまちづくりの推進	18,635	2	0	2	0	障がい福祉課
6						
7						
8						
9						
計	1,740,810	15	6	9	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子育て福祉部
	節	7	障がい者の安心を支える社会づくり	評価者名	遠藤 忠義
評価主体が推進する施策の概要	①在宅福祉サービスの充実→障がい福祉サービスや在宅福祉サービスを充実するとともに、関係機関と連携して相談体制の整備を行う。 ②障がい者（児）施設・住環境の整備→障がいのある人の日中活動の場の確保と充実に努め、生活しやすい住環境づくりを促進する。 ③障がい児等の早期療育の充実→乳幼児健診等により、障がいの早期発見に努め、障がいの状況に応じた適切な指導、訓練の実施に努める。 ④社会参加の促進→障がい者の就労支援を行うとともに、障がいのある人が文化やスポーツ活動を通じて障がいのない人との交流を促進する。 ⑤安全、安心のまちづくりの推進→移手段の確保、建築物や道路、公共交通機関のバリアフリー化を進めるとともに、障がいのある人の権利保護に努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①基幹相談支援センターを中心に相談体制の強化を図った。②障がい者福祉施設や地域活動支援センターにおいて日中活動の場の提供を行った。③障がい児通所サービスを提供するとともに、発達支援の巡回事業を実施して、障がいの早期療育に努めた。④自立支援協議会の専門部会である「はたらく部会」において事業所の連携強化を図るとともに、就労支援の民間委託を検討した。また、スポーツ交流会を実施した。⑤障害者差別解消法、ヘルプカード・ヘルプマークの周知、普及に努めるとともに、手話言語条例を制定し、パンフレットの作成のほか、市職員及び市民向けの手話講習会を実施した。		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	身体障がい者が日常的に通所できる施設が市内にないことから、今後の特別支援学校卒業生のための通所施設の確保が必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	第6次障がい者行動計画・第5期障がい福祉計画に基づき、福祉施策を実施した。自立支援協議会の専門部会である相談支援部会・はたらく部会等を開催し、市内事業所の情報共有・連携強化に努めるとともに、就労継続支援A型事業所や相談支援事業所をそれぞれ1か所新たに整備するなど生活の場の提供の確保に努めた。しかし、身体障がい者の通所施設などの課題も残されており、こうした状況を勘案し、概ね順調とした。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	(説明) 第6次八潮市障がい者行動計画・第5期八潮市障がい福祉計画（計画期間：平成30年度～平成32年度）に基づき、各種障がい者支援施策を進める。特に課題となっている身体障がい者の通所先の確保や就労支援及び相談支援体制の強化に努める。																																
<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																	
<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1					2					3					4					5				
	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	章	節																															
1																																	
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	担当部	● 子育て福祉部		
	節	8	全ての子どもの幸せづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	市民が日頃から健康づくりやスポーツに取り組み、健やかに暮らしています。病気やけがの際に安心して治療を受けられ、介護が必要になっても適切に介護サービスを受けることができます。また、年齢や所得、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の支え合いの中でいきいきと暮らしています。ライフスタイルに応じて子どもを安心して産み育てられる仕組みや、地域で子どもを見守る環境が整い、若い世代が八潮市に魅力を感じて暮らせるまちとなっています。	基本目標	子育てを社会的に支援する体制づくりが進み、充実した保育サービスが受けられることで、安心して子育てができる環境になっています。児童手当やこども医療費の支給により、子育て世帯の生活が安定するとともに、子どもの保健の向上と福祉の増進が図られています。児童虐待防止対策により、保護者の育児不安が軽減され、子どもが安心して生活しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 保育所等施設の確保提供量 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における保育の量の見込みに基づく）	995人	—	—	—	—	1,183人	—	—	—	—	1,183人
② 地域子育て支援拠点の整備数 （「八潮市子ども・子育て支援事業計画」における地域子育て支援拠点の量の見込みに基づく）	6か所	—	—	—	—	7か所	—	—	—	—	7か所
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 子育て支援の推進	1,941,364	9	9	0	0	子育て支援課
2 保育施設の整備	1,721,394	6	2	4	0	子育て支援課、保育課
3 保育内容の充実	441,937	2	0	2	0	保育課
4 要保護児童対策の推進	7,621	2	2	0	0	子育て支援課
5 ひとり親家庭等の支援の推進	343,509	1	1	0	0	子育て支援課
6						
7						
8						
9						
計	4,455,825	20	14	6	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	2	健康福祉・子育て	評価主体（部名）	子育て福祉部
	節	8	全ての子ども幸せづくり	評価者名	
評価主体が推進する施策の概要	(1) 子育て支援の推進：地域子ども・子育て支援事業を充実する。こども医療費や児童手当、誕生祝金を支給する。 (2) 保育施設の整備：保育・学童保育の需要増に対応するため、認可保育所や学童保育所の整備を検討する。 (3) 保育内容の充実：障がい児保育、延長保育、学童保育所等の多種多様な保育内容を充実し、保護者の子育てにおける負担を軽減する。 (4) 要保護児童対策の推進：相談・支援体制を強化し、市民、関係機関、行政相互の協力体制を整備する。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進：ひとり親家庭等の自立に向け、総合的な支援を充実する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) (1) 子育て支援の推進では、母乳育児支援給付金支給事業を開始したほか、誕生祝い金や児童手当等の経済的支援を実施した。 (2) 保育施設の整備では、需要増加の対応のため、認可保育所3か所、小規模保育施設4か所、放課後児童クラブ1か所を整備した。 (3) 保育内容の充実では、障がい児保育等の実施をするとともに、民間放課後児童クラブの開所時間延長について検討した。 (4) 要保護児童対策の推進では、養育支援訪問事業を開始するとともに、要保護児童対策地域協議会を中心に、関係機関と連携し、児童虐待防止対策に取り組んだ。 (5) ひとり親家庭等の支援の推進では、児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等への医療費を支給した。		
	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
課題	(1) 子育て支援の推進では、直営の子育てひろばの民間委託による運営の充実や、子育て応援ナビによる子育て情報の提供の充実を図る必要がある。 (2) 保育施設の整備では、子育て世帯の流入や女性就業率の上昇、幼保無償化の影響などから保育所及び放課後児童クラブの需要の増加が見込まれるため、更なる整備を検討する必要がある。 (3) 保育内容の充実では、平成29年3月に改定された保育所保育指針に基づき、保育内容の充実を図るとともに、入所児童の安全・安心を確保するため、保育所の指導監査の強化及び民間放課後児童クラブの開所時間の延長について検討していく必要がある。 (4) 要保護児童対策の推進では、児童相談所の0B派遣制度を活用し、要支援家庭の支援の充実を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	(1) ほっとステーションに子育てひろば、利用者支援、ホームスタート、ファミサポの4事業を集約し、利用者が増加している。 (2) 要保護児童対策地域協議会における情報共有や適切な支援の実施により、深刻な児童虐待の事案が発生していない。 (3) こども医療費や児童手当等の支給を適切に行っている。 (4) 駅周辺の保育所及び放課後児童クラブのニーズの増加に対応した保育施設等の整備を行った。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																											
施策の展開方針	(説明) ・令和2年度から令和6年度の5年間で1期とする次期八潮市子ども・子育て支援事業計画について検討する。 ・子育てひろばの充実を図るため、直営2か所（やわた子育てひろば、だいら子育てひろば）の民間委託を検討する。 ・子育て世代の流入、女性就業率の上昇、今後予定されている幼保無償化などから保育需要が見込まれるため、保育所等の整備を検討する。また、幼稚園による預かり保育や企業主導型保育の活用等、新たな待機児童対策について検討する。さらに、増加傾向にある駅周辺の保育需要に対応するため、送迎保育サービスの充実を検討する。 ・児童虐待防止施策の充実を図るため、児童相談所0B派遣制度の活用を検討する。 ・保育内容の充実を図るため、直営の放課後児童クラブについて、民間事業者を活用した運営等を検討する。																											
■重点事業（部で5事業まで）																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1	施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	2					3					4					5				
1	施策コード		施策の内容	事務事業																								
	章	節																										
2																												
3																												
4																												
5																												

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 健康福祉部	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%							
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	34,404	4	2	2	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	77,955	5	3	2	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	112,359	10	5	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	避難行動要支援者対策の推進：八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら避難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難することができるような体制を整備する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>①情報共有の取組：要援護者リストの更新を行うとともに、関係機関に対し要援護者リスト及び個別計画書の情報提供を行った。</p> <p>②福祉避難所の取組：福祉避難所の規模や受け入れの対象者について、福祉事務所内において共通認識を図るための会議を開催した。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>① 情報共有の取組では、町会・自治会に対し要援護者名簿等を提供しているが、一部の町会・自治会からは「町会・自治会未加入者の取扱い」や「個人情報の管理方法」、「具体的な支援策」などに対する意見が出されている。今後も、避難行動要支援者対策の推進に向け、理解を得ながら取り組む必要がある。</p> <p>② 福祉避難所の取組では、要援護者の支援に携わる人材の確保を含め、具体的な運営方法等の詳細について検討する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	要援護者リストの掲載内容を更新した。また、要援護者リスト及び個別計画書について、各関係機関と情報共有を図った。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>八潮市災害時要援護者避難計画に基づき、災害時に自ら非難することができない要援護者が、迅速かつ安全に避難できるよう、引続き個別計画書の提出に係る啓発を行う。また、各関係機関への情報共有などを図りながら、更なる避難行動要支援者対策の推進に努める。</p>																																							
<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>避難行動要支援者対策の推進</td> <td>避難行動要支援者対策推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	01	03	避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者対策推進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	01	03	避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者対策推進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 生活安全部	健康福祉部
	節	1	災害に強いまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	災害発生時における被害を最小限に抑えるため、市民一人ひとりが自ら命を守る行動をとり、地域の人々が助け合い、市民の安全を確保する体制が整っています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 自主防災組織結成率	97.70%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	97.7%	100%	100%							
② 災害時応援協定締結数	33件	—	—	—	—	37件	—	—	—	—	40件
	—	36件	37件	41件							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地域防災計画の推進	34,404	4	2	2	0	社会福祉課、危機管理防災課
2 地域防災力の強化	77,955	5	3	2	0	危機管理防災課
3 避難行動要支援者対策の推進	0	1	0	1	0	社会福祉課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	112,359	10	5	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	1	災害に強いまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	<p>1. 地域防災計画の推進：平成29年度から3カ年をかけて地域防災計画、業務継続計画及びハザードマップを修正するとともに、災害時行動マニュアル等を作成します。また、あわせて計画的に物資の備蓄を進めます。</p> <p>2. 地域防災力の強化：防災訓練や研修会等を通じて防災意識の向上を図るとともに、自主防災組織の育成及び支援を行い地域防災力の強化に努めます。また、防災行政無線を計画的に更新（デジタル化）して情報伝達手段の充実を図ります。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・埼玉県LPガス協会南東武支部、富士測地(株)、山梨県笛吹市、茨城県水戸市と災害時の応援協定を締結しました。</p> <p>・アルファ米、飲料水等の他に、ガソリン缶や流動食などを備蓄しました。</p> <p>・総合防災訓練を中川小学校で実施し地元町会自治会、関係機関・団体合わせて621人が参加しました。</p> <p>・固定系防災行政無線拡声子局8基を更新（デジタル化）しました。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・地域防災計画等の修正とあわせて職員自らが判断し行動できるようにするため意識啓発が必要である。</p> <p>・災害対応時に不足するマンパワー確保の検討が必要である。</p> <p>・市民等に自助・共助の重要性を認識してもらい、行政に対し過度に依存しない自立した体制の構築が必要である。</p> <p>・地域防災力の向上を図るため、地区防災計画の策定を促進する必要がある。</p> <p>・様々な災害に対応するため、備蓄品目を精査するとともに、計画的な備蓄に努める必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<p>地域防災計画の修正業務や備蓄の充実が計画どおりに進んでいること。また、固定系防災行政無線拡声子局の整備が同じく計画どおりに進んでいること。さらに、災害時の応援協定が様々な分野と締結できたことなどから、概ね順調に成果があがっていると評価する。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>																																					
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>・計画の実効性を高めるため、職員の意識改革とスキルアップを図る。</p> <p>・市外に居住する職員が増えていることから、災害時に十分な職員数を確保することが難しい状況にあり、不足するマンパワーを補完するため業務継続計画の見直しを通して部局を横断した連携や関連システムの導入などを検討する。</p> <p>・備蓄計画の策定にあわせて備蓄品目や数量を精査し計画的に整備する。また、備蓄スペースの確保などについても検討する。</p>																																					
■重点事業（部で5事業まで）																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>地域防災計画の推進</td> <td>地域防災計画推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>地域防災力の強化</td> <td>自主防災組織育成事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>地域防災力の強化</td> <td>防災行政無線管理事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>地域防災力の強化</td> <td>応急物資確保事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>地域防災力の強化</td> <td>総合防災訓練実施事業</td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	03	01	01	地域防災計画の推進	地域防災計画推進事業	2	03	01	02	地域防災力の強化	自主防災組織育成事業	3	03	01	02	地域防災力の強化	防災行政無線管理事業	4	03	01	02	地域防災力の強化	応急物資確保事業	5	03	01	02	地域防災力の強化	総合防災訓練実施事業
章	施策コード		施策の内容	事務事業																																		
	節	施策																																				
1	03	01	01	地域防災計画の推進	地域防災計画推進事業																																	
2	03	01	02	地域防災力の強化	自主防災組織育成事業																																	
3	03	01	02	地域防災力の強化	防災行政無線管理事業																																	
4	03	01	02	地域防災力の強化	応急物資確保事業																																	
5	03	01	02	地域防災力の強化	総合防災訓練実施事業																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 健康福祉部	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。</p>
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
	-	0回	0回	0回							
②		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										
③		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										
④		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										
⑤		-	-	-	-		-	-	-	-	
	-										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	3,163	2	0	2	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	455	1	0	1	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	3,618	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	健康福祉部
	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	香山 庸子
評価主体が推進する施策の概要	【感染症対策の推進】 関係機関と連携を図り、新型インフルエンザ等の感染症が拡大する危機事象等に即応できる体制づくりを進める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	国・県連携による新型インフルエンザ等対策訓練（連絡訓練）に参加するとともに、職員による感染症防護服の着脱訓練や新型インフルエンザ等の発生に備え、職員が使用する感染症対策物品の備蓄を行った。また、健康スポーツまつりにおいて、市民向けに新型インフルエンザに関する情報提供を行った。		
課題	課題はほとんどない	● ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>新型インフルエンザ等の発生時における、迅速な対応ができる体制づくりを構築する上では、庁内関係課や関係機関との連携が必要である。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」が未完成ではあるが、新型インフルエンザ等に係る業務継続計画書の検討を進めたほか、国・県連携による訓練実施に伴い、県への受信報告訓練を毎年実施していることや、感染症対策物品の備蓄を行ったこと、市民への情報発信を実施したことから概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																					
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>「新型インフルエンザ等対策業務継続計画」及び「新型インフルエンザ等に係る住民接種の手引き」を順次作成する。また、政府行動計画及び県行動計画が見直された場合には、必要に応じて市行動計画の変更を行う。</p> <p>さらに、必要に応じて市民に対し、感染症に関する知識の普及啓発を行うとともに、計画的に物品等の備蓄を進める。</p>																																					
■重点事業（部で5事業まで）																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>感染症対策の推進</td> <td>新型インフルエンザ等対策推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1	03	02	02	感染症対策の推進	新型インフルエンザ等対策推進事業	2						3						4						5					
	施策コード		施策の内容	事務事業																																		
	章	節																																				
1	03	02	02	感染症対策の推進	新型インフルエンザ等対策推進事業																																	
2																																						
3																																						
4																																						
5																																						

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 生活安全部	健康福祉部
	節	2	危機に備えた体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	<p>自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。</p>	基本目標	<p>新型インフルエンザ等の感染症、放射性物質事故、テロ行為、武力攻撃事態等の危機事象に備える体制が整っています。</p>
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 危機管理体制の見直し回数（毎年）	0回	-	-	-	-	1回	-	-	-	-	1回
②	-	0回	0回	0回	-	-	-	-	-	-	-
③	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
⑤	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 危機管理体制の充実	3,163	2	0	2	0	危機管理防災課
2 感染症対策の推進	455	1	0	1	0	健康増進課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	3,618	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	2	危機に備えた体制づくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	危機管理体制の充実：様々な危機事象の発生に備え、国や県の取組を踏まえながら「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の見直しを図るとともに、消防、警察及び自衛隊との連携強化に努めます。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>平時から「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」に基づいて、迅速かつ的確に対応できるように努めました。 また、研修会、視察、訓練見学などに参加し、非常事態への対処に備えました。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」に対する職員の認知度、理解度の低下が懸念される。 また、国や県の取組を踏まえ「国民保護に関する八潮市計画」の見直しが必要となっている。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<p>県の研修会に参加するとともに、訓練を見学するなど平時から危機事象に備えて取り組んでいることから、概ね順調に成果があがっていると評価する。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>「八潮市危機管理指針」及び「国民保護に関する八潮市計画」の周知に努め共通認識を図る。 また、国民保護協議会を開催し「国民保護に関する八潮市計画」を見直すとともに、協議会の構成員に自衛隊関係者の追加を検討する。</p>																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>危機管理体制の充実</td> <td>危機管理体制推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	02	01	危機管理体制の充実	危機管理体制推進事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	02	01	危機管理体制の充実	危機管理体制推進事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 生活安全部		
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	市民との協働※により犯罪の起きにくいまちづくりが進み、市民は犯罪が少ない安全で快適なまちで暮らしています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 犯罪認知件数	1,271件	—	—	—	—	1,100件	—	—	—	—	1,000件
	—	926件	922件	949件							
② 防犯団体数	45団体	—	—	—	—	46団体	—	—	—	—	48団体
	—	45団体	44団体	44団体							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 防犯力の強化	3,134	1	0	1	0	交通防犯課
2 防犯施設の整備	29,816	1	1	0	0	交通防犯課
3 警察署・交番の誘致	9	1	0	0	1	交通防犯課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	32,959	3	1	1	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	3	犯罪のない安全で安心なまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 防犯力の強化：自主防犯組織に対し、防犯用品の貸与や青色回転パトロール車を使用した活動の支援を通して地域防犯力の強化に努めます。 2. 防犯施設の整備：町会自治会で設置・管理している防犯灯に補助金を交付し整備を促進します。また、防犯カメラを適正に維持管理し犯罪の抑止に努めます。 3. 警察署・交番の誘致：県知事及び県警察本部長に対し、警察署及び交番の設置並びに警察官の増員について要望します。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 市の青色回転パトロール車を自主防犯組織に貸し出しました。また、青色回転パトロール車を所有し活動している自主防犯組織に対し燃料費の補助金を交付しました。 町会自治会に補助金を交付し、防犯灯の整備を促進しました。（新設65基、更新212基） 県知事及び県警察本部長に対し、警察署の設置等について要望しました。 		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラについては、駅周辺及び学校周辺に整備したのち、現在、公園みどり課において公園等に整備しているところである。今後、近年報道されているような子どもが犯罪に巻き込まれるケース等を踏まえ、学校や町会等と協議しながら整備について検討する必要がある。 刑事訴訟法に基づく防犯カメラの画像提供依頼が増加し、通常業務に支障を来している。 県警察本部では、既存警察署の計画的な改築・改修を優先するとともに警察官の確保が課題であることから、現時点で警察署の新設は難しい状況とのことである。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	犯罪認知件数は微増となっているが、防犯灯や防犯カメラなどの防犯施設整備に取り組むとともに、自主防犯組織と連携を図って地域防犯力の強化に取り組んでいることを踏まえ、概ね順調に成果があがっていると評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																					
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 大瀬小学校で実施したように、PTA、学校、警察、市と一緒に通学路を歩いて点検し、その情報を共有するとともに連携協力して対策を講じるようにする。 画像提供に係る事務負担の軽減を図るため、防犯カメラの更新とあわせてネットワーク化を検討する。 警察署の設置とあわせて、交番に警察官が不在の状況が見受けられることから、その対策として警察官の増員を引き続き要望する。 																																					
■重点事業（部で5事業まで）																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>防犯力の強化</td> <td>防犯活動普及事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>防犯施設の整備</td> <td>防犯施設整備事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>警察署・交番の誘致</td> <td>警察署・交番設置促進事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1	施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1	03	03	01	防犯力の強化	防犯活動普及事業	2	03	03	02	防犯施設の整備	防犯施設整備事業	3	03	03	03	警察署・交番の誘致	警察署・交番設置促進事業	4						5					
1	施策コード		施策の内容	事務事業																																		
	章	節																																				
1	03	03	01	防犯力の強化	防犯活動普及事業																																	
2	03	03	02	防犯施設の整備	防犯施設整備事業																																	
3	03	03	03	警察署・交番の誘致	警察署・交番設置促進事業																																	
4																																						
5																																						

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	●生活安全部	消防本部
	節	4	市民を守るまちづくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	消防力が充実し、迅速かつ的確に消防・救急活動を行う体制が強化されており、市民の生命と財産が守られ、安全で安心して暮らせるまちとなっています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消防団員の定員充足率	97.50%	—	—	—	—	98%	—	—	—	—	98%
	—	99.2%	95.4%	94.6%							
② 上級、普通救命講習・救急入門コース受講者数	1,434人	—	—	—	—	1,650人	—	—	—	—	1,700人
	—	1,512人	1,401人	1,479人							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 消防体制の強化	922,527	1	0	1	0	危機管理防災課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	922,527	1	0	1	0	

総合計画の体系	章(施策の柱)	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体(部名)	生活安全部
	節	4	市民を守るまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	<p>・消防体制の強化：消防広域化のメリットを活かして消防力の充実・強化に努めます。また、消防団を中核とした地域消防力の向上に努めます。</p>				

3. 節の分析 (部が展開する節の分析)

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・市民の生命、身体及び財産を守る消防・救急活動の充実・強化を図るため、草加八潮消防組合に対し負担金を支出し支援しました。 ・職員の相互派遣により草加八潮消防組合との連携強化を図りました。 ・台風への対応や総合防災訓練の実施にあたっては、草加八潮消防組合と連携を図りました。 ・草加八潮消防組合において、平成30年度から2カ年をかけて「消防力の整備指針・消防施設整備計画」の策定に取り組みました。</p>		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<p>・草加八潮消防組合が現在策定中の計画に重点プロジェクトとして位置づけられる予定の「仮称八潮南分署整備」について、今後、計画の進捗状況を踏まえ市としての立場や役割を草加八潮消防組合と協議しながら検討を進める必要がある。</p>		

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>職員の相互派遣により、台風への対応や総合防災訓練の実施にあたり連携強化が図られていたことから、概ね順調に成果があがっていると評価する。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針 (部が展開する節の方針)

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>・引き続き、職員の相互派遣により連携強化に努める。 ・草加八潮消防組合が現在策定中の計画に基づき、市として協力できることを明確にするとともに、草加八潮消防組合と協議しながら具体的な支援について検討する。 ・草加八潮消防組合と連携協力しながら、消防団の育成・充実に努めて地域消防力の向上に努める。</p>

重点事業 (部で5事業まで)

	施策コード			施策の内容	事務事業
	章	節	施策		
1	03	04	01	消防体制の強化	広域消防推進事業
2					
3					
4					
5					

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 生活安全部		
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	交通ルールを遵守する意識とマナーが向上し、自動車、自転車、歩行者が互いに思いやりと譲り合いの気持ちで、安全で快適に道路を利用しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 交通事故件数	528件	—	—	—	—	510件以下	—	—	—	—	490件以下
	—	410件	367件	343件							
② 交通安全教室開催数と参加者数	43件 7,283人	—	—	—	—	46件 7,500人	—	—	—	—	48件 7,700人
	—	50件 9,476人	49件 8,141人	45件 7,882人							
③ 道路照明灯の設置	2,956基	—	—	—	—	3,070基	—	—	—	—	3,170基
	—	3,111基	3,131基	3,233基							
④ 道路反射鏡の設置	1,241基	—	—	—	—	1,310基	—	—	—	—	1,370基
	—	1,276基	1,314基	1,339基							
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 交通安全意識の高揚	16,982	2	0	2	0	交通防犯課
2 交通安全施設の整備	111,225	4	2	2	0	交通防犯課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	128,207	6	2	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	生活安全部
	節	5	交通事故のない安全で安心なまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	<p>1. 交通安全意識の高揚：交通安全思想の普及啓発に努めます。また、登下校時の児童及び生徒の安全を確保するため交通指導員を配置します。さらに、子どもや高齢者を対象に交通安全教室を実施します。</p> <p>2. 交通安全施設の整備：道路照明灯、道路反射鏡、路面標示等を整備します。また、放置自転車や放置自動車の誘導、移動、撤去等の対策を推進します。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・全小学校で子ども自転車運転免許制度を用いた交通安全教室を、また、潮止中及び八潮中でスクエアード・ストレイト教育技法を用いた交通安全教室を実施しました。 ・自転車ヘルメットの補助金を子ども50人、高齢者2人に交付しました。 ・新たに工事による道路照明灯22灯に加えリース方式で80灯、また、道路反射鏡26基を整備しました、さらに、中央三・四丁目地内でゾーン30を整備しました。 ・放置自転車禁止区域である八潮駅周辺で自転車630台、バイク14台を撤去しました。 		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・人口1万人当たりの自転車事故死傷者数が県内ワースト1位という状況を踏まえ、更なる対策・取組が必要である。 ・子どもが巻き込まれる悲惨な交通事故が全国各地で発生している状況を踏まえ、必要な交通指導員を確保し配置する必要がある。 ・街路築造に伴い交通安全施設に対する要望が多くなっており、優先順位を設けながら適切に整備する必要がある。 ・八潮駅南口商業施設等付近の放置自転車対策が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	交通安全教室の開催回数や参加者数は減少したが、内容の充実を図って取り組んでいる。また、道路照明灯の設置に当たりリース化するなど工夫して取り組んでいる。さらに、交通事故件数が減少している状況から、概ね順調に成果があがっていると評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、自転車事故対策で成果を上げている草加市や戸田市の取組などを参考に対策を検討する。 ・通学路安全点検事業を通じて警察、学校、道路管理者と連携し子どもの安全を確保する。 ・土地区画整理事業施行者と連携し、街路築造の進捗状況にあわせて計画的に交通安全施設を整備する。 ・八潮駅南口商業施設等の管理者に対し、自転車の適切な管理について指導する。 																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>交通安全意識の高揚</td> <td>交通安全指導・教育事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>03</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>交通安全意識の高揚</td> <td>交通安全運動推進事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>03</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>交通安全施設の整備</td> <td>交通環境整備事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>03</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>交通安全施設の整備</td> <td>放置自転車対策事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全指導・教育事業	2	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全運動推進事業	3	03	05	02	交通安全施設の整備	交通環境整備事業	4	03	05	02	交通安全施設の整備	放置自転車対策事業	5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全指導・教育事業																																			
2	03	05	01	交通安全意識の高揚	交通安全運動推進事業																																			
3	03	05	02	交通安全施設の整備	交通環境整備事業																																			
4	03	05	02	交通安全施設の整備	放置自転車対策事業																																			
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	担当部	● 市民活力推進部		
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	自助、共助、公助の考え方が広く市民に定着し、日頃から防災・減災に向けた市民、地域、行政の連携が図られ、地震や台風等の自然災害、感染症や大規模な事故等の危機に備えています。 また、市民、地域、行政が協働し、地域の安全な生活を守り、犯罪や交通事故の少ない、誰もが安心して暮らせるまちとなっています。	基本目標	様々な消費者が、消費生活について情報を取得し、学ぶことによって、自ら判断し適切に行動することができ、安全・安心で豊かな消費生活を送っています。 また、トラブルに陥った際には相談できる環境が整っています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 消費生活セミナー等講座数と参加者数	1回 64人	—	—	—	—	2回 70人	—	—	—	—	2回 76人
	—	1回 41人	1回 28人	1回 35人	—	—	—	—	—	—	—
② 消費生活相談件数	332件	—	—	—	—	363件	—	—	—	—	390件
	—	369件	377件	423件	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 自立した消費者の育成	185	1	0	1	0	商工観光課
2 消費者保護対策の推進	5,915	1	0	1	0	商工観光課
3 消費者団体の育成・協働	13	1	0	1	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,113	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	3	防災・防犯・消防・救急	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	6	安全・安心で豊かな消費生活づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	①自立した消費者の育成として、消費生活展や消費生活に関するセミナーを開催するなど、消費者が主体的かつ合理的に判断し、消費行動がとれるよう、消費者意識の高揚を促進する。また、関係機関が発行する情報紙等を活用した消費生活に関する情報の提供を行うとともに、消費生活に関するトラブルを未然に防止するため、消費者啓発パネル展を開催する。 ②消費者保護対策の推進として、消費生活に関する相談及び多重債務問題、苦情等に対応するため、消費生活センターの相談体制の充実を図る。 ③消費者団体の育成として、市内消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の 実施状況	(説明)		
	①消費生活展を開催するとともに、市内消費者団体と市の共催により、消費生活に関するセミナーを開催した。また、消費者啓発パネル展を市役所及び駅前出張所で各3回開催するとともに、高齢者へ出前講座等において啓発品を配布した。 ②消費生活に関する相談や多重債務問題、苦情等に対応するため、月曜日から金曜日まで、消費生活センターで消費生活相談を実施した。 ③市内の消費者団体が自主的に行う消費生活に関する活動に対し補助金を交付した。		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	①会場を楽習館からメセアネクスに変更して消費生活展を実施したが、来場者数が少なかったことから、集客につながるよう事業内容の再検討が必要である。 ②年々消費生活相談の内容が複雑・高度化しているため、関係機関が開催する研修会等に消費生活相談員が参加し、常に最新の情報を入手するなど、スキルアップを図り対応する必要がある。また、消費者向け啓発においても、最新の悪質商法の手口を情報提供するなど、臨機応変に対応し、消費者被害の予防につなげる必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	①消費生活相談を月曜日から金曜日まで開設し、多くの消費者トラブルの解決につながった。 ②消費生活展、消費生活セミナー及び消費者啓発パネル展を開催するとともに、高齢者に出前講座等において啓発品を配布するなど、消費者向けの啓発に努めた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) ①消費生活センター（平成21年9月設置）の機能として、月曜日から金曜日まで週5日の消費生活相談を継続して実施する。また、消費生活相談員による研修等への参加の機会を確保することに加え、消費生活相談員が隔月で弁護士から相談に対する専門的なアドバイスを受けられる場を設け、複雑・高度化する消費者被害の解決を図る。 ②消費生活展を開催する。 ③消費生活セミナーを開催する。 ④高齢者が陥りやすい消費者被害を未然に防止するため、出前講座等において啓発品を配布する。 ⑤消費者団体を育成し、その活動を支援する。																																							
重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>03</td> <td>06</td> <td>01</td> <td>自立した消費者の育成</td> <td>消費生活情報提供事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>03</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>消費者保護対策の推進</td> <td>消費生活相談事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>03</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>消費者団体の育成・協働</td> <td>消費者団体活動費補助事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	03	06	01	自立した消費者の育成	消費生活情報提供事業	2	03	06	02	消費者保護対策の推進	消費生活相談事業	3	03	06	03	消費者団体の育成・協働	消費者団体活動費補助事業	4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	03	06	01	自立した消費者の育成	消費生活情報提供事業																																			
2	03	06	02	消費者保護対策の推進	消費生活相談事業																																			
3	03	06	03	消費者団体の育成・協働	消費者団体活動費補助事業																																			
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人を訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	農家が付加価値の高い農産物を生産し、農商工連携に取り組むことで、新たな事業を生み出し、販路を拡大しています。また、市民が日頃から市内の農業に親しむとともに、地産地消の考え方が普及し、市内で生産された農産物の消費が拡大しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 認定農業者数	27人	—	—	—	—	28人	—	—	—	—	30人
	—	43人	43人	43人							
② 直売所利用者数	65,236人	—	—	—	—	72,000人	—	—	—	—	80,000人
	—	76,877人	71,114人	65,352人							
③ S-GAP登録農園数	0ヶ所	—	—	—	—	2ヶ所	—	—	—	—	3ヶ所
	—			0ヶ所							
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 農業の担い手の育成・確保	4,567	2	0	2	0	都市農業課
2 都市と共生した農業環境の促進	120	1	1	0	0	都市農業課
3 地産地消の推進と農産物のブランド化	3,488	2	0	2	0	都市農業課
4 農地の保全と有効活用の促進	24,210	2	1	1	0	都市農業課
5 農商工連携事業の振興	1	1	0	0	1	都市農業課
6						
7						
8						
9						
計	32,386	8	2	5	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	環境にやさしい魅力ある都市型農業づくり	評価者名	
評価主体が推進する施策の概要	<p>基本計画の方針を引き継ぎつつ、更に時代の要請に応えた施策を推進するため平成30年度に改訂した第二次八潮市都市農業振興基本計画に則り、農業近代化施設導入支援や担い手となる農業後継者、意欲ある認定農業者の育成に努めるとともに、JAさいかつと連携して中川周辺農地の農地利用集積円滑化事業を推進します。安全安心な農産物を供給するために農薬などの使用量の削減、有機肥料の使用を基本とした農産物の栽培を目指します。市民農園や農業体験等を活用し、市民と農業のふれあい事業を実施していくとともに、八潮産農産物の地産地消の拡大を図り「やしお八つの野菜」のブランド化を発信するとともに、6次産業化の整備による新たな業態の創出の研究をしていきます。また、都市農地の保全や葛西用水、八条用水への冬期通水をするなど環境整備を図ります。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>農業近代化施設導入事業、農業用包装資材購入事業等に対する補助、市内農業者団体への助成等支援を実施した。また、JAさいかつと連携して中川周辺農地を農地利用集積円滑化事業により農地の集積化事業を促進した。農業者による農業体験事業や農業者による収穫体験を実施し、都市農業への理解を深めることができた。農業祭及び農商工連携事業である「枝豆ヌーヴォー祭、枝豆大感謝祭、夜市（枝豆感謝祭）」を開催し、八潮の安全、安心、新鮮でおいしい農産物の販売とPRに努めた。また、葛西用水路、八条用水路へ渇水期に通水を行った。</p>		
課題	<input checked="" type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<p>全国的な傾向と同様であるが、都市農業が中心の本市においては特に、農業者の高齢化による遊休農地化や後継者不足が懸念されるため、担い手となる団体および人材の育成が必要である。また、直売所の充実を図るため、JAさいかつと連携して安全で新鮮な農産物の安定供給や、こまちゃん工房等による新たな加工品の開発など、販売品目を充実し、集客の増加と安定化が必要である。「やしお八つの野菜」を広くPRしていくため、イベント等での積極的な周知を行うとともに、都市型農業の推進を図るためガーデンコミュニティ制度等の普及や農業体験事業等の充実が求められる。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>基本計画の方針を引き継ぎつつ、更に時代の要請に応えた施策を推進するため平成30年度に改訂した第二次八潮市都市農業振興基本計画に基づき各事業は着実に実施されており、「やしお八つの野菜」をPRするために、農業祭や枝豆大感謝祭などのイベントを通じた活動が実施されている。また、農業者団体も積極的に活動をしており、農業者の育成等が図られている。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>基本計画の方針を引き継ぎつつ、更に時代の要請に応えた施策を推進するため平成30年度に改訂した第二次八潮市都市農業振興基本計画に基づき、関係農業団体と連携を図りながら農業振興と農業者に対する支援の充実を図る。八潮市直売所連絡協議会と連携を図り、各種イベントを通じた地産地消の推進を図るとともに「やしお八つの野菜」のブランド化を推進する。農業後継者の育成や農業経営に必要な園芸設備、梱包資材等の支援、ふれあい農園・ガーデンコミュニティ制度等の普及に努める。八潮市環境保全型農業推進協議会の事業を拡充し、都市型農業における環境保全や農産物の安全性に配慮した農業を推進し、環境にやさしい魅力ある都市型農業を目指していくとともに、6次産業化に向け新たな業態の創出を研究していく。JAさいかつと連携して中川周辺農地を含む市街化調整区域における農地利用集積円滑化事業を促進する。</p>																																							
<p>■重点事業（部で5事業まで）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>農業の担い手の育成・確保</td> <td>経営体支援事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>01</td> <td>農業の担い手の育成・確保</td> <td>農業の担い手育成事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>地産地消の推進と農産物のブランド化</td> <td>ふれあい農業促進事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>03</td> <td>地産地消の推進と農産物のブランド化</td> <td>地産地消推進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>04</td> <td>01</td> <td>02</td> <td>都市と共生した農業環境の促進</td> <td>環境保全型農業推進事業</td> </tr> </tbody> </table>			施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	経営体支援事業	2	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	農業の担い手育成事業	3	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	ふれあい農業促進事業	4	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	地産地消推進事業	5	04	01	02	都市と共生した農業環境の促進	環境保全型農業推進事業
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	経営体支援事業																																			
2	04	01	01	農業の担い手の育成・確保	農業の担い手育成事業																																			
3	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	ふれあい農業促進事業																																			
4	04	01	03	地産地消の推進と農産物のブランド化	地産地消推進事業																																			
5	04	01	02	都市と共生した農業環境の促進	環境保全型農業推進事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	2	魅力あふれる商業づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 (10年後の八潮市では)	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	市民は、地域に密着した魅力ある店舗が並ぶ商店街で、生活に必要な多くの商品を購入することができます。また、八潮駅周辺を中心とした商業拠点が形成され、たくさんの来訪者が市外からも買い物に訪れています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 八潮駅周辺地区における商店街組織数	0件	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	0件	0件	0件							
② 商店会加盟店数	89店	—	—	—	—	115店	—	—	—	—	130店
	—	78店	76店	73店							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 経営安定化の促進	19,608	3	0	3	0	商工観光課
2 商業環境の整備	542	1	0	1	0	商工観光課
3 中心商業拠点の形成	2,493	1	0	1	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	22,643	5	0	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	2	魅力あふれる商業づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	<p>①地域に密着したイベントや販売促進に結びつく各種事業を支援することにより、商店街の活性化等を促進する。 また、個店に対する経営指導の強化と魅力ある個店づくりを促進し、さらに、農商工連携事業に取り組む事業者を支援する。</p> <p>②インターネットを活用した商店会情報の提供や空き店舗等を活用した新たな取組を支援し、魅力ある商店街づくりを推進する。 また、本市での商業やサービス業の創業を支援する。</p> <p>③八潮駅周辺を中心とする地域において、魅力ある商業拠点の形成を推進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>①八潮市商工会さくらカード会に対して補助金を交付した。 ②小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、その支援を行う八潮市商工会に対して補助金を交付した。 ③商店会が行った、イベント、共同売出に対して補助金を交付した。 ④一店逸品運動参加店等3店舗に対し、アドバイザーを派遣した。また、3商店会に対して装飾型街路灯電気料の50%を補助した。 ⑤魅力ある八潮駅周辺商業拠点を形成するため、八潮駅周辺事業者等の意向等アンケート調査を実施し、意向等を確認した。</p>		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>①大規模小売店舗の進出や消費者の購買形態の変化等により市内の個店の経営に影響を及ぼしており、地域に密着した個店が減少している。また、八潮市商工会が実施している「さくらカード事業」や「まごころサービス便」が伸び悩んでいるため、利用者を増やす対策が必要である。 ②商店街活性化推進事業補助金の対象となる活動を行っているのは、2商店会のみであり、既存商店会の賑わいを創出し、商店会を活性化させていく必要がある。 ③魅力ある八潮駅周辺商業拠点を形成するため、組織化に向けた取組を推進する必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	八潮駅周辺を中心とする地域において、魅力ある商業拠点の形成を推進するため、八潮駅周辺事業者等の意向等アンケート調査を実施し、店舗等の意向等の把握を行うことができた。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																	
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <p>①地域に密着した魅力ある店舗を増加させるため、従来からの支援策である、八潮市商工会さくらカード会への補助等を継続しながら、先進自治体の情報を調査研究し、新たな支援策を展開する。 ②八潮市商工会に必要な補助金を交付し、市内小規模事業者の振興と経営の安定を図る。 ③商店会の活性化については、現状の共同売出しやイベントへの補助金を継続していきながら、地域に密着した魅力ある商店会として活性化していくよう、先進自治体の事例等の調査研究を行う。 ④「商業&観光元気UPサイト」において、一店逸品運動参加店等をPRする。 ⑤令和元年度に実施する「八潮駅周辺商業魅力UPセミナー」を通じて組織化等に向けた気運の醸成を図り、必要な支援を行う。</p>																																	
■重点事業（部で5事業まで）																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>01 経営安定化の促進</td> <td>商工団体補助事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>01 経営安定化の促進</td> <td>商店街活性化推進事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>01 経営安定化の促進</td> <td>商業振興事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>02 商業環境の整備</td> <td>商業支援事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>04</td> <td>02</td> <td>03 中心商業拠点の形成</td> <td>中心商業拠点の形成事業</td> </tr> </tbody> </table>	1	施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	04	02	01 経営安定化の促進	商工団体補助事業	2	04	02	01 経営安定化の促進	商店街活性化推進事業	3	04	02	01 経営安定化の促進	商業振興事業	4	04	02	02 商業環境の整備	商業支援事業	5	04	02	03 中心商業拠点の形成	中心商業拠点の形成事業
1	施策コード		施策の内容	事務事業																														
	章	節			施策																													
1	04	02	01 経営安定化の促進	商工団体補助事業																														
2	04	02	01 経営安定化の促進	商店街活性化推進事業																														
3	04	02	01 経営安定化の促進	商業振興事業																														
4	04	02	02 商業環境の整備	商業支援事業																														
5	04	02	03 中心商業拠点の形成	中心商業拠点の形成事業																														

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	3	活力ある工業づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	工業を取り巻く環境が充実するとともに、市内外に誇れる八潮ブランド品が創出され、その結果、市内事業所の受発注が拡大しています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 経営革新計画承認件数	47件	—	—	—	—	55件	—	—	—	—	65件
	—	59件	64件	74件							
② 融資あっせん件数	23件	—	—	—	—	62件	—	—	—	—	72件
	—	36件	20件	5件							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 経営近代化の促進	164,455	2	1	1	0	商工観光課
2 工業環境の整備	418	2	0	2	0	商工観光課
3 新時代に対応する工業の育成	15,607	2	1	1	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	180,480	6	2	4	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	3	活力ある工業づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	①経営近代化の促進として、中小企業の経営の近代化を促進するため、融資制度を充実させる。経営革新と組織の近代化を促進するため、経営指導を行う八潮市商工会等の各種事業と連携した取組を進める。 ②工業環境の整備として、住工混在地域について、生活環境への影響がないよう継続的な操業に向けた取組を推進する。出前講座の工場見学等を通じて、市民に市内工業の理解を促進する。 ③新時代に対応する工業の育成として、新製品の開発や新たな研究に対する支援を行い、新時代に対応する工業を育成する。八潮ブランド認定品を事業を行う事により、本市の知名度アップと地域の活性化を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①制度融資の実行（小口融資5件） ②新規創業資金融資利子補給金対象者に対し、利子補助を行った。 また、出前講座（民間企業編）の工場見学等を通じて、市民に対し市内企業のPRを図った。 ③住宅改修資金補助事業を実施した。 ④八潮市優良技術者及び技能者を2名表彰した。 また、市内で製造・生産された優れた製品3品を八潮ブランドとして認定した。		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	①現在は、市中金利が安いと制度融資の利用が少ないが、引き続き八潮市商工会等を通じてPRを行っていく。 ②平成28年に策定した創業支援事業計画に基づき、より一層新規創業者の支援を充実させていく必要がある。 ③市内産業の活性化につながる、住宅改修資金補助事業を継続するにあたり適切な財源の確保が必要となる。 ④八潮ブランド認定品を活用した、本市の知名度アップと地域の活性化に繋がる効果的なPR方法を検討する。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	①制度融資は、小口融資5件で34,500千円を実行した。 ②創業支援事業計画に基づく事業を八潮市商工会と連携して実施することが出来た。 ③市内で製造・生産された優れた製品3製品を「八潮ブランド」として認定した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) ①「八潮市製造業実態調査報告書」によると、八潮市の工業振興施策の中で、「制度融資の充実」の割合が高かったことから、引き続き制度融資の充実を図る。 ②経営革新計画を策定する意向のある事業者に対して、専門家の派遣を行い、承認件数の増加を目指す。 ③工場移転利子補給制度を実施することで、市内で継続して操業できる環境整備を目指す。 ④市内に立地を希望する事業者への立地可能な土地情報が、市単独では把握が困難であるため、引き続き埼玉県企業立地課との連携を図る。 ⑤ヒトである八潮市優良技術者及び技能者表彰と、モノである八潮ブランド認定品を両輪として、市内外に情報発信することで、八潮市の知名度アップと地域の活性化を図り、販路拡大と受注機会の促進を図る。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>新時代に対応する工業の育成</td> <td>工業振興事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>経営近代化の促進</td> <td>中小企業向け制度融資事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>工業環境の整備</td> <td>工業支援事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>03</td> <td>新時代に対応する工業の育成</td> <td>市内生産品等展示事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>04</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>経営近代化の促進</td> <td>経営革新取組企業支援事業</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	工業振興事業	2	04	03	01	経営近代化の促進	中小企業向け制度融資事業	3	04	03	02	工業環境の整備	工業支援事業	4	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	市内生産品等展示事業	5	04	03	01	経営近代化の促進	経営革新取組企業支援事業
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	工業振興事業																																			
2	04	03	01	経営近代化の促進	中小企業向け制度融資事業																																			
3	04	03	02	工業環境の整備	工業支援事業																																			
4	04	03	03	新時代に対応する工業の育成	市内生産品等展示事業																																			
5	04	03	01	経営近代化の促進	経営革新取組企業支援事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	4	水と花にふれあう観光づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人を訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	「中川やしおフラワーパーク」と「水辺の楽校」が充実し、安心して気軽に水に親しめる環境が整っています。また、市の花に追加指定された「花桃」を市内各所で観賞することができ、多くの人でにぎわっています。市民や関係団体等がともに協力して、様々な観光イベントを催し、多くの観光客が本市を訪れるようになり、市内での購買額が増加し、産業の振興に役立てられています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 入込観光客数	204千人	—	—	—	—	210千人	—	—	—	—	215千人
	—	235千人	80千人	200千人							
② ものづくりの見学人数	91人	—	—	—	—	250人	—	—	—	—	300人
	—	146人	237人	336人							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 観光の振興	15,454	1	1	0	0	商工観光課
2 産業観光の促進	0	1	0	1	0	商工観光課
3 観光情報の提供	195	1	1	0	0	商工観光課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	15,649	3	2	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	4	水と花にふれあう観光づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	①観光の振興として、（一社）八潮市観光協会やNPO等と連携し、水と花をテーマとした観光の充実を支援する。また、八潮夜市等により、駅前の賑わいを創出するとともに、新たな観光資源・観光イベントの創設に取り組む。 ②産業観光の促進として、工場見学等の様々な産業に関する観光資源を活かし、継続的に収益を生み出すことができる観光事業の実施を支援する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①（一社）八潮市観光協会が実施した各種活動の支援を行った。 ②商業&観光元気UP！サイトを活用し、イベント情報の発信を行った。 ③花桃を活用したまちづくりを進めるため、老木化した花桃の植え替え事業の支援や、首都圏桃源郷づくり構想に基づく各種事業を実施した。 ④水辺の楽校で、中川やしお子どもの水辺運営協議会の主催によるイベントの開催や維持管理、施設のPRを行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	①水辺の楽校下流側の中川河川敷における包括占用区域内において、中川やしおスポーツパークが完成したため、観光振興との関わりで連携する必要がある。 ②市の「ものづくり」や地域資源、「やしお駅前公園」などを、観光振興策として活用する必要がある。 ③（一社）八潮市観光協会の組織充実を支援する必要がある。 ④水辺の楽校の日常の管理を担う「中川やしお子どもの水辺運営協議会（事務局は商工観光課）」の安定的な運営を継続する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	①水辺の楽校を含めた中川河川敷の包括占用区域の活用により、観光資源の充実を図ることができた。 ②（一社）八潮市観光協会による観光イベントの開催を支援した。 ③各種観光関連機関に観光情報を提供するとともに、都市商工行政連絡協議会を構成する自治体（9市）と連携して、相互に観光事業でPR活動を行い、観光客の増加を促進した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進								
施策の展開方針	(説明)										
	①（一社）八潮市観光協会やNPO等と連携し、水と花をテーマとした観光の充実を支援する。 ②水辺の楽校の運営・管理を中川やしお子どもの水辺運営協議会とともにやり、本市の特徴である「水辺空間」の魅力を高め、観光客数の増加につなげる。 ③八潮夜市等により、駅前の賑わいを創出するとともに、新たな観光資源・観光イベントの創設に取り組む。 ④工場見学をはじめとする様々な産業にまつわる観光資源を活かし、継続的な収益を生み出すことが可能な観光事業の実施を支援する。 ⑤つくばエクスプレス沿線の自治体を含む関係機関と連携を図り、より効果的な観光情報の提供に努める。 ⑥観光情報をインターネット経由で発信するほか、様々な媒体を活用して、市内外に積極的に情報提供する。										
■重点事業（部で5事業まで）											
	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	
施策コード			施策の内容	事務事業							
章	節	施策									
1	04	04	01	観光の振興	観光資源開発事業						
2	04	04	02	産業観光の促進	ものづくり体験見学会実施事業						
3	04	04	03	観光情報の提供	観光情報充実事業						
4											
5											

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	担当部	● 市民活力推進部		
	節	5	いきいきと働ける就業環境づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	地域の特性を活かした様々な産業が発展しています。付加価値の高い農産物が生産され、市内のみならず市外からも人気を得ています。市民は、市内各地の魅力あふれる店舗で買い物をすることができます。また、工場が集積しているまちとして発展し、新たな事業も生まれ、働く機会が増えています。八潮市の財産である水辺環境等が観光に活用され、多くの人が訪れる、にぎわいや活力のあるまちとなっています。	基本目標	様々な労働者が、適切な労働環境のもといきいきと働き、生活を送っています。
-------------------------	--	------	--------------------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 中小企業退職金共済加入者数	112人	—	—	—	—	198人	—	—	—	—	212人
	—	128人	133人	146人							
② 若年者職業相談件数	28件	—	—	—	—	29件	—	—	—	—	33件
	—	11件	60件	85件							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 労働福祉の充実	14,528	3	0	3	0	商工観光課
2 就業環境の整備促進	9,852	1	0	1	0	商工観光課
3 労働教育の推進	276	1	0	1	0	商工観光課
4 雇用の安定	3,390	1	1	0	0	商工観光課
5						
6						
7						
8						
9						
計	28,046	6	1	5	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	4	産業経済・観光	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	5	いきいきと働ける就業環境づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	①労働問題に関する情報の提供や相談業務の案内等、労働環境の改善に向けた支援を行うとともに、勤労青少年ホームの効率的な運営と施策を充実し、勤労青少年の福祉の増進を促進する。また、中小規模の事業者が行う福利厚生事業を支援する。 ②就業環境の整備として、中小企業退職金共済補助事業及び勤労者住宅資金融資あっせん事業を実施する。 ③労働問題に関する正しい知識や教養を深めることを目的に労働セミナーを開催するとともに、多様な働き方の実現に向けた意識啓発を実施する。 ④雇用の安定を図るため、草加公共職業安定所等と連携して就労情報を提供するとともに、内職相談、若年者雇用定着支援補助事業を実施する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	①勤労青少年ホーム及び勤労者体育センターの良好な維持管理に努めたほか、若年者就労相談を実施し、85件の相談があった。 ②中小企業退職金共済掛金補助事業により、24事業所、146人に補助金を交付した。 ③労働セミナーを開催し、30人の参加があった。 ④市役所本庁舎や駅前出張所等で求人情報紙を配布した。 ⑤内職相談を実施し74人が就業した。 ⑥八潮市ふるさとハローワークにおいて、自己検索機利用件数が3,659件、新規求職件数が860件、就職件数が303件であった。		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	①勤労青少年ホーム及び勤労者体育センターは、築34年で老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要であるが、大規模な修繕が必要となる場合は、アセットマネジメントの取り組みの方向性等を踏まえ対応する必要がある。 ②労働セミナーは、より多くの参加者が集まるテーマを選定する必要がある。 ③若年者雇用定着支援補助金の活用に向け、ハローワーク草加と連携した継続的なPRを行う必要がある。 ④八潮市ふるさとハローワークの更なるPRを図り、利用者の増加を図る必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	①中小企業退職金共済掛金補助事業の補助件数が、平成29年度比で13人増加の146人となり、市内中小企業に働く従業員の福祉の増進と雇用の安定につながった。 ②八潮市ふるさとハローワークについては、平成29年度比では就職件数が11件減少の303件であったものの、多くの方に利用され、就業機会を確保することが出来た。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進 → ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他																																							
施策の展開方針	(説明) ①勤労青少年ホーム及び勤労者体育センターの修繕について、アセットマネジメントの取り組みの方向性等を踏まえ計画的に実施する。 ②勤労者住宅資金融資制度について、引き続きPRを行い、本制度の利用の促進を図る。 ③労働セミナーの開催にあたり、注目度が高い労働問題等をテーマに選定するとともに、さらなるPRを行い、参加者の増加を図る。また、働く意欲がありながら、働くことに関して悩みを抱えている若者及びその家族を対象に、若者サポートステーションと連携した事業の周知をする。 ④若年者雇用定着支援補助制度の利用を促進するため、引き続き草加公共職業安定所との連携を図る。 ⑤八潮市ふるさとハローワークのさらなる利用増加に向け、各種広報媒体を活用してPRを行う。 ⑥中小企業退職金共済掛金補助事業や内職相談等の労働関係事業を引き続き実施する。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>04</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>労働福祉の充実</td> <td>勤労青少年ホーム充実事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>04</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>労働福祉の充実</td> <td>勤労青少年福祉推進事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>04</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>就業環境の整備促進</td> <td>就業環境整備事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>04</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>労働教育の推進</td> <td>労働セミナー開催事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>04</td> <td>05</td> <td>04</td> <td>雇用の安定</td> <td>雇用安定事業</td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	04	05	01	労働福祉の充実	勤労青少年ホーム充実事業	2	04	05	01	労働福祉の充実	勤労青少年福祉推進事業	3	04	05	02	就業環境の整備促進	就業環境整備事業	4	04	05	03	労働教育の推進	労働セミナー開催事業	5	04	05	04	雇用の安定	雇用安定事業
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	04	05	01	労働福祉の充実	勤労青少年ホーム充実事業																																			
2	04	05	01	労働福祉の充実	勤労青少年福祉推進事業																																			
3	04	05	02	就業環境の整備促進	就業環境整備事業																																			
4	04	05	03	労働教育の推進	労働セミナー開催事業																																			
5	04	05	04	雇用の安定	雇用安定事業																																			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 都市デザイン部		
	節	1	自然と調和した都市空間づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	自然環境と調和した均衡ある土地利用が図られたまちづくりが進められています。また、地域の特性を活かしたまちづくりが進められています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 土地利用方針図に沿った土地利用が図られている面積		372.3ha	—	—	—	—	392.4ha	—	—	—	—	446.6ha
		—	372.3ha	372.3ha	372.3ha							
② 都市計画制度や「八潮市みんなでつくる美しいまちづくり条例」により地域特性を活かしたまちづくりが行われている面積		48.3ha	—	—	—	—	92.3ha	—	—	—	—	166.3ha
		—	92.3ha	93.3ha	93.3ha							
③			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
④			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										
⑤			—	—	—	—		—	—	—	—	
		—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 均衡ある土地利用の推進	5,137	1	0	1	0	都市計画課
2 地域の特性を活かしたまちづくりの推進	6,892	2	2	0	0	都市計画課、開発建築課
3 都市核と地域核の形成	8,204	2	0	1	1	都市計画課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	20,233	5	2	2	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	1	自然と調和した都市空間づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画制度等の運用により、自然環境と調和した均衡ある土地利用を推進します。 ・都市計画法に基づく開発許可等の事務を適正に執行します。 ・八潮市みんなで作る美しいまちづくり条例の運用により、地域特性を活かしたまちづくりを推進します。また、市民主体による活動へ支援いたします。 ・北部拠点まちづくり推進地区まちづくり計画に基づき、（仮称）外環八潮パーキングエリアの整備と併せ、流通業務機能や集客施設などを主体とした拠点の形成を図ります。また、西部拠点については、民間の活力により協働事業として拠点形成を図ります。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画審議会を3回開催し、2件の都市計画変更の手続き等を行った。 ・市街化調整区域まちづくり基本方針を策定した。 ・都市計画法に基づく開発行為許可申請等及びまちづくり条例に基づく開発事業申請等について適正に事務を執行し、良好なまちづくりに誘導することができた。 ・まちづくり条例に基づく「まちづくり白書」を作成した。 ・（仮称）外環八潮スマートICの形状等について、東日本高速道路㈱などの関係機関と調整を行った。 ・西部拠点の形成に向け、公共公益施設の再検討を行った。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・第5次総合計画等との整合や社会経済状況の変化等を見据えた都市計画マスタープランの見直し及び市街化調整区域まちづくり基本方針に基づく地域毎のまちづくりの検討が必要である。 ・まちづくり条例の手続や基準において運用上の課題がある。 ・自主まちづくり活動について、市民等の利用が少ない。 ・（仮称）外環八潮パーキングエリアについては、都市計画道路の変更手続が終了したが、（仮称）外環八潮スマートIC及び（仮称）入谷東西線の整備に向けた検討については、パーキングエリアの整備と連動することから、パーキングエリアの進捗状況を踏まえ、検討していく必要がある。 ・西部拠点の形成に向け、引き続き公共公益施設の再検討を行うとともに、拠点形成に向けた手法の検討が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・北部拠点については、埼玉県において（仮称）外環八潮パーキングエリアに関する都市計画道路の変更告示が行われ、また、西部拠点については、公共公益施設の再検討を行った。更に市街化調整区域まちづくり基本方針を策定した。 ・「まちづくり白書」の作成や市民・事業者との協働による良好なまちづくりの誘導等が進んでいる。 <p>以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域まちづくり基本方針の地区毎のまちづくりに取り組む。また、本市の現状や社会経済状況の変化等を見据えた都市計画マスタープランの見直しを検討する。 ・まちづくり白書の作成により、まちづくりに関する運用上の課題が抽出されたことから、条例に規定されている運用方法や基準等の検証を行い、条例の見直しについて検討を進める。 ・自主まちづくり活動について周知及びPRを図る。 ・（仮称）外環八潮パーキングエリアの早期整備に向け、PA地権者の会、東日本高速道路㈱及び市が連携を図り、取り組む。 ・（仮称）外環八潮スマートIC及び（仮称）入谷東西線の整備に向け、関係機関と協議、調整を進める。 ・西部拠点については、土地区画整理施行者及び民間事業者の動向を踏まえ、拠点形成に向けた手法について検討する。 																																
■重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>01 均衡ある土地利用の推進</td> <td>都市計画基本事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>02 地域の特性を活かしたまちづくりの推進</td> <td>協働による開発事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>03 都市核と地域核の形成</td> <td>北部拠点まちづくり事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>03 都市核と地域核の形成</td> <td>西部拠点形成事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	05	01	01 均衡ある土地利用の推進	都市計画基本事業	2	05	01	02 地域の特性を活かしたまちづくりの推進	協働による開発事業	3	05	01	03 都市核と地域核の形成	北部拠点まちづくり事業	4	05	01	03 都市核と地域核の形成	西部拠点形成事業	5				
章	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	節	施策																															
1	05	01	01 均衡ある土地利用の推進	都市計画基本事業																													
2	05	01	02 地域の特性を活かしたまちづくりの推進	協働による開発事業																													
3	05	01	03 都市核と地域核の形成	北部拠点まちづくり事業																													
4	05	01	03 都市核と地域核の形成	西部拠点形成事業																													
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 都市デザイン部		
	節	2	快適で住みやすい市街地づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市街地の整備が進み、快適で住みやすいまちになっています。また、八潮駅周辺を中心として、良好な都市空間が形成され、多くの市民が集い、にぎわいのある街並みとなっています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 大瀬古新田土地区画整理事業の進捗率 (街路築造率)	47.40%	—	—	—	—	75%	—	—	—	—	95%
	—	50.8%	54.1%	55.1%							
② 西袋上馬場土地区画整理事業の進捗率 (街路築造率)	12.90%	—	—	—	—	40%	—	—	—	—	75%
	—	15.3	17.0%	18.2%							
③ 八潮南部東一体型特定土地区画整理事業の 進捗率 (街路築造率)	62.50%	—	—	—	—	90%	—	—	—	—	100%
	—	64.2%	64.2%	64.6%							
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 土地区画整理事業の推進	3,917,347	13	2	2	9	都市計画課、区画整理課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	3,917,347	13	2	2	9	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	2	快適で住みやすい市街地づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・稲荷伊草第二地区については、令和2年度秋頃の換地処分を目指すとともに、鶴ヶ曾根・二丁目地区については、早期換地処分を目指し、事業を推進します。 ・大瀬古新田地区及び八潮南部東地区については、保留地処分金、国庫補助金及び他会計からの繰入金等による事業費を確保したうえで、事業を推進します。 ・西袋上馬場地区については、草加三郷線及び西新一号線の開通を目指し、事業を推進します。 ・八潮南部西地区については、施行者である埼玉県を支援するとともに、連携して事業を推進します。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・市が施行する各事業の進捗状況は、稲二地区の街路築造及び建物移転率が、99.5%、100%、鶴二地区が99.7%、99.7%、大古地区が55.1%、63.2%、西上地区が18.2%、22.5%、南部東地区が64.6%、67.1%となった。 ・県が施行する南部西地区の進捗状況は、80.9%、88.5%となった。 ・保留地の処分状況は、鶴二地区が1区画255㎡、31,365,000円、大古地区が3区画879㎡、34,986,860円、南部東地区が4区画、8,323㎡、1,007,409,000円となった。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区において、保留地の整備に多くの時間と費用を要するため、保留地の販売が困難な状況にある。 ・国庫補助金の予算額に対する内示率は約45%となっており、また、他会計からの繰入金の増額等が難しいことから事業の推進に支障をきたしている。 ・資金不足や区画整理経験者の不足といった理由から事業が長期化しており、地権者の不満が高まっている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 遅れ	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の進捗ペースでは各地区において成果指標で定めた街路築造率の目標達成は困難である。 以上のことから、総合評価を遅れと判断した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																					
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・稲二地区については、令和2年度秋頃の換地処分を目指す。 ・鶴二地区については、早期の換地処分を目指す。 ・大古地区、南部東地区については、財源確保に努め、計画的且つ効率的な事業展開の検討を行い、事業推進を図る。 ・西上地区については、計画的且つ効率的な事業展開の検討に併せ、事業費削減に向けた検討を行い、事業推進を図る。 																																					
■重点事業（部で5事業まで）																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">1</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>土地区画整理事業の推進</td> <td>稲荷伊草第二土地区画整理事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>土地区画整理事業の推進</td> <td>西袋上馬場土地区画整理事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>土地区画整理事業の推進</td> <td>大瀬古新田土地区画整理事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>土地区画整理事業の推進</td> <td>八潮南部東一体型特定土地区画整理事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>01</td> <td>土地区画整理事業の推進</td> <td>鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業</td> </tr> </tbody> </table>	1	施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1	05	02	01	土地区画整理事業の推進	稲荷伊草第二土地区画整理事業	2	05	02	01	土地区画整理事業の推進	西袋上馬場土地区画整理事業	3	05	02	01	土地区画整理事業の推進	大瀬古新田土地区画整理事業	4	05	02	01	土地区画整理事業の推進	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	5	05	02	01	土地区画整理事業の推進	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業
1	施策コード		施策の内容	事務事業																																		
	章	節																																				
1	05	02	01	土地区画整理事業の推進	稲荷伊草第二土地区画整理事業																																	
2	05	02	01	土地区画整理事業の推進	西袋上馬場土地区画整理事業																																	
3	05	02	01	土地区画整理事業の推進	大瀬古新田土地区画整理事業																																	
4	05	02	01	土地区画整理事業の推進	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業																																	
5	05	02	01	土地区画整理事業の推進	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO.1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	02	01	稲荷伊草第二土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	254,928	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	02	01	西袋上馬場土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	460,350	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	大瀬古新田土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	407,137	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	八潮南部東一体型特定土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	1,481,903	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理事業	■			都市デザイン部	区画整理課	72,222	○	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	稲荷伊草第二土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	222,574	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	02	01	八潮南部西一体型特定土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	81,420	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	02	01	西袋上馬場土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	325,095	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	大瀬古新田土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	269,305	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	八潮南部東一体型特定土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	124,955	●	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	鶴ヶ曾根・二丁目土地区画整理促進事業	■			都市デザイン部	区画整理課	98,000	○	☆	見直して継続	増加	増加
■	05	02	01	南部整備促進事業				都市デザイン部	区画整理課	119,457	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	02	01	東部拠点形成事業				都市デザイン部	都市計画課	0	○	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										3,917,347	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 企画財政部	生活安全部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり		建設部	都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	76.5%	76.5%	77.8%							
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	60,404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	91,405	2	0	2	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	253,227	5	3	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	25,758	1	1	0	0	交通防犯課
8						
9						
計	430,985	12	4	8	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	地下鉄8号線の導入促進 ・市内を南北に縦断する都市鉄道の導入をめざし、関係自治体と連携して積極的な活動を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会の一員として、国土交通大臣、埼玉県知事、千葉県知事及び茨城県知事に対し、八潮－野田市間の先行整備及び茨城県西南部への延伸についての要望を行った。 同盟会に研究部会が設置され、国から示された地下鉄8号線の事業化における課題の解決に向け、課題の整理や沿線開発の検討等を行った。		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	平成28年4月20日の交通政策審議会の答申において、押上－野田市間が「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクトとして位置付けられたが、現段階では整備着手の時期が未定である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	同盟会の構成市町と連携し、要望活動や事業化に向けた課題の整理、検討などに取り組んでおり、概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																
施策の展開方針	(説明) 今後も同盟会の構成市町と連携した上で、国土交通大臣、埼玉県知事、千葉県知事及び茨城県知事に対し、地下鉄8号線建設の早期実現に向け、積極的な働きかけを行う。																																
<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																	
重点事業（部で5事業まで）																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード		施策の内容	事務事業	章	節	1					2					3					4					5				
	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	章	節																															
1																																	
2																																	
3																																	
4																																	
5																																	

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●生活安全部	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり		建設部	都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	76.5%	76.5%	77.8%							
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	60,404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	91,405	2	0	2	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	253,227	5	3	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	25,758	1	1	0	0	交通防犯課
8						
9						
計	430,985	12	4	8	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	生活安全部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	<p>1. つくばエクスプレスの利便性の向上：沿線自治体と連携して、東京駅延伸、1編成8両化の実現に向け要望活動を行います。また、あわせて八潮駅への快速列車の停車と始発の増便を市単独で要望活動を行います。</p> <p>2. バス交通の充実：コミュニティバスを含むバス路線網の整備や利便性向上に努めます。また、高齢化の進展などを踏まえノンステップバスの導入を促進します。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏新都市鉄道(株)に対し、東京駅延伸、1編成8両化、快速列車の停車、始発の増便について要望しました。 ・TX沿線都市連絡協議会の構成員として、鉄道利用者の利便性向上に向け取り組みました。 ・東武バスセントラル(株)に対し、バス路線の新設や増便、コミュニティバスの利便性向上等を要望しました。 ・東武バス(株)が購入したノンステップバス9台に対し、補助金4,756,000円を交付しました。 ・コミュニティバスの利用促進を図るため、ラッピングと愛称を導入しました。 		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> ・TXの東京駅延伸が都心直結線の一体整備と臨海地域地下鉄構想の両方に位置付けられたことから、首都圏新都市鉄道(株)の需要予測調査が停滞している。 ・TX沿線の宅地開発に伴い鉄道利用者が増加し、混雑緩和策が急務となっている。 ・高齢化の進展に伴い公共交通機関に対する需要が高まっている。 ・バス路線における交通不便地域への対策が求められている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	<p>鉄道事業者やバス事業者に対し、利用者の利便性向上を目的に要望活動を実施するとともに、八潮駅の乗降者が順調に増加していることやコミュニティバスの利用者が前年度並みに推移していることなどから概ね順調に成果が上がっていると評価する。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<p>●現状のまま推進 ■見直して推進 ■大幅に見直して推進</p> <p>→ ■重点化(拡充) ■縮小 ■その他</p>																																							
施策の展開方針	<p>(説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏新都市鉄道(株)に対し、沿線自治体と連携して1編成8両化の早期実現に向けた具体的な対策を求める。 ・東京駅延伸については、東京都などの対応を見極めながら沿線自治体と連携を図る。 ・高齢化の進展にあわせて、引き続きノンステップバスの導入を促進する。 ・コミュニティバスの利用を促進するため、引き続き車両の更新にあわせてラッピングを導入する。 ・地域公共交通網形成計画策定の中で、高齢者や障がいのある方の移動手段の確保や交通不便地域の解消などを検討する。 																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>07</td> <td>バス交通の充実</td> <td>路線バス網整備促進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>05</td> <td>つくばエクスプレスの利便性の向上</td> <td>つくばエクスプレス利便性向上事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	03	07	バス交通の充実	路線バス網整備促進事業	2	05	03	05	つくばエクスプレスの利便性の向上	つくばエクスプレス利便性向上事業	3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	05	03	07	バス交通の充実	路線バス網整備促進事業																																			
2	05	03	05	つくばエクスプレスの利便性の向上	つくばエクスプレス利便性向上事業																																			
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●建設部	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり		生活安全部	都市デザイン部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	76.5%	76.5%	77.8%							
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	60,404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	91,405	2	0	2	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	253,227	5	3	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	25,758	1	1	0	0	交通防犯課
8						
9						
計	430,985	12	4	8	0	

総合計画の体系	章(施策の柱)	5	都市基盤・環境	評価主体(部名)	建設部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が推進する施策の概要	(1) 幹線道路の整備：主要幹線道路である国道や県道、橋りょう等の道路整備を促進するとともに、都市計画道路の整備を促進する。 (2) 生活道路の整備：生活道路の新設や改良等を行うとともに、歩行者や自転車等の通行に配慮した道路整備を推進する。 (3) 道路環境の整備：道路の清掃や放置自転車対策を実施し、安全な道路環境の保全に努める。 (4) 道路維持管理の充実：道路補修業務と道路パトロールの強化による危険個所の早期発見、早期対応に努め、事故を未然に防ぐ道路復旧体制を構築し、適正な維持管理を行う。				

3. 節の分析 (部が展開する節の分析)

施策の実施状況	(説明)		
	(1) 幹線道路の整備：木曽根北・南線の整備工事 104m 県施行の都市計画道路(草加三郷線、草加彦成線)における用地買収費、物件補償費、改修工事費等の建設負担金の支出 (2) 生活道路の整備：道路改良工事 330m、道路用地測量 132 m、歩道改修工事 418m (3) 道路環境の整備：道路清掃 648km、街路樹管理 48路線 (4) 道路維持管理の充実：道路維持工事 204m、応急工事 46件、市民要望職員対応 419件、橋りょう補修設計 1橋、橋りょう補修工事 2橋、道路台帳補正 1530m		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	(1) 幹線道路の整備：都市計画道路については執行体制や財源確保等の大きな課題から、八潮三郷東西線及び八潮越谷線等の事業化が図れていない。 (2) 生活道路の整備：道路改良工事等の財源確保が困難な状況で、市民要望や利便性向上を図る道路に対して十分に対応できない。 (3) 道路環境の整備：清掃業務、街路樹管理業務の回数不足により、適切な道路環境の保全ができていない。 (4) 道路維持管理の充実：舗装道路の老朽化に伴い、修繕箇所が増加及び管理瑕疵の発生が懸念される。		

4. 節の評価 (部が展開する節の総合評価)

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	都市計画道路については、課題も多く事業着手に至っていない道路もあるが、都市計画道路の整備率は向上している。また、他の事業については限られた予算において、概ね適切に執行できたものと判断し、概ね順調とした。

☆☆☆：順調 (最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)

☆：遅れ (このままでは、最終目標の達成が難しい)

☆☆：概ね順調 (最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)

5. 今後の方針 (部が展開する節の方針)

方向性																																	
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路の見直しを含めた都市計画道路全体の事業計画の検討を行い、整備を進めるための優先順位の高い道路から事業化に努める。 道路維持修繕計画及び橋りょう長寿命化計画等により、維持修繕の優先順位や工事内容等を考慮して、適切で計画的な道路、橋りょうの維持に努める。 道路パトロールなど、危険個所の早期発見、早期対応できるよう民間委託の導入を行う。 																																
■重点事業 (部で5事業まで)																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>01 幹線道路の整備</td> <td>都市計画道路整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04 道路維持管理の充実</td> <td>道路維持事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04 道路維持管理の充実</td> <td>橋りょう維持事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>02 生活道路の整備</td> <td>道路改良等事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>04 道路維持管理の充実</td> <td>道路管理事務</td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策の内容	事務事業	節	施策	1	05	03	01 幹線道路の整備	都市計画道路整備事業	2	05	03	04 道路維持管理の充実	道路維持事業	3	05	03	04 道路維持管理の充実	橋りょう維持事業	4	05	03	02 生活道路の整備	道路改良等事業	5	05	03	04 道路維持管理の充実	道路管理事務
章	施策コード		施策の内容	事務事業																													
	節	施策																															
1	05	03	01 幹線道路の整備	都市計画道路整備事業																													
2	05	03	04 道路維持管理の充実	道路維持事業																													
3	05	03	04 道路維持管理の充実	橋りょう維持事業																													
4	05	03	02 生活道路の整備	道路改良等事業																													
5	05	03	04 道路維持管理の充実	道路管理事務																													

※施策(節)を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	05	03	01	都市計画道路整備事業	■			建設部	道路治水課	60,404	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
	05	03	01	都市計画道路決定事業				都市デザイン部	都市計画課	0	●	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	05	03	02	道路用地取得事業				建設部	道路治水課	7,314	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	02	道路改良等事業	■			建設部	道路治水課	84,091	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	04	道路橋りょう管理事務				建設部	道路治水課	11,025	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	04	道路維持事業	■			建設部	道路治水課	176,860	●	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	03	04	橋りょう維持事業	■		■	建設部	道路治水課	37,453	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	05	03	04	道路管理事務				建設部	道路治水課	27,410	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	05	03	04	法定外公共物等管理事業				建設部	道路治水課	480	○	☆☆☆	他事業と統合して継続	現状維持	現状維持
	05	03	05	つくばエクスプレス利便性向上事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	98	●	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	06	地下鉄8号線導入促進事業				企画財政部	企画経営課	93	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	05	03	07	路線バス網整備促進事業	■		■	生活安全部	交通防犯課	25,758	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
										405,037	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 都市デザイン部	企画財政部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり		生活安全部	建設部

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市内の主要な幹線道路や生活道路等の整備や改良が進むとともに、公共交通が整備され、誰もが快適で便利に移動することができています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 都市計画道路の整備率	72.20%	—	—	—	—	78%	—	—	—	—	84%
	—	76.5%	76.5%	77.8%							
② 市道の改良整備率	73.30%	—	—	—	—	76%	—	—	—	—	79%
	—	74.4%	74.5%	74.7%							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 幹線道路の整備	60,404	2	0	2	0	道路治水課、都市計画課
2 生活道路の整備	91,405	2	0	2	0	道路治水課
3						
4 道路維持管理の充実	253,227	5	3	2	0	道路治水課
5 つくばエクスプレスの利便性の向上	98	1	0	1	0	交通防犯課
6 地下鉄8号線の導入の促進	93	1	0	1	0	企画経営課
7 バス交通の充実	25,758	1	1	0	0	交通防犯課
8						
9						
計	430,985	12	4	8	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	3	快適で便利な道路・交通網づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 交通実態の把握、分析、将来交通量の予測、交通施設の必要性及び規模に関し、総合的な検討を行います。 良好な都市環境を確保するため整備することが必要な道路については、周辺の市街地の状況等に応じて、都市計画決定及び変更を行います。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 八潮南部東一体型特定土地区画整理事業の施行地区を含む、都市計画道路八潮三郷東西線の交差点形状の見直しに向けて、前年度に引き続き、交通管理者である埼玉県警察本部との協議を行った。また、八潮三郷東西線の整備に向けて、課題等の検討を行った。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input checked="" type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路八潮三郷東西線の都市計画変更には、八潮南部東地区の事業計画の変更に合わせて行う必要があることから、施行者との協議・調整が必要である。また、関係機関との協議や住民説明などの一定の期間や手続きが必要となる。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画道路八潮三郷東西線の交差点形状の見直しに向けて、交通管理者である埼玉県警察本部との協議が、前年度に引き続き継続することとなったが、概ねの了解は得ることができた。また、八潮三郷東西線の整備に向けて、課題等の検討を行うことができた。 以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 八潮三郷東西線については、関係課及び土地区画整理事業の施行者と協議・調整を行いながら、都市計画変更に向け準備を進める。 事業未着手の都市計画道路の対応や人口減少時代など社会経済状況等を見据えた都市計画道路網構想の見直しについて検討する。 																																							
重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>03</td> <td>01</td> <td>幹線道路の整備</td> <td>都市計画道路決定事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	03	01	幹線道路の整備	都市計画道路決定事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	05	03	01	幹線道路の整備	都市計画道路決定事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 都市デザイン部		
	節	4	水と緑ゆたかな都市景観づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市民が、自然環境に親しみ、地域の特性が活かされた街並みの中で暮らしています。また、市民が自ら公園管理や緑化活動等に取り組んでおり、身近な公園や水辺でやすらぎと潤いを感じながら暮らしています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 景観計画届出における景観配慮の誘導件数	315件	—	—	—	—	600件	—	—	—	—	850件
	—	456件	500件	539件							
② 市民一人当たりの都市公園面積	1.94㎡/人	—	—	—	—	2.0㎡/人	—	—	—	—	2.6㎡/人
	—	2.19㎡/人	2.15㎡/人	2.11㎡/人							
③ 緑道・遊歩道（親水化）整備延長	6,700m	—	—	—	—	7,200m	—	—	—	—	7,800m
	—	6,700m	6,700m	6,982m							
④ 町会・自治会等公園管理委託	37箇所	—	—	—	—	38箇所	—	—	—	—	42箇所
	—	36箇所	41箇所	42箇所							
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 八潮らしい魅力ある景観形成	0	1	0	0	1	都市計画課
2 調和のとれた良好な街並み景観の保全	576	1	1	0	0	都市計画課
3 快適な公共空間のデザイン誘導	0	1	0	0	1	都市計画課
4 公園の整備	441,257	2	1	1	0	公園みどり課
5 緑道・遊歩道の整備	96,090	1	1	0	0	公園みどり課
6 緑地・水辺の保全、緑化の推進	28,548	1	0	1	0	公園みどり課
7						
8						
9						
計	566,471	7	3	2	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	4	水と緑ゆたかな都市景観づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 八潮らしい街並みの形成に向けた取組みのほか、良好な街並み景観の保全に向け管理不全状態の空家等の適正管理や屋外広告物の適正誘導を行うなどの景観施策を総合的に展開します 公園等整備については、スポーツレクリエーション機能や防災機能を有する公園のほか、市民に身近な公園を整備するとともに、既存公園については、計画的、効果的な改修を進めます。 緑道、遊歩道については、河川や用水路等の資源を活用し、景観に配慮しながら整備を進め、水と緑のネットワークの形成を推進します。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 八潮らしい街並み景観形成に向け補助制度のPRを行った。 空家等の対策を推進するため、管理不全状態の空家を特定空家等に認定し、指導等を行った他、関係7団体と意見交換会及びセミナーを開催した。また、中川周辺地区における農地景観の保全に向け、景観計画による誘導基準等の検討を行った。 公園等整備については、中川河川敷包括占用区域等整備工事を完了した。また、防災機能を有する地区公園の整備に向け、基本的な整備方針となる基本構想を策定した。 緑道、遊歩道については、葛西用水において地元町会等の意見を伺いながら、八幡橋から新境橋の区間の親水化整備実施設計を行い、また、馬場新橋から八幡橋の区間の親水化整備を行った。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> これまでの八潮らしい街並み景観形成支援補助制度の実績が6年で4件のため、更なる普及促進の検討が必要である。 増加する空家等の苦情に迅速に対応する必要がある。 市内の公園の多くは、設置後20年以上経過し、経年劣化による公園施設の計画的な改修及び効率的な維持管理が必要である。 土地区画整理事業地内の公園予定地の確保に伴い、整備を行うための財源確保が必要である。 防災機能を有する地区公園の整備に向けては、整備手法の検討や財源確保が必要である。 「緑の基本計画」における市民との協働による施策展開が必要である。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、八潮らしい街並み景観形成の実績はなかった。 空家対策については、管理不全状態にある空家等について、特定空家等に認定し指導を行い改善が図られている。 中川河川敷包括占用区域整備工事が完了し、また防災機能を有する公園整備基本構想を策定できた。 <p>以上のことから、総合評価を概ね順調と判断した。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	現状のまま推進	●見直して推進	大幅に見直して推進		
		重点化(拡充)	縮小	その他	
施策の展開方針	(説明)				
	<ul style="list-style-type: none"> 八潮らしい街並み形成に向け、現行制度の見直しとともに、新たに分譲住宅を対象とした制度を検討する。 空家バンクの早期整備に向け、関係団体と連携し検討を行っていく。また、中川周辺地区における農地景観の保全に向け、景観計画の変更手続きを行っていく。 経年劣化した公園施設等による利用者の事故が発生しないよう、危険性の高い施設から優先的に改修していくとともに、効率的な維持管理を行うため、長寿命化計画の策定や指定管理者制度の導入等について検討する。 防災機能を有する地区公園の整備に向け、整備手法や補助金の導入等について検討を行う。 緑道、遊歩道整備については、ワークショップにより地元町会等の意見を反映した計画による親水化整備を進めるとともに、完成後の施設について、地域住民との協働による維持管理体制を構築していく。 				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	05	04	04	公園の整備	公園等整備事業
2	05	04	04	公園の整備	公園等維持管理事業
3	05	04	05	緑道・遊歩道の整備	緑道・遊歩道整備事業
4	05	04	02	調和のとれた良好な街並み景観の保全	良好な都市景観形成事業
5	05	04	01	八潮らしい魅力ある景観形成	八潮街並みづくり推進事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 水道部		
	節	5	安全な水を供給する体制づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	誰もがいつでも安全・安心な水道水を利用しています。
-------------------------	---	------	---------------------------

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 基幹管路耐震化率	22.00%	—	—	—	—	30%	—	—	—	—	40%
	—	24.2%	24.3%	25.0%							
② 直結給水率	78.40%	—	—	—	—	81%	—	—	—	—	83%
	—	79.6%	78.8%	79.7%							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的な浄配水施設の整備	741,413	2	0	2	0	施設課
2 安定給水と浄配水施設の維持管理	243,601	2	0	2	0	施設課
3 効率的な水運用の推進	569,995	2	1	1	0	経営課、施設課
4 水質管理の充実	18,803	2	1	1	0	施設課
5 水源の確保	33,103	1	0	1	0	施設課
6 顧客サービスの向上	83,658	2	2	0	0	経営課
7						
8						
9						
計	1,690,573	11	4	7	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	水道部
	節	5	安全な水を供給する体制づくり	評価者名	大山 敏
評価主体が推進する施策の概要	①浄配水場施設更新整備事業：安全な水道水を供給するため、浄配水場老朽化施設の計画的な更新整備を行う。 ②浄配水場施設維持管理事業：安全な水道水を供給するため、浄配水場老朽化施設の計画的な修繕・整備を行う。 ③配水管等耐震化事業：安全な水道水を供給するため、配水管等の更新工事により耐震化を図る。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)
	<p>浄配水場施設更新関係では、中央浄水場配水施設更新（場内整地）工事（平成29,30年度継続工事）が完了し、続いて、場内配管その3工事において配水管等328mの整備を進めている。配水管等耐震化関係では、土地区画整理事業地内において、配水管新設工事を1,146.1m、石綿セメント管等の布設替工事を2,686.7m実施した。これにより石綿セメント管987m、老朽化したポリエチレン管等を1,699m廃止した。</p> <p>その内、基幹管路等耐震化（第1期）工事は、163.5mが完成し、現在基幹管路等耐震化（第2期）工事を進めている。</p>
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<p>水道施設の更新全般としては、社会情勢の変化による人件費や材料費の上昇などから、施設の整備・更新費用が増加傾向である。そのため、財源の確保、安定的な経営基盤の強化、材料の選定等が課題となっている。</p> <p>さらに、配水管等耐震化関係の内、特に配水管新設工事では、土地区画整理事業や関連事業と合わせて実施する箇所が多く、事業の進捗の影響を受けるため、計画的な整備が難しく、耐震化が予定通り進まない状況が課題となっている。そのため、土地区画整理施行者や関連事業者と綿密な事業調整を行うことが必要である。</p>

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	平成30年度に予定していた事業は、ほぼ予定通り実施しており、概ね順調に進んでいる。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																						
施策の展開方針	(説明) <p>本市の水道事業は、「八潮市水道ビジョン」（計画期間：平成22年度から平成31年度）から、平成29年度策定の「八潮市水道事業ビジョン」（計画期間：平成30年度から平成39年度）に代わり、事業を推進しているところである。</p> <p>この水道事業ビジョンに基づき、令和2年度以降も水道事業経営の維持、投資また財政の均衡を図るとともに、アセットマネジメント手法を導入し策定した八潮市水道事業基本計画（長期更新計画：平成30年度から平成44年度）を基本に引き続き水道施設の更新・耐震化を図っていく。</p> <p>また、平成30年12月に可決した水道法の一部を改正する法律に伴い令和2年度は、指定給水装置工事事業者制度の見直しによる更新制度（5年）の導入や水道施設を良好な状態に保つように維持及び修繕を実施していくなど適切な資産管理の推進に努めていく他、水道広域化についても推進役の県に協力しながら検討を進めていくことになる。</p>																																						
■重点事業（部で5事業まで）																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>節</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>計画的な浄配水施設の整備</td> <td>浄配水場施設更新整備事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>計画的な浄配水施設の整備</td> <td>配水管等耐震化事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>安定給水と浄配水施設の維持管理</td> <td>浄配水場施設維持管理事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>05</td> <td>02</td> <td>安定給水と浄配水施設の維持管理</td> <td>配水管等維持管理事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>05</td> <td>05</td> <td>05</td> <td>水源の確保</td> <td>自己水源井の更新及び維持管理事業</td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策	施策の内容	事務事業	節	節	1	05	05	01	計画的な浄配水施設の整備	浄配水場施設更新整備事業	2	05	05	01	計画的な浄配水施設の整備	配水管等耐震化事業	3	05	05	02	安定給水と浄配水施設の維持管理	浄配水場施設維持管理事業	4	05	05	02	安定給水と浄配水施設の維持管理	配水管等維持管理事業	5	05	05	05	水源の確保	自己水源井の更新及び維持管理事業
章	施策コード		施策	施策の内容				事務事業																															
	節	節																																					
1	05	05	01	計画的な浄配水施設の整備	浄配水場施設更新整備事業																																		
2	05	05	01	計画的な浄配水施設の整備	配水管等耐震化事業																																		
3	05	05	02	安定給水と浄配水施設の維持管理	浄配水場施設維持管理事業																																		
4	05	05	02	安定給水と浄配水施設の維持管理	配水管等維持管理事業																																		
5	05	05	05	水源の確保	自己水源井の更新及び維持管理事業																																		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 建設部		
	節	6	治水と水循環によるまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	河川改修や排水施設等の整備が進み、市民が水害に対する安全性が向上したまちで暮らしています。また、公共下水道整備区域の拡大により、生活排水等が適切に処理され、河川等の水質が守られるとともに、下水道事業の持続可能な経営が行われています。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 公共下水道普及率（人口）	74.70%	—	—	—	—	80%	—	—	—	—	87%
	—	77.2%	78.9	79.3							
② 公共下水道水洗化率（人口）	88.60%	—	—	—	—	94%	—	—	—	—	96%
	—	91.3%	91.6	91.6							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 治水対策の推進	397,824	5	0	5	0	道路治水課、下水道課
2 維持管理の充実	856,602	5	0	4	1	道路治水課、下水道課
3 水質汚濁の防止	2,260,552	5	2	3	0	下水道課
4 河川改修事業の促進	0	1	0	1	0	道路治水課
5						
6						
7						
8						
9						
計	3,514,978	16	2	13	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	建設部
	節	6	治水と水循環によるまちづくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が推進する施策の概要	<p>(1) 治水対策の推進：雨水幹線等の整備を推進するとともに、内水排除の機能向上に努める。また、雨水貯留施設等の整備を促進する。</p> <p>(2) 維持管理の充実：維持管理体制を充実し、計画的に点検・改修を行うとともに、耐震化を推進する。また、排水施設の更新・改修や排水路のしゅんせつ等、適正な維持管理を行う。</p> <p>(3) 水質汚濁の防止：中川等の水質汚濁を防止するため、公共下水道（汚水）の整備を積極的に行う。また、水洗化促進の取組を行い、水洗化率の向上を図るとともに、安定した下水道経営を推進する。</p> <p>(4) 河川改修事業の促進：中川等について、国や県による改修事業を促進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>(1) 治水対策の推進：雨水幹線整備46.0m、雨水管渠整備82.0m（区画整理分）、水路整備工事222m、水路応急工事59件、市民要望対応（職員対応 136件）</p> <p>(2) 維持管理の充実：下水道管渠の清掃・中継ポンプ場の維持管理、改修工事、南後谷ポンプ場改修工事、排水路のしゅんせつ、清掃の実施、市内排水機場等の修繕、更新工事</p> <p>(3) 水質汚濁の防止：下水道普及率79.3% 汚水管渠整備4.5Km</p> <p>(4) 河川改修事業の促進：国、県への要望、整備に関する協議</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>(1) 公共下水道（雨水）の整備には、多くの費用と時間を要するため、下水道の整備が進むまでは、水路現況調査を実施し、効果的な水路の改修を計画的に進める必要がある。また、排水機場等の老朽化が著しいが、更新等の財源確保に課題がある。</p> <p>(2) 下水道施設について、アセットマネジメントによる計画的な更新、耐震化を図るためには、多額の財源確保が必要である。</p> <p>(3) 公共下水道（汚水）の早期未普及解消に努めるとともに、水洗化率の向上を図る必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	各事業ともおおむね順調と評価できるものの、今後の事業実施にあたっては、多額の事業費を要するなどの課題がある。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進				
	<p>→ <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他</p>				
施策の展開方針	(説明)				
	<ul style="list-style-type: none"> ・中川河川改修事業に基づく新たな下水道計画により、内水排除機能の向上を図るため、ポンプ場や幹線等の整備を推進する。しかしながら、整備には、多くの費用と時間を要することから併行して、水路現況調査の結果をもとに最も効果的な方策により、水路改修等の対策を計画的に実施する。 ・下水道施設の改修については、事業を平準化するとともに、国庫補助金の導入を図り、計画的に耐震化と長寿命化を行う。 ・公共下水道経営の健全化に向け、投資効果の高い地区の整備に重点投資を行い、早期の未普及解消に努めるとともに、PR活動や外部機関委託により水洗化を促進し、水質汚濁防止を図る。 ・排水機場等の修繕計画を策定し、長寿命化を含めた計画的な修繕等を行う。 				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	05	06	01	治水対策の推進	水路整備事業
2	05	06	01	治水対策の推進	排水機場施設整備事業
3	05	06	01	治水対策の推進	雨水整備事業
4	05	06	03	水質汚濁の防止	汚水整備事業
5	05	06	02	維持管理の充実	維持管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●建設部	都市デザイン部
	節	7	安全で良質な住環境づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	様々な世代、生活様式に対応した住宅が安定して供給され、市民が良質な住まいで安心して暮らしています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標		現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づく改修率（共同施設、住戸）		0%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
		—	20%	20%	40%							
② 住宅の耐震化率		78.80%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—
		—	82	83	84							
③		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—										
④		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—										
⑤		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 市営住宅の充実	107,898	3	0	3	0	市営住宅課
2 良質な住宅確保の促進	13,429	4	1	1	2	市営住宅課、都市計画課、開発建築課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	121,327	7	1	4	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	建設部
	節	7	安全で良質な住環境づくり	評価者名	荒川 俊
評価主体が推進する施策の概要	<p>(1) 市営住宅の充実：居住環境を維持するため、適宜修繕等を行い、更新期を迎えている低層市営住宅は、民間住宅の活用も視野に入れた施策を実施する。また、中層市営住宅については、「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づき、計画的に改修工事を実施する。</p> <p>(2) 良質な住宅の供給促進：高齢者や障がいのある人への配慮、福祉の施策と連携を図りながら総合的な住宅施策を実施する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>(1) 市営住宅の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の居住環境を維持するため、修繕等を実施した。 更新期を迎えている低層市営住宅のうち、老朽化が著しい大曽根住宅について、土地区画整理事業の移転に伴い既存入居者の住み替え先として、八潮団地6戸の借上げを実施した。 <p>(2) 良質な住宅の供給促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の居住の安定を確保するため、高齢者向け優良賃貸住宅へ家賃減額補助を行なった。 		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>(1) 市営住宅の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 低層市営住宅の整備については、市営住宅整備計画に基づき、民間賃貸住宅の借上げを計画的に実施するため、公募方法、地域住宅要件、選定基準等、十分に検討する必要がある。 市営住宅の改修工事等の財源として、国庫補助金を活用しているが、要望額に対する配分率が低いため、市の財政負担が増となっている。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業の移転に伴い、大曽根住宅について、八潮団地6戸の借上げを実施した。 高齢者向け住宅については、民間が整備する高齢者向け優良賃貸住宅に対する支援を行い、居住の安定が図られた。 長寿命化を図るべき中層市営住宅である大原団地1号棟の改修工事を実施した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進		
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他		
施策の展開方針	(説明)		
<ul style="list-style-type: none"> 長寿命化を図るべき中層市営住宅については、市営住宅長寿命化計画に基づき、財政負担を考慮し、計画的に改修を進める。 更新期を迎えている低層市営住宅については、市営住宅整備計画に基づき、民間賃貸住宅の借上げ等による整備を進める。 			
■重点事業（部で5事業まで）			
	施策コード		事務事業
	章	節	施策
1	05	07	01 市営住宅の充実
2	05	07	01 市営住宅の充実
3	05	07	01 市営住宅の充実
4	05	07	02 良質な住宅確保の促進
5			

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	● 都市デザイン部	建設部
	節	7	安全で良質な住環境づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	様々な世代、生活様式に対応した住宅が安定して供給され、市民が良質な住まいで安心して暮らしています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 「八潮市市営住宅長寿命化計画」に基づく改修率（共同施設、住戸）	0%	—	—	—	—	100%	—	—	—	—	100%
	—	0%	0.2								
② 住宅の耐震化率	78.80%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	—
	—	82	83	84							
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 市営住宅の充実	107,898	3	0	3	0	市営住宅課
2 良質な住宅確保の促進	13,429	4	1	1	2	市営住宅課、都市計画課、開発建築課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	121,327	7	1	4	2	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	都市デザイン部
	節	7	安全で良質な住環境づくり	評価者名	中村 史朗
評価主体が推進する施策の概要	<ul style="list-style-type: none"> 住宅施策の体系的整理を行い、住生活基本計画策定に向けた調査、研究を行います。 民間住宅の耐震性を確保するよう耐震相談や、簡易耐震診断を行うとともに、耐震化に関する助成制度を実施します。 住宅の安全性を確保するため、建築確認検査制度を適正に運用します。 通学路等の安全性を確保するため、ブロック塀等の安全対策を推進します。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県マンション管理士会主催の無料相談会を埼玉県東部6市で順次実施した。（八潮市は、8月と2月に実施） 民間住宅の耐震性を確保するよう昭和56年6月以前に旧耐震基準で建築された木造住宅の耐震診断・耐震改修補助金交付制度についてPRを実施し、耐震診断1件、耐震改修1件に補助金を交付した。 建築基準法等、関係法令に基づき適性に事務を執行した。 通学路沿いのブロック塀等の実態調査を実施するとともに、所有者に対し安全点検を啓発した。 危険ブロック塀等に関する補助金交付制度を創設した。 		
課題	課題はほとんどない	ある程度課題がある	● 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 住生活基本計画の策定には、高齢者の居住に関することや子育てに適した住宅に関する事及び公営住宅に関する事など、庁内における横断的な体制等の検討が必要である。 地震による建築物及びブロック塀等の倒壊の危険性について、所有者の意識を高めていく必要がある。 関係法令の適正な執行や違反建築物に対応するためには、有資格者の育成・確保や十分な経験を積む必要がある。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆ 遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 住生活基本計画の策定に向けた準備が進んでいない。 通学路沿いのブロック塀を調査し、所有者に対し安全対策を啓発するとともに、危険ブロック塀等撤去改修補助制度を創設した。 耐震診断、耐震改修補助金制度について、啓発活動を行った結果、利用は診断と改修の各1件であった。 <p>以上のことから、総合評価を遅れと判断した。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進				
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他				
施策の展開方針	(説明)				
	<ul style="list-style-type: none"> 住生活基本計画を策定するため、庁内の横断的な体制等について検討する。 木造住宅やブロック塀の安全性を確保するため、補助金交付制度を含めた耐震化対策について啓発活動を推進するとともに、更なる補助金交付制度の拡充等について検討を行う。 建築物の安全性を確保するため「第2次埼玉県建築行政マネジメント計画」に基づき、完了検査率100%に向けた啓発活動の推進や違反建築物の防止に取り組むとともに、執行体制を強化するため、有資格者の育成、確保について早期に対応する。 				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	05	07	02	良質な住宅確保の促進	民間住宅等耐震化促進事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●生活安全部		
	節	8	環境にやさしいまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	市民は、水と豊かな緑に囲まれた地域の自然や生活環境を守り、自然とふれあいながら生活しています。また、市民と行政が一体となって、地球温暖化の防止のための省エネルギーやエコ活動等の環境活動に取り組んでいます。
-------------------------	---	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 市の事務・事業に伴い排出する温室効果ガス排出量 （埼玉県の中期目標「平成32年までに平成17年比25%削減」に準じる。）	4,637t-CO2	—	—	—	—	4,308 t-CO2	—	—	—	—	—
	—	5,824 t-co2	6,617 t-co2	6,569 t-co2							
② 市内の河川の水質基準達成率	50%	—	—	—	—	60%	—	—	—	—	65%
	—	70%	60%	50%							
③ 市内における太陽光発電設備の発電容量の累計	8,878 kW	—	—	—	—	9,640 kW	—	—	—	—	—
	—	12,191 kW	12,932 kW	14,021 kW							
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 地球環境問題への対応	1,500	1	0	1	0	環境リサイクル課
2 環境保全対策への推進	311	1	0	1	0	環境リサイクル課
3 環境汚染防止への取組	4,925	2	1	1	0	環境リサイクル課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,736	4	1	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	生活安全部
	節	8	環境にやさしいまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. 地球環境問題への対応：「八潮市環境基本計画」及び「八潮市地球温暖化対策実行計画」に基づく施策の推進や市独自の環境マネジメントシステムの構築を図って環境負荷の低減に努めます。 2. 環境保全対策の推進：市民、NPO等と協働して生活排水対策や希少野生動植物の保護に努めます。 3. 環境汚染防止への取組：環境汚染物質や放射線量の測定を実施し良好な生活環境の維持に努めます。また、工場や事業所等の調査を実施し騒音、振動及び悪臭等の実態を把握し適切な指導に努めます。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> 八潮市地球温暖化対策実行計画に基づき、省エネルギーの推進やエコオフィスに取り組み二酸化炭素の排出削減に努めました。 住宅用太陽光発電システム設置費補助金を50件交付しました。 環境基本条例に基づき、環境報告書を作成し公表するとともに、各種イベントにおいて環境保全等の啓発に努めました。 大気汚染31件、水質汚濁7件、騒音62件、振動15件、悪臭23件、その他29件の苦情に対応しました。 農産物並びに学校、保育所及び幼稚園等の給食食材の放射能濃度を測定し安全を確認しました。 		
課題	課題はほとんどない	●ある程度課題がある	大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 低炭素化や省エネルギーなど持続可能な循環型社会への関心は高まりつつあるが、今後市民等の具体的な行動に結びつける必要がある。 生活環境に著しく影響を与えるような公害は減少しているが、地域コミュニティに起因する感情的な苦情への対応が求められている。 放射能への関心は低くなりつつあるが、引き続き、放射能濃度の測定を実施し市民生活の安全を確保するとともに、事業に要した経費の補償を東京電力に請求していく必要がある。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆概ね順調	「八潮市環境基本計画」及び「八潮市地球温暖化対策実行計画」に基づき、エコオフィスや住宅用太陽光発電システム設置補助金を交付するなど二酸化炭素の排出削減に取り組んだこと。また、公害苦情に適切に対応するとともに、放射能濃度を測定し市民生活の安全に努めていたことから、概ね順調に成果があがっていると評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> 持続可能な循環型社会の実現に向け、関係機関・団体等と連携を図るとともに、市民等の取組を促進するための事業を展開する。 ライフスタイルの変化や人間関係の希薄化等の時代背景を踏まえ、公害苦情に対する親切丁寧な対応を心掛ける。 住宅用太陽光発電システム設置補助金について、HEMS、エネファーム及び蓄電池等の制度拡充を検討する。 仮置きしている除染した土壌の処分について、国、県及び東京電力に対する要望を検討する。 																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>08</td> <td>01</td> <td>地球環境問題への対応</td> <td>循環型社会推進事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>08</td> <td>03</td> <td>環境汚染防止への取組</td> <td>公害対策事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>08</td> <td>03</td> <td>環境汚染防止への取組</td> <td>放射能対策事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>08</td> <td>02</td> <td>環境保全対策への推進</td> <td>環境保全対策推進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	05	08	01	地球環境問題への対応	循環型社会推進事業	2	05	08	03	環境汚染防止への取組	公害対策事業	3	05	08	03	環境汚染防止への取組	放射能対策事業	4	05	08	02	環境保全対策への推進	環境保全対策推進事業	5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	05	08	01	地球環境問題への対応	循環型社会推進事業																																			
2	05	08	03	環境汚染防止への取組	公害対策事業																																			
3	05	08	03	環境汚染防止への取組	放射能対策事業																																			
4	05	08	02	環境保全対策への推進	環境保全対策推進事業																																			
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	担当部	●生活安全部		
	節	9	清潔できれいなまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	道路、公園、上下水道等の都市基盤及び公共交通の整備や、自然と調和した良好な環境と景観に配慮した街並みの形成が進み、やすらぎと潤いを感じながら、市民が安全・快適に暮らしています。また、市民が、主体的に美化活動や環境活動等に取り組み、地域の生活環境を守るまちとなっています。	基本目標	循環型社会の構築に向けて、市民、事業者、行政が一体となり様々な施策に取り組み、ごみの資源化及び減量化が進んでいます。また、排出されたごみが適正に処理されています。さらに、市民が主体となって「自分たちのまちは自分たちできれいに」を基本に美化活動が実施され、きれいな環境が整っています。
-------------------------	---	------	---

2. 実施結果

成果指標	実績	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	
① 一人一日当たりのごみ搬出量（家庭系可燃ごみ）	570グラム	—	—	—	—	545グラム	—	—	—	—	—	520グラム
	—	565グラム	549グラム	546グラム								
② 資源化率（可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ（事業系含む）のうち、資源となるものの割合）	12.00%	—	—	—	—	15%	—	—	—	—	—	20%
	—	11.7%	15.3%	15.4%								
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 ごみの広域処理の充実	448,757	1	1	0	0	環境リサイクル課
2 ごみの独自処理の充実	168,153	3	0	1	2	環境リサイクル課 リサイクルプラザ
3 ごみの減量化・資源化の推進	355,647	4	2	2	0	環境リサイクル課、環境リサイクル課 リサイクルプラザ
4 環境衛生事業の充実	13,213	5	2	2	1	環境リサイクル課
5 環境美化活動の推進	3,197	2	2	0	0	環境リサイクル課
6						
7						
8						
9						
計	988,967	15	7	5	3	

総合計画の体系	章（施策の柱）	5	都市基盤・環境	評価主体（部名）	生活安全部
	節	9	清潔できれいなまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	1. ごみの広域処理の充実：東埼玉資源環境組合及び構成市町と連携し、ごみ・し尿処理施設の適切な管理運営及びごみの減量化に努めます。 2. ごみの独自処理の充実：ごみの資源化を推進するため、リサイクルプラザの適切な維持管理に努め長寿命化を図ります。 3. ごみの減量化・資源化の推進：分別排出の徹底を図るため、周知方法や分別の仕方を工夫するとともに収集体制の充実に努めます。また、資源回収を行った団体に対し、奨励金を交付し活動を支援します。 4. 環境衛生事業の充実：害虫の駆除や雑草の除去、狂犬病予防注射や登録などの動物愛護、浄化槽の適正管理など多岐にわたる環境衛生事業を推進します。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)
	<ul style="list-style-type: none"> 東埼玉資源環境組合に分担金を支出するとともに、構成市町と連携しごみの減量化に取り組みました。 リサイクルプラザの適切な維持管理に努め、ごみの資源化に取り組みました。（プラザ内の資源化率76.48%） 資源回収を実施した80団体に対し、奨励金7,101,700円を交付しました。 狂犬病予防法に基づき、2,914頭に注射しました。 飼い主不明の犬や猫その他動物合わせて430頭を収容し、火葬から納骨までの供養を行いました。
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	<ul style="list-style-type: none"> 1人1日当たりの家庭系可燃ごみの排出量他市に比べ多いため、更なるごみの減量化に取り組む必要がある。 リサイクルプラザの長寿命化を図りつつ、建て替えの検討が必要である。 ごみの分別を徹底し、資源化率の向上を図る必要がある。 リサイクルフェアやゴミゼロ運動がマンネリ化しているため、事業展開の工夫が求められる。 県から移譲を受けた浄化槽事務について、引き継いだ台帳の内容に一部不十分な点が見受けられる。

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	東埼玉資源環境組合及び構成市町と連携してごみの減量化や資源化に取り組んだことが成果指標にも表れており、このことから概ね順調に成果があがっていると評価する。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																						
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																						
施策の展開方針	(説明)																																						
	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化を図るため、食品ロスや厨芥類の水切りの徹底を推進する。 ごみの資源化率を向上させるため、アプリの導入など分別の徹底を図る。 リサイクルプラザを建て替える際には、周辺環境整備事業と密接に関係しているため地元町会等と慎重に議論を進める。 リサイクルフェアなどを実施する際には、前例にとらわれず先進的な自治体の取組などを参考に検討する。 浄化槽事務については、下水道の整備状況等を踏まえ台帳の内容を精査し整備に努める。 																																						
■重点事業（部で5事業まで）																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">章</th> <th colspan="2">施策コード</th> <th rowspan="2">施策</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>05</td> <td>09</td> <td>01</td> <td>ごみの広域処理の充実</td> <td>広域処理事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>05</td> <td>09</td> <td>03</td> <td>ごみの減量化・資源化の推進</td> <td>ごみ収集運搬事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>05</td> <td>09</td> <td>03</td> <td>ごみの減量化・資源化の推進</td> <td>リサイクル活動推進事業</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>05</td> <td>09</td> <td>04</td> <td>環境衛生事業の充実</td> <td>環境衛生推進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>05</td> <td>09</td> <td>04</td> <td>環境衛生事業の充実</td> <td>動物愛護事業</td> </tr> </tbody> </table>	章	施策コード		施策	施策の内容	事務事業	節	施策	1	05	09	01	ごみの広域処理の充実	広域処理事業	2	05	09	03	ごみの減量化・資源化の推進	ごみ収集運搬事業	3	05	09	03	ごみの減量化・資源化の推進	リサイクル活動推進事業	4	05	09	04	環境衛生事業の充実	環境衛生推進事業	5	05	09	04	環境衛生事業の充実	動物愛護事業
章	施策コード		施策	施策の内容				事務事業																															
	節	施策																																					
1	05	09	01	ごみの広域処理の充実	広域処理事業																																		
2	05	09	03	ごみの減量化・資源化の推進	ごみ収集運搬事業																																		
3	05	09	03	ごみの減量化・資源化の推進	リサイクル活動推進事業																																		
4	05	09	04	環境衛生事業の充実	環境衛生推進事業																																		
5	05	09	04	環境衛生事業の充実	動物愛護事業																																		

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 市民活力推進部		
	節	1	市民との協働によるまちづくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	市民と行政がともに力を合わせ、役割分担を行い、課題解決に向け、自らが取り組んでいます。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 審議会等の委員に対する公募の割合	15.90%	—	—	—	—	20%	—	—	—	—	25%
	—	18%	19.8%	18.8%							
② まちづくり出前講座の利用者数	13,499人	—	—	—	—	16,000人	—	—	—	—	20,000人
	—	17,947人	16,924人	15,018人							
③ ボランティア・市民活動団体登録数	201団体	—	—	—	—	260団体	—	—	—	—	310団体
	—	222団体	235団体	229団体							
④ NPO法人登録数	16団体	—	—	—	—	20団体	—	—	—	—	25団体
	—	22団体	22団体	22団体							
⑤		—	—	—	—		—	—	—	—	
	—										

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 協働によるまちづくりの推進	6,050	1	0	1	0	市民協働推進課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,050	1	0	1	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	1	市民との協働によるまちづくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	協働によるまちづくりの推進 ・各種審議会や委員会等、市民が主体的に参画できる機会や場を拡充するとともに、まちづくり出前講座を活用し、市民との協働によるまちづくりを推進する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) ・出前講座については、248件の申込と15,018人の利用があった。 ・市民まつりについては、実行委員会との協働により開催し、125,000人の参加があった。 ・協働のまちづくり推進事業助成金について、2団体に交付し、協働事業を実施した。 ・自治基本条例検証委員会を設置し、自治基本条例の各条項が社会情勢に適合しているか検証を行った。 ・協働によるまちづくりを推進するため、市民活動推進委員会で調査・研究した内容を「提言書」としてとりまとめた。		
	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
課題	協働のまちづくりについては、活動が広がる事で、協働につながる仕組みづくりが必要となっている。 出前講座については、同一利用者からの申請が多いこと、また、利用回数が少ないメニューがあることなどから、多くの市民にメニューが広く活用されるようなPRが必要である。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	審議会委員に対する公募委員の割合や出前講座の利用者数は概ね目標値に達成している。また協働のまちづくり推進事業助成金の活用実績など成果が上がっている。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他				
施策の展開方針	(説明) 出前講座メニューの周知に力を入れるとともに、新たなメニューの募集や提供方法など調査研究を行う。 協働のまちづくりを推進するため、市民活動推進委員会等と連携して、引き続き調査研究を行う。				
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	06	01	01	協働によるまちづくりの推進	協働のまちづくり推進事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果が上がっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	—	—	—	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	315	1	1	0	0	総務人事課
2 広聴・広報の充実	25,645	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	57,471	2	1	0	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	83,431	5	2	2	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	広聴・広報の充実 ・市民の意見及び要望等を市政に活かすため、市民意識調査や市民の声ボックス等の広聴活動を充実する。また、市政の情報を広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体を通して広く市民等に提供するなど、広報活動を充実する。 情報交流の支援 ・市民同士、また市民と行政が情報交流を行い、コミュニケーションを図れるよう、セキュリティを確保したネットワークを活用し、地域情報サービスを提供する。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明) 広聴事業では、市民の声ボックス等により市民要望を把握するとともに、各種相談事業を行った。 広報事業では、広報紙の編集・発行、市ホームページの更新・維持管理、やしお840メール配信サービス、パブリシティを行った。また、ホームページのシティセールス専用サイトやSNSを活用し、効果的な情報発信に努めた。さらに、ハッピーこまちゃんのぬいぐるみの作製やPR動画を制作を行い、シティセールスの推進を図った。 地域情報化推進事業では、SNSを活用した地域情報のコミュニケーションシステムの調査・研究を行った。					
	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>課題はほとんどない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>ある程度課題がある</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>大きな課題がある</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/>	ある程度課題がある	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/>	ある程度課題がある	<input type="checkbox"/>	大きな課題がある	
課題	市民への広報紙の配布は新聞折込が主な方法であるが、新聞を購読していない世帯が増加傾向にある。このため、新聞を購読していない世帯の方にも広報紙の情報を提供するため、公共施設や民間施設への広報紙の設置や、ホームページへの掲載、やしお840メール配信により対応している。今後も、市民が適切に市政情報を取得できるよう、様々な手法を検討することが必要である。また、地域情報化についての計画を策定してから年数が経過しており、コミュニケーションシステムの環境も大きく変化しているため、現状に合わせたニーズの把握、システム導入の研究等が必要となる。					

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	地域情報化推進事業については、情報化推進計画の見直しなどの課題に対し遅れが見られるものの、広聴・広報事業については、おおむね順調に事業が実施されており、全体としては概ね順調と評価した。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>現状のまま推進</td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td>見直して推進</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>大幅に見直して推進</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/>	見直して推進	<input type="checkbox"/>	大幅に見直して推進																																							
	<input type="checkbox"/>	現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/>	見直して推進	<input type="checkbox"/>	大幅に見直して推進																																								
<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>重点化(拡充)</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>縮小</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>その他</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	縮小	<input type="checkbox"/>	その他																																								
<input type="checkbox"/>	重点化(拡充)	<input type="checkbox"/>	縮小	<input type="checkbox"/>	その他																																									
施策の展開方針	(説明) 広聴事業については、市民の声ボックスやまちづくりを語るつどい、市民意識調査により、市民要望の把握に努める。 広報事業については、広報紙、ホームページ、やしお840メール配信サービス等の様々な媒体により広く市民に情報提供を行って広報活動の充実を図るとともに、市の様々な魅力を市内外に効果的に発信していく。 地域情報化推進事業については、情報化基本計画を見直し、市民が求めるサービスに対応した地域情報化の実現を目指す。																																													
<table border="1"> <tr> <th colspan="6">重点事業（部で5事業まで）</th> </tr> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>広聴・広報の充実</td> <td>広報事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>06</td> <td>02</td> <td>02</td> <td>広聴・広報の充実</td> <td>広聴事業</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		重点事業（部で5事業まで）							施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	02	02	広聴・広報の充実	広報事業	2	06	02	02	広聴・広報の充実	広聴事業	3						4						5					
重点事業（部で5事業まで）																																														
	施策コード			施策の内容	事務事業																																									
	章	節	施策																																											
1	06	02	02	広聴・広報の充実	広報事業																																									
2	06	02	02	広聴・広報の充実	広聴事業																																									
3																																														
4																																														
5																																														

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		生活安全部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	—	—	—	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	315	1	1	0	0	総務人事課
2 広聴・広報の充実	25,645	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	57,470	2	1	0	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	83,430	5	2	2	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	會田 喜一郎
評価主体が推進する施策の概要	情報公開の充実 ・市民の知る権利の保障及び行政機関の説明責任を果たすとともに、個人情報の適正な取扱いに努める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	情報公開・個人情報保護事務は、条例に基づき適正な運用を行っている。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	<input type="checkbox"/> 大きな課題がある
	市外法人等からの公開申出に係る大量請求、頻回請求等への対応、個人情報の開示に係る任意代理、郵送請求等への対応、特定個人情報の取扱いが課題である。 また、非識別加工情報について、国や他の自治体の動向に注視しつつ継続して調査研究をする必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	情報公開制度により市民の知る権利を保障し、個人情報保護制度により個人情報の適正な取扱いを確保している。両制度を適切に運用することで、公正で民主的な行政の推進に資するとともに、個人情報の有用性に配慮しつつ、個人の権利利益の保護に資することに努めている。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進	<input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進	<input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進	
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> その他	
施策の展開方針	(説明) 今後も条例に基づき、情報公開・個人情報保護事務を適正に運用していく。 また、課題の改善に向けた検討を進めるとともに、運用上の細部の見直しを図っていく。			
重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード 章 節 施策		事務事業	
1	06	02	01 情報公開の充実・個人情報の保護	情報公開・個人情報保護事務
2				
3				
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	●生活安全部	企画財政部
	節	2	市民に開かれたまちづくり		総務部	

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	行政が持つ情報が適切に分かりやすく市民に提供され、市民の声が行政運営に反映される仕組みが整っています。また、行政が持つ情報が適切に管理・運用され、市民との信頼関係が築かれています。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
		実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 広報紙から必要な生活情報を得た人の割合	64.90%	—	—	—	—	70%	—	—	—	—	70%
	—	48.7%	—	—	—	—	—	—	—	—	—
② やしお840メール配信サービスの登録件数	1,227件	—	—	—	—	2,000件	—	—	—	—	3,000件
	—	2,179件	2,400件	2,704件	—	—	—	—	—	—	—
③ 地域情報サービス数	—	—	—	—	—	1件	—	—	—	—	2件
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 情報公開の充実・個人情報の保護	315	1	1	0	0	総務人事課
2 広聴・広報の充実	25,645	2	0	2	0	秘書広報課
3 情報交流の支援	57,471	2	1	0	1	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当、市民課
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	83,431	5	2	2	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	生活安全部
	節	2	市民に開かれたまちづくり	評価者名	武内清和
評価主体が推進する施策の概要	情報交流の支援（駅前出張所管理・サービス事業）：住民異動届の受付、印鑑登録・戸籍の届出受付、住民票・印鑑証明・戸籍・各種税証明の交付、市税・税外諸収入の収納、児童手当・こども医療等の届出、一般旅券の申請受理・交付、県証紙・印紙の売り捌き等の業務を実施し市民サービスの向上を図ります。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	12課21事業114業務 ・各種証明書の発行件数：住民票等18,231件、印鑑証明8,967件、戸籍・除籍謄本等3,438件、税証明等5,966件、その他証明201件を交付しました。 ・市税等の収納件数：市税5,142件、税外諸収入3,521件を収納しました。 ・旅券（パスポート）の申請件数：2,944件を受け付けました。		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	取扱業務が12課21事業114業務と複雑多岐にわたっており、事案によっては関係各課への確認作業が必要となる。特に出張所の開設時間が19時までとなっており、市役所の閉庁時間である17時15分以降は原則確認がとれず窓口対応に支障を来すことがある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆☆ 順調	取扱業務が複雑多岐にわたるが、日頃から関係各課と連携を密にしながら市民サービスの向上が図られている。また、窓口での取扱件数も増加していることなどを踏まえ、順調に成果が上がっていると評価する。

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進				
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他				
施策の展開方針	(説明)				
	市民サービスの向上を図るため、引き続き関係各課と連携を密にするとともに、職員に対する研修の充実やマニュアルの作成などを通じてスキルアップに努める。また、限られた人員であることを踏まえ、業務の改善・効率化に努める。				
重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		施策の内容	事務事業	
	章	節			施策
1	06	02	03	情報交流の支援	駅前出張所管理・サービス事業
2					
3					
4					
5					

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	87.1%	85.5%							
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人							
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人							
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%							
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%	6.1%							

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	22,366	5	1	3	1	企画経営課、財政課
2 行政組織の効率化と人材育成	26,848	4	1	3	0	企画経営課、総務人事課
3 行政事務の電子化	244,289	4	0	4	0	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当
4 健全で柔軟な財政運営	167,449	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
計	460,952	20	9	10	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	<p>・総合計画・基本計画に基づき、実施計画の策定及び行政評価を実施する。また、行政改革、事務事業の見直し及び行政組織・職員定数の見直しを行いながら、効率的、効果的な行政運営を行う。</p> <p>・長期的視点に立ち、公営企業等を含めた経営の健全化を図るとともに、健全で柔軟な財政運営を推進する。また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく財政指標の改善や適正化を推進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・第5次八潮市総合計画・基本計画を管理するため、行政マネジメントシステムを有効に活用した。総合計画を円滑に進行するため、実施計画の策定及び行政評価を実施し、その結果を公表するとともに、事務量に応じた職員定数の決定に努めた。</p> <p>・財政健全化法に基づく平成30年度決算の健全化判断比率は、実質公債費比率6.1%（H29:7.5%）で1.4ポイント改善し、将来負担比率は41.4%（H29:54.4%）で13.0ポイント改善した。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・総合計画を進行管理していくうえで、コスト意識や情報分析能力等が必要であるため、さらなる職員の意識改革をする必要がある。また、人口の増加や市民ニーズの多様化・複雑化に伴う事務量の増加に対応できる組織の検討が必要である。</p> <p>・実質公債費比率及び将来負担比率が前年度と比較して改善されたものの、依然として高い数値であり、引き続き一般会計の歳入・歳出の両面にわたる財政健全化に向けた取組みを進めるとともに、特別会計においても財政健全化に努め、一般会計からの繰出金の抑制に努める必要がある。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	いずれの業務も課題はあるものの、それぞれの業務について適切な管理を行い、順調に業務が行われている。また、実質公債費比率、将来負担比率とも前年度より改善されている。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進			
施策の展開方針	(説明)			
	<p>・第5次八潮市総合計画の推進にあたり、行政マネジメントシステムを活用し、効率的・効果的な事業の実施を図るとともに、行政評価を実施し、事業の改善、市民満足度の向上に努め、基本計画に掲げた施策の内容の計画的な実施に努める。行政改革については、「第5次八潮市行政改革大綱・実施計画」の取組状況の進行管理を行い、引き続き、事務事業の見直しや業務改善を図る。また、行政組織・職員定数については、組織全体の事務量を把握した上で、毎年組織・定数の見直しを行う。</p> <p>・財政健全化法の趣旨を踏まえ、公債費の適正化を図るため、新たな地方債の発行については、その年度の元金償還額を超えないよう抑制に努めるとともに、実質公債費比率だけでなく、経常収支比率や将来負担比率等の財政指標の動向に留意し、一般会計、特別会計ともに健全な財政運営に努めていく。</p>			
■重点事業（部で5事業まで）				
	施策コード		施策の内容	事務事業
	章	節		
1	06	03	01 計画的・効率的な行政の推進	計画行政推進事業
2	06	03	03 行政事務の電子化	基幹系情報処理業務管理事務
3	06	03	04 健全で柔軟な財政運営	財政健全化事業
4				
5				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
■	06	03	01	行政改革推進事業	■			企画財政部	企画経営課	667	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	01	計画行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	6,108	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	01	公用車管理事業				企画財政部	財政課	8,742	●	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	01	共通物品購入管理事業				企画財政部	財政課	4,485	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	06	03	01	契約事務			■	企画財政部	財政課	2,363	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	02	行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	06	03	02	人事管理事務	■			総務部	総務人事課	11,967	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	06	03	02	人材育成推進事業	■			総務部	総務人事課	1,947	○	☆☆☆	見直して継続	増加	現状維持
	06	03	02	職員福利厚生事業				総務部	総務人事課	12,934	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	06	03	03	情報機器・ネットワーク管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	85,886	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
■	06	03	03	基幹系情報処理業務管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	127,142	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	03	行政情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	199	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	31,062	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	21,281	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	628	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	税証明事務				総務部	市民税課	179	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	39,600	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	04	市税収納事務	■			総務部	納税課	94,066	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	04	財政事務				企画財政部	財政課	11,694	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	財政健全化事業	■			企画財政部	財政課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										278,349	部の事業費計				

【課題】—：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 総務部	企画財政部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	民間企業等のもつ経営手法を取り入れ、複雑化・多様化する市民ニーズに対し迅速かつ的確に対応することができる体制が構築されています。また、長期的な展望に基づき、健全で計画的・効率的な行財政運営を目指して取り組んでいます。
-------------------------	--	------	--

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① 行政評価において目標達成した事業の割合	87.10%	—	—	—	—	95%	—	—	—	—	100%
	—	86.9%	87.1%	85.5%							
② 職員研修のコース数及び受講者数	53コース 809人	—	—	—	—	54コース 820人	—	—	—	—	55コース 837人
	—	56コース 725人	57コース 850人	53コース 892人							
③ 女性職員向け研修のコース数及び受講者数	4コース 27人	—	—	—	—	4コース 40人	—	—	—	—	5コース 60人
	—	5コース 25人	4コース 29人	3コース 22人							
④ 標準財政規模に対する財政調整基金及び減債基金残高の割合	4.20%	—	—	—	—	10%	—	—	—	—	10%
	—	5.7%	7.5%	11.6%							
⑤ 実質公債費比率	10.60%	—	—	—	—	9%	—	—	—	—	7%
	—	8.3%	7.5%								

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 計画的・効率的な行政の推進	22,366	5	1	3	1	企画経営課、財政課
2 行政組織の効率化と人材育成	26,848	4	1	3	0	企画経営課、総務人事課
3 行政事務の電子化	244,289	4	0	4	0	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当
4 健全で柔軟な財政運営	157,119	7	7	0	0	財政課、市民税課、資産税課、納税課
5						
6						
7						
8						
9						
計	450,622	20	9	10	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	総務部
	節	3	健全で計画的・効率的な行政の体制づくり	評価者名	會田 喜一郎
評価主体が推進する施策の概要	①職員の人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・職場内外の研修などを通して職員の能力の向上に努め、より良い市民サービスの提供に努める。 ・管理職に占める女性の割合を増加させるため、意識啓発を行うとともに、女性向け研修への参加機会を拡充する。 ②市税の適正な課税及び徴収 <ul style="list-style-type: none"> ・市民税や固定資産税等の市税の適正な賦課及び徴収を行い、自主財源の確保を図る。 				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成基本方針に基づき、外部研修機関への派遣研修、職場外での集合研修、職場内での業務を通じた研修を行い、職員の能力向上に努めた。 ・平成30年度決算の市税の収入済額は、171億2,919万8,083円（H29：168億1,457万8,655円）で、対前年度比3億1,461万9,428円、1.87%の増であった。 また、納税率は、現年度99.08%（H29：98.85%）で対前年度比0.23ポイント上昇、滞納繰越分41.13%（H29：38.80%）で対前年度比2.33ポイント上昇した。 		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	<ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加を促進したいが、通常業務も増加傾向にあり、研修時間の確保が難しい場合がある。 ・ストレスチェック実施後の集団分析結果（環境改善）について、他市の先進事例などの情報収集や研修の充実が必要である。 ・個人市民税の無申告者は必ずしも申告義務者とは限らないことから、無申告者の所得調査を継続して実施する必要がある。 ・平成30年度の納税率は、市税全体で97.51%となり、県平均（97.26%）を上回ったが、税目別では、個人住民税の納税率が、県内では依然として低水準にあることから、更なる納税率の向上に努める必要がある。 		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・職員1人あたりの研修参加数については目標を上回ったが、研修に対する満足度は目標をわずかに下回った。 ・市税の収入済額は、予算額よりも約8億500万円の増収となった。納税率についても現年度分と滞納繰越分の合計で0.90ポイントの上昇となり、滞納繰越額が前年度よりも縮減できた。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) <ul style="list-style-type: none"> ・職員の人材育成については、外部研修機関での派遣研修への参加を促進するとともに、内部研修にあつては、行政課題、社会情勢に対応するものや職員のニーズにあつたものを取り入れて内容を充実させる。 ・市税の課税にあつては、課税客体を的確に把握し、適正な課税に努める。また、個人市民税については、給与からの特別徴収制度への更なる理解・浸透を図る。 ・納税率を向上させるとともに滞納繰越額を縮減するため、現年度課税分未納者への早期対応、財産調査等に基づく滞納処分強化、担税力に応じた滞納処分の執行停止を行うとともに、徴収体制の充実・強化を図る。 																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>健全で柔軟な財政運営</td> <td>市民税賦課事務</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>健全で柔軟な財政運営</td> <td>固定資産税等賦課事務</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>04</td> <td>健全で柔軟な財政運営</td> <td>市税収納事務</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>06</td> <td>03</td> <td>02</td> <td>行政組織の効率化と人材育成</td> <td>人材育成推進事業</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	市民税賦課事務	2	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	固定資産税等賦課事務	3	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	市税収納事務	4	06	03	02	行政組織の効率化と人材育成	人材育成推進事業	5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	市民税賦課事務																																			
2	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	固定資産税等賦課事務																																			
3	06	03	04	健全で柔軟な財政運営	市税収納事務																																			
4	06	03	02	行政組織の効率化と人材育成	人材育成推進事業																																			
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

【別紙】節を構成する事務事業の評価結果（対象年度H30年度）

※■は評価主体を表す

NO. 1

主体	施策コード			事務事業名	主要	戦略	公約	担当部	担当課	H30年度事業費 (決算額：千円)	課題	総合評価	方向性	投入資源	
	章	節	施策											事業費	労働量
	06	03	01	行政改革推進事業	■			企画財政部	企画経営課	667	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	計画行政推進事業	■			企画財政部	企画経営課	6,108	○	☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	01	公用車管理事業				企画財政部	財政課	8,742	●	☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	共通物品購入管理事業				企画財政部	財政課	4,485	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
	06	03	01	契約事務			■	企画財政部	財政課	2,363	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	02	行政組織等管理事務				企画財政部	企画経営課	0	○	☆☆	見直して継続	現状維持	現状維持
■	06	03	02	人事管理事務	■			総務部	総務人事課	11,967	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
■	06	03	02	人材育成推進事業	■			総務部	総務人事課	1,947	○	☆☆☆	見直して継続	増加	現状維持
■	06	03	02	職員福利厚生事業				総務部	総務人事課	12,934	○	☆☆	見直して継続	増加	増加
	06	03	03	情報機器・ネットワーク管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	85,886	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	増加
	06	03	03	基幹系情報処理業務管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	127,142	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	03	行政情報化推進事業				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	199	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	03	社会保障・税番号制度管理事務				企画財政部	企画経営課 情報化推進担当、社会保障・税番号制度担当	31,062	○	☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	市民税賦課事務				総務部	市民税課	21,281	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	諸税賦課事務				総務部	市民税課	628	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	税証明事務				総務部	市民税課	179	—	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
■	06	03	04	固定資産税等賦課事務				総務部	資産税課	39,600	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
■	06	03	04	市税収納事務	■			総務部	納税課	83,736	○	☆☆☆	現状のまま継続	増加	増加
	06	03	04	財政事務				企画財政部	財政課	11,694	○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
	06	03	04	財政健全化事業	■			企画財政部	財政課		○	☆☆☆	現状のまま継続	現状維持	現状維持
										172,273	部の事業費計				

【課題】 —：課題はほとんどない，○：ある程度課題がある，●：大きな課題がある / 【総合評価】 ☆☆☆：順調，☆☆：概ね順調，☆：遅れ

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部		
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり				

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	誰もが公共施設等を安全で安心に利用しています。また、公共施設等を経営資源として捉え、有効に活用され、効率的に利用されています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① アセットマネジメントの取組の推進	「アセットマネジメント導入基本方針の策定」 —	—	—	—	—	「公共施設マネジメント基本計画」「公	—	—	—	—	公共施設等の効率的な維持管理
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	485,226	6	1	4	1	財政課、アセットマネジメント推進課
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	485,226	6	1	4	1	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	4	公共施設資産の管理体制づくり	評価者名	柳澤 徹
評価主体が推進する施策の概要	<p>・将来的な人口動態や財政運営、市民要望などを的確に見極めた上で、公共施設を一つの経営資源として捉え、施設の統廃合や複合化・長寿命化・民間活力の活用方策等を含め、アセットマネジメントの各種取組を推進する。</p>				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	<p>・平成28年度に策定した「八潮市公共施設マネジメント基本計画」、また平成29年度に策定した基本計画を実現していくための今後10年間の行動計画を示す「八潮市公共施設マネジメントアクションプラン」の各施設の進捗状況を確認し、課題、問題点等を検証した。</p> <p>・新庁舎整備に向け、具体的な機能、設備、規模等をまとめた「八潮市庁舎建設基本計画」を策定した。</p> <p>・市民共有の財産を適正に管理、活用していくため未利用市有地及び跡地について、売却を含めた活用方法の基本的な事項を定めた「八潮市市有地活用基本方針」を策定した。</p>		
課題	課題はほとんどない	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある	大きな課題がある
	<p>・アセットマネジメントの取組を持続的かつ着実に実行する上で、公共施設の更新・統廃合・保全に必要な財源を確保することや事業費の平準化及び抑制が極めて重要な課題となる。また、施設再編における市民との合意形成や複数部局にわたる施設再編への取組など実践的な取組へと移行することに伴い、公正性と客観性の確保、公正・中立で地域の利害を超えて、全市民的な利益を考えていく視点に立った取組が課題となる。</p>		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	<p>八潮市市有地活用基本方針を策定し、方針に基づき対象とする跡地に関する庁内の活用意向について確認することができた。また、新庁舎整備に係る基本計画を策定することができた。</p> <p>一方で、施設の大規模改修の実施と合わせた施設改善の検討について、施設管理担当課に施設改善に向けた検討を促すなど、積極的に踏み込むことができなかつた等の課題が残った。</p>

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている）

☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input checked="" type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進				
	<p>→ <input checked="" type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他</p>				
施策の展開方針	(説明)				
<p>・今後のアセットマネジメントの取組みでは、これまでの既成概念にとらわれることなく、全体最適の視点を念頭に施設再編を検討する。また、アクションプランに基づく施設再編計画には民間活力の導入、公的不動産戦略の導入を検討していく。</p> <p>・新庁舎整備の取組みでは、基本計画でまとめた整備の基本方針や求められる機能等を踏まえ、市民、議会、庁内等からの意見を伺いながら、極力早期に庁舎の耐震性を確保すべく、設計業務を進めていく。</p> <p>・公共施設管理、営繕の取組みでは、維持管理費の削減やサービス水準を維持・向上させながら、公共施設再編計画及び公共施設中長期保全計画に位置づけられた施策を着実に実施していく。</p>					
■重点事業（部で5事業まで）					
	施策コード		事務事業		
	章	節			
	施策		施策の内容		
1	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	新庁舎整備事業
2	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	アセットマネジメント推進事業
3	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	庁舎管理事業
4	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	営繕・施設管理事業
5	06	04	01	公共施設等の計画的整備と資産の有効活用	公有財産管理事業

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 企画財政部	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	4,000人
	—	3,297人	2,189人								
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	6,257	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,257	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	前田 秀明
評価主体が推進する施策の概要	広域的な連携の強化 ・道路・交通網の整備や情報通信技術の進展により、行政の圏域や枠組みを越えて市民活動が行われ、市民ニーズが複雑化・多様化していることから、近隣自治体との広域的な連携体制をつくることによって、より効率的かつ効果的な行政サービスが提供されるよう広域的な行政課題等について調査研究を行う。 ・近隣5市1町による埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域的な行政課題の解決に向けての調査研究を行う。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)		
	・埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、婚活まんまるバスツアー及び職員研修会等を実施した。 ・東南部地域における、共通する行政課題の調査研究を行うにあたり、IT専門部会において、「まんまるよやくシステムの運用状況調査と情報セキュリティ向上施策検討」を行った。		
課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある		
	公共施設の利用条件などについて今後検討する必要がある。		

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	5市1町の公共施設の利用条件などについては課題があるものの、埼玉県東南部都市連絡調整会議を通じて、広域の連携事業や広域の課題に対する調査・研究は順調に実施されている。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進																																			
	<input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																			
施策の展開方針	(説明) 5市1町の調和の取れた発展を目指し、広域的な行政課題について調査研究を行い、引き続き広域的な連携を図る。																																			
重点事業（部で5事業まで）																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>4</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>5</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1					2					3					4					5						
施策コード			施策の内容	事務事業																																
章	節	施策																																		
1																																				
2																																				
3																																				
4																																				
5																																				

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）

☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

施策評価シート（対象：H30年度実施施策）

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	担当部	● 市民活力推進部	企画財政部
	節	5	広域的な連携体制づくり			

1. 節の概要

※●は評価主体

分野別将来目標 （10年後の八潮市では）	まちづくりの主役である市民と行政とが情報を共有し、協働することにより、まちづくりが進められています。また、市内の企業・団体と力を合わせるとともに、近隣の自治体等とも連携を図り、自主的、自律的な運営が行われています。行政が経営資源を最大限に活かし、民間企業の経営手法等も積極的に取り入れながら、健全な行財政運営を行っています。	基本目標	関係自治体との協力関係が強化され、広域的な行政サービスが提供されることにより、市民が利便性の高い生活を送ることができています。
-------------------------	--	------	---

2. 実施結果

成果指標	現状値	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標	計画・目標
	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績	実績
① まんまるよやくの登録者数（八潮市民）	3,045人	—	—	—	—	3,600人	—	—	—	—	4,000人
	—	3,297人	2,189人	2,996							
②	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑤	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

施策の内容	H30年度 事業費（千円）	事務事業数	総合評価			担当課
			順調	概ね順調	遅れ	
1 広域的な連携の強化	6,257	2	0	2	0	企画経営課、市民協働推進課
2 県及び他市区町村との協力関係の構築・強化	0	1	0	1	0	企画経営課
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
計	6,257	3	0	3	0	

総合計画の体系	章（施策の柱）	6	新公共経営	評価主体（部名）	市民活力推進部
	節	5	広域的な連携体制づくり	評価者名	鈴木 圭介
評価主体が推進する施策の概要	広域的な連携の強化 ・埼玉県東南部都市連絡調整会議による公共施設の相互利用を進める。				

3. 節の分析（部が展開する節の分析）

施策の実施状況	(説明)	まんまるよやく（埼玉県東南部地域公共施設予約案内システム）の安定的な運用に努めるとともに、現システム利用者カードの更新制度を周知し、利用者登録の整理を行った。		
	課題	<input type="checkbox"/> 課題はほとんどない <input checked="" type="checkbox"/> ある程度課題がある <input type="checkbox"/> 大きな課題がある	令和3年度の新システムへの移行の際、予約機能の変更（パソコン、スマートフォンのみ利用可能となる予定）により、利便性が低下しないよう検討が必要となっている。	

4. 節の評価（部が展開する節の総合評価）

総合評価	評価理由
☆☆ 概ね順調	平成27年11月に新システムに移行後、特に大きな問題はなく、利便性の向上が図られた。

5. 今後の方針（部が展開する節の方針）

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま推進 <input type="checkbox"/> 見直して推進 <input type="checkbox"/> 大幅に見直して推進 → <input type="checkbox"/> 重点化(拡充) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他																																							
施策の展開方針	(説明) 埼玉県東南部都市連絡調整会議の構成市町と連携・協力を図り、今後も利用者の利便性の向上のため、予約機能の活用も含め検討を進めていく。																																							
■重点事業（部で5事業まで）																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">施策コード</th> <th rowspan="2">施策の内容</th> <th rowspan="2">事務事業</th> </tr> <tr> <th>章</th> <th>節</th> <th>施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>06</td> <td>05</td> <td>01</td> <td>広域的な連携の強化</td> <td>広域連携事業</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施策コード			施策の内容	事務事業	章	節	施策	1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域連携事業	2						3						4						5					
	施策コード			施策の内容	事務事業																																			
	章	節	施策																																					
1	06	05	01	広域的な連携の強化	広域連携事業																																			
2																																								
3																																								
4																																								
5																																								

※施策（節）を推進する上で、次年度重点的に取り組む事業を5事業まで抽出

☆☆☆：順調（最終目標達成に向け、順調に成果があがっている） ☆：遅れ（このままでは、最終目標の達成が難しい）
 ☆☆：概ね順調（最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調）

